第2節　吉田構内（吉田遺跡）の調査

1．実習棟（動物病理解剖施設）新営その他工事に伴う予備発掘調査・本発掘調査

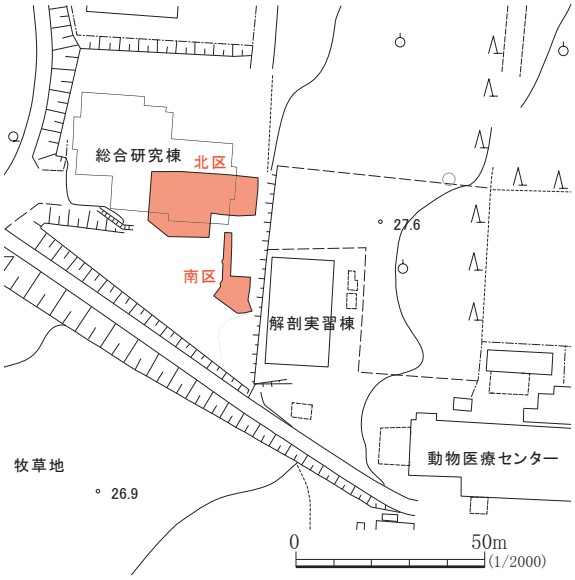


図 4　調査区位置図

写真 20　調査前全景（西から）

写真 21　調査前全景（南東から）

調査地区　吉田構内Q・R-19区

調査面積　491㎡

調査期間　平成24年7月20日～10月19日

調査担当　川島尚宗　横山成己　田畑直彦　山田圭子

調査結果

（1）調査の経緯（図4、写真20・21）

吉田構内東側に位置する総合研究棟南側の敷地において、動物病理解剖施設の新営が計画された（図4）。周辺では、古代の埋没谷に沿って土器・木製品などの遺物が濃密に分布するほか、平成14年度におこなわれた解剖実習棟新営に伴う発掘調査で古代の掘立柱建物群が検出されている[註1]。さらに、平成27年度の動物医療センター（リニアック室等）新営その他工事（プレハブ撤去）に伴う立会調査で国内5例目となる音義木簡が出土しており[註2]、今回の調査地点は吉田構内においても古代官衙に関連する遺構・遺物が非常に密に分布する地点となっている。

平成12年度の総合研究棟新営に伴いおこなわれた試掘調査・発掘調査では、南東から北西方向への埋没谷が検出された[註3]。この際の調査区南端は、今回の調査地点（北区）と重複しているが、総合研究棟建物の開発範囲外であったことから、埋没谷の上面を検出した状態で調査が完了していた（図5、写真22）。今回の開発では、総合研究棟南側敷地の大部分におよび、また建屋本体・管路の掘削深度が平成12年度の調査で明らかとなっていた遺物包含層および埋没谷に到達することが確実視されたが、埋没谷以外の遺構分布が希薄であったことから、建屋敷地を対象に予備発掘調査を実施し、当地点における埋蔵文化財の遺存状況について確認することが、平成25年第10回埋蔵文化財資料館専門委員会（平成26年3月24日開催）にて承認された[註4]。

（川島）

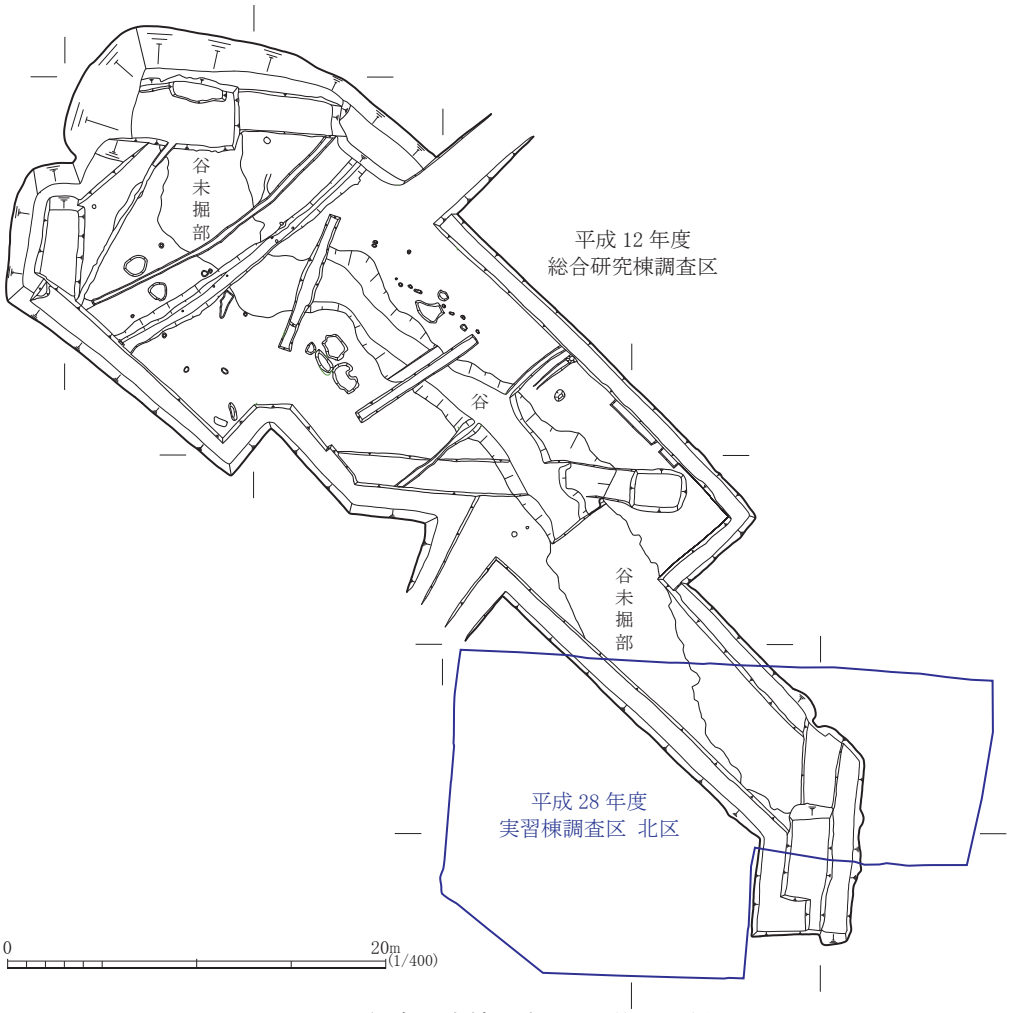


図 5 総合研究棟調査区との位置関係

写真 22 総合研究棟調査区（北西から）

【註】

1）田畑直彦（2004）「平成14年度山口大学構内遺跡調査の概要」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学構内遺跡調査研究年報ⅩⅥ・ⅩⅦ』，山口

2）横山成己（2018）「吉田遺跡出土「千字文」音義木簡略報」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学埋蔵文化財資料館年報－平成25年度－』，山口

横山成己（2020）「動物医療センター（リニアック室等）新営その他工事（プレハブ撤去）に伴う立会調査」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学埋蔵文化財資料館年報－平成27年度－』，山口

3）田畑直彦（2017）「吉田構内総合研究棟新営に伴う発掘調査」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学構内遺跡調査研究年報ⅩⅩ』，山口

4）計画当初の新営建物名称は「健体病態解剖実習施設」であったが、計画が具体化する過程で「動物病理解剖施設」へと名称変更が行われ、竣工後に「総合病性鑑定研究施設」に再変更された。

（2）調査の経過

調査は、平成28年7月20日に開始し、南区では20日から21日まで、北区では21日から28日まで重機掘削をおこなった（写真23）。南区では、大半が攪乱を受けていたものの、南側の一部、および北側で遺物包含層を確認できた（写真25～27）。攪乱部分は雨水がたびたび溜まる状況であったため、調査区東壁崩落の危険性があると判断し、記録作業終了後、北区に先行して埋め戻しをおこなった。

北区では、北東隅、南西隅において地山を検出し、これらに挟まれる形で谷状の地形を形成していることが判明した。この後、遺物包含層上面の検出作業をおこない、8月5日に遺物包含層の範囲を確認し（写真40・41）、遺物包含層の掘削を進めた。2枚の遺物包含層および谷埋土1の上部を掘削後、9月7日に埋没谷の肩部を検出することができた（写真44・45）。埋没谷においては、9月15日までに建屋基礎掘削深度に抵触する谷埋土2までの掘削を終えた。

予備発掘調査は9月16日にて終了予定であったが、完掘写真撮影に伴う清掃作業中に遺構が多数検出されたため、9月16日に開催された平成28年度第4回埋蔵文化財資料館専門委員会の審議では、調査の経過報告をおこなった。専門委員会直前に検出された遺構が未掘状態で遺跡の性格が不明確であったことから、委員からは調査を継続し遺構などの性格を明らかにした上で、遺構の保存を検討すべきとの意見が提出された。現状保存か記録保存かの議論については委員会の場で結論を出しえなかったため、委員会後に本学執行部に判断を一任したところ、9月20日に当該調査区の記録保存の判断がくだされた。同時に、施設環境部より、工期の都合上10月半ばには発掘現場を開発工事業者へ引き渡してもらいたい旨要望があった。これをうけ、9月26日より、設備関連の工事により遺構に支障をきたすおそれのある北区西側を西へ2.5m拡張して本発掘調査に移行した。他の設備関連工事区についても掘削深度が遺構確認面まで及ぶ地点はあったが、排土置場や重機の通路確保のため、やむなく立会調査にて対応することとなった。引き続き地山上面での遺構検出作業を進め、谷左岸（調査区西側）では9月27日に、谷右岸（調査区東側）では10月4日に遺構検出写真を撮影した（写真46・47）。

10月7日に、発掘現場にて第5回埋蔵文化財資料館専門委員会が開催され、谷右岸の遺構の掘削が完了しておらず不明な点も多かったものの、調査の進捗状況と成果について説明をおこなった結果、最終的に当調査区の記録保存が承認された。委員会後、調査区東端の土留付近も精査した結果、遺構が複数検出され（図8）、埋没谷に関しては建屋基礎下が地盤改良工事により破壊されることが判明した。そのため、谷埋土3の完掘をおこない、検出された遺構の掘削・記録作業を進めた。遺構については、

谷左岸で10月13日に、谷右岸で10月15日に完掘後の写真撮影をおこない（写真128・129）、同日、図面も含めた記録作業を完了した。なお、施設環境部との協議により現場引き渡し日が10月20日と決定され、谷左岸の埋め戻しを10月14日より開始したため、調査区の全景完掘写真は撮影していない。埋め戻し作業および撤収作業は10月19日に完了した。（川島）

（3）基本層序（図9、写真34）

北区北東で観察された基本層序は、1：表土（層厚5～10cm）、2：旧耕土・床土（層厚20～25cm）、3：遺物包含層1（黒褐色粘質土、層厚20～25cm）、4：遺物包含層2（暗灰黄色粘質土、層厚10～20cm）、5：谷埋土（最大層厚100cm以上[註1]）5：地山[註2]（明黄褐色礫混土）である（図9・10・写真34～39）。旧耕土は調査区全体で確認されているが、床土は標高のやや高い北区東側でのみ確認されている。遺物包含層からの出土遺物は古代の須恵器を中心とするものの、特に上位の遺物包含層1には中世の遺物もわずかながら含まれることから、中世に形成された層と考えられる[註3]。北区北東隅と南西隅では、旧耕土の直下にて地山が検出されており、後世に削平を受けていると考えられる。谷左岸に関しては、現在道路で切り通されている[註4]が、本来の地形は、南側の農学部附属農場牧草地へ緩やかにつながっていたと考えられる。

調査区中央部には谷筋が確認され、谷の最深部は調査区上面から約150cmをはかる。河川底部は砂礫層であるが、右岸側にはシルト層が地山としてあらわれている。谷の堆積土は、4層に大別される。1層・2層は灰色系の粘質土で古代の遺物を多く含んでいる。3層は黒褐色粘質土で、遺物量はわずかである。最下層の4層は砂礫層で、弥生土器片が集中する地点もあったが、遺物量は少ない[註5]。今回の調査区では、谷筋が蛇行する部分が確認されており、弥生時代以降、水流が緩やかになった時期があり、さらに古代に至り、遺物を含む粘質土が流れ込み、谷の堆積が進んだと考えられる。（川島・横山）

【註】

1）谷埋土4（黒色粘質土と暗黄灰色砂質土の互層：図9北壁の19層）は本発掘終了時に完掘しておらず（写真46・47）、調査区壁際の断ち割り部で深度を確認したにすぎない（写真34・38・39）。掘り残した谷埋土4は、実習棟新営工事時に破壊を受けており、その際に実施した立会調査において、弥生土器とみられる小片4点を確認している（本書「実習棟（動物病理解剖施設）新営その他工事に伴う立会調査」146～149頁参照）。

2）地山は均一な土質ではなく、灰黄褐色粘質土、黄褐色粘質土、にぶい黄褐色礫混砂質土、にぶい褐色礫混砂質土（図9北壁24～27層）、暗灰黄色礫混粘質土、明黄褐色礫混粘質土（図9西壁8～9層）などが見られる。この内の上位層には遺物のめり込みが見られるが、確認された遺構群は当層上面に検出されることから、当層が往時の地表面であったことを示しているか、上位に堆積する遺物包含層に起因するものと考えている。

3）当調査での「遺物包含層」とは、北東・南西方向から谷筋（谷最深部）に向かう傾斜地に自然堆積した層を示す。この堆積層は周辺地での既往調査における「谷埋土上層」に該当するものと思われる。すなわち、当調査「遺物包含層2」が既往調査「Ⅳ期 谷緩傾斜地埋没期＝谷埋土2下層堆積時期」に、「遺物包含層1」が「Ⅴ期 谷筋の平坦化時期＝谷埋土2上層・谷埋土1堆積時期」に相当する。既往調査谷埋土1に、わずかながら中世土師器や瓦質土器が見られることもこれを裏付ける。

4）この道は本学吉田地区統合移転前に確認できないことから、吉田構内造成時に設けられたものと思われる（本学web『写真で見る山口大学』「1965年（昭和40年）山口市吉田地区（統合移転前）」http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~soumuka/50kinen/i-seibi.html）。

5）当層は、北区に一部重複する総合研究棟新営に伴う発掘調査区にて確認された「第Ⅶ層＝縄文～弥生時代谷埋土1」に相当すると思われるが、土質は大きく異なるようである。

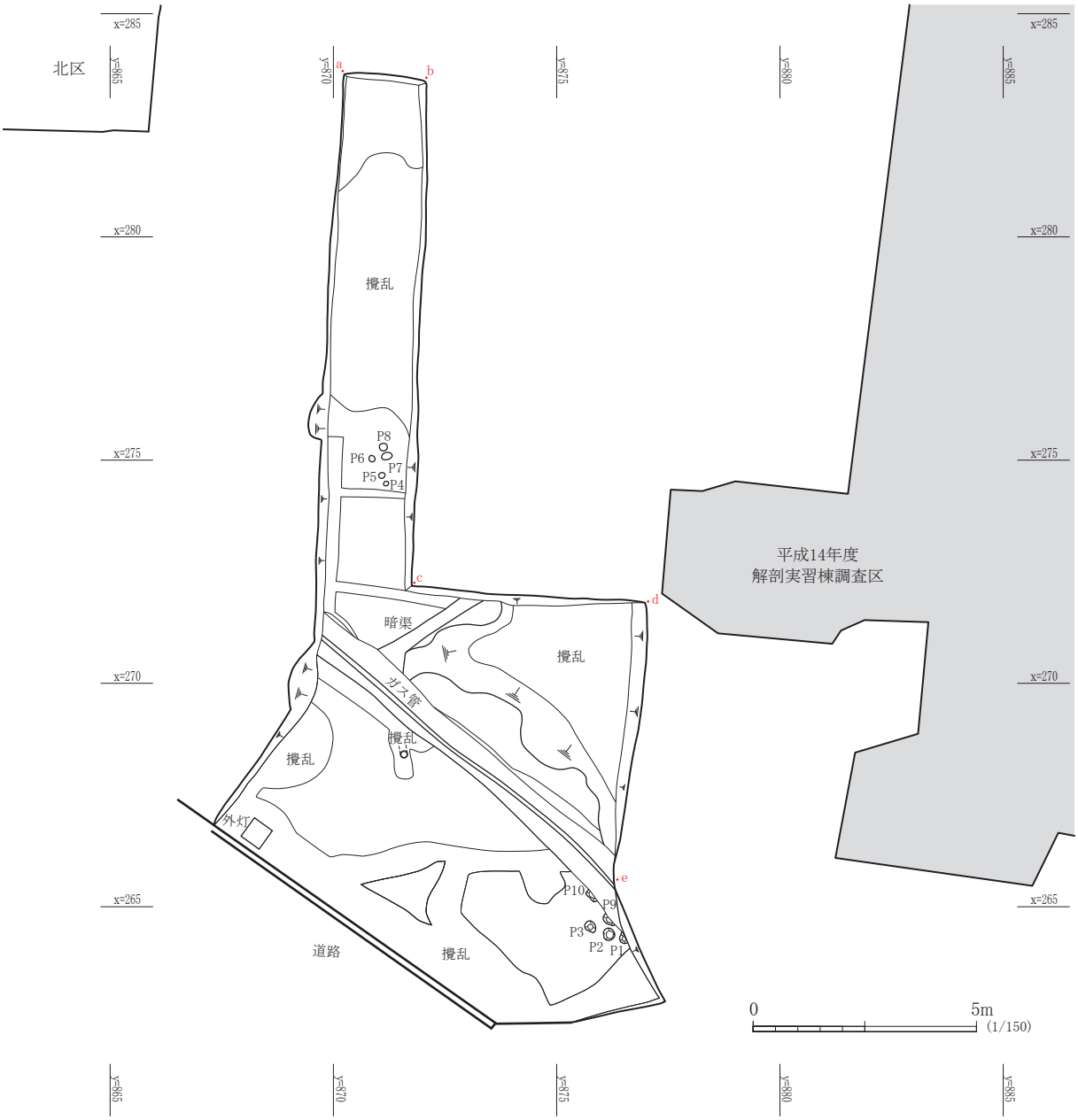
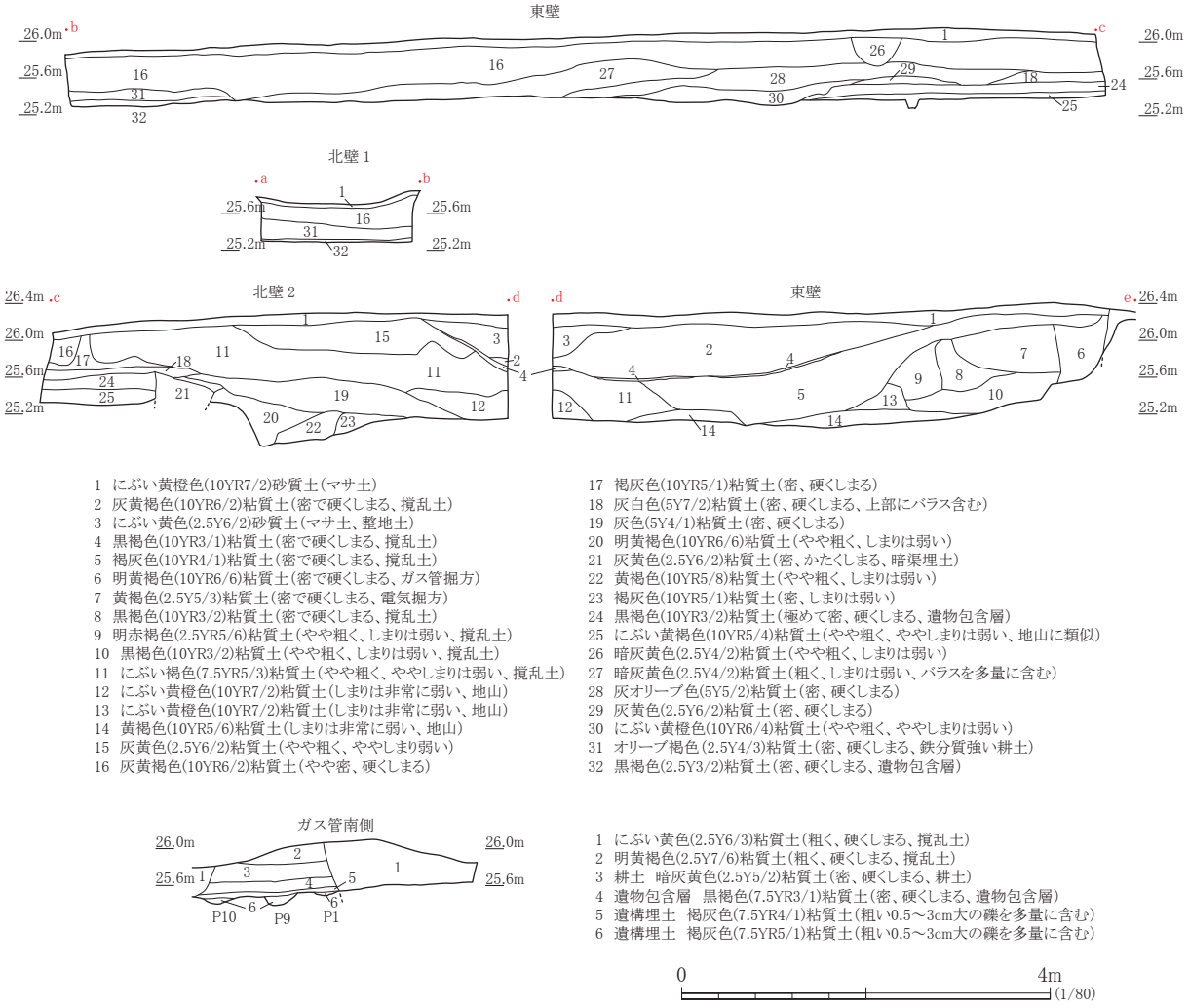


図 6　南区平面図

写真 23　南区重機掘削風景（東から）

写真 24　作業風景（北東から）



1 にぶい黄橙色(10YR7/2)砂質土(マサ土)
2 灰黄褐色(10YR6/2)粘質土(密で硬くしまる、撹乱土)
3 にぶい黄色(2.5Y6/2)砂質土(マサ土、整地土)
4 黒褐色(10YR3/1)粘質土(密で硬くしまる、撹乱土)
5 褐灰色(10YR4/1)粘質土(密で硬くしまる、撹乱土)
6 明黄褐色(10YR6/6)粘質土(密で硬くしまる、ガス管掘方)
7 黄褐色(2.5Y5/3)粘質土(密で硬くしまる、電気掘方)
8 黒褐色(10YR3/2)粘質土(密で硬くしまる、撹乱土)
9 明赤褐色(2.5YR5/6)粘質土(やや粗く、しまりは弱い、撹乱土)
10 黒褐色(10YR3/2)粘質土(やや粗く、しまりは弱い、撹乱土)
11 にぶい褐色(7.5YR5/3)粘質土(やや粗く、ややしまりは弱い、撹乱土)
12 にぶい黄橙色(10YR7/2)粘質土(しまりは非常に弱い、地山)
13 にぶい黄橙色(10YR7/2)粘質土(しまりは非常に弱い、地山)
14 黄褐色(10YR5/6)粘質土(しまりは非常に弱い、地山)
15 灰黄色(2.5Y6/2)粘質土(やや粗く、ややしまり弱い)
16 灰黄褐色(10YR6/2)粘質土(やや密、硬くしまる)
17 褐灰色(10YR5/1)粘質土(密、硬くしまる)
18 灰白色(5Y7/2)粘質土(密、硬くしまる、上部にバラス含む)
19 灰色(5Y4/1)粘質土(密、硬くしまる)
20 明黄褐色(10YR6/6)粘質土(やや粗く、しまりは弱い)
21 灰黄色(2.5Y6/2)粘質土(密、かたくしまる、暗渠埋土)
22 黄褐色(10YR5/8)粘質土(やや粗く、しまりは弱い)
23 褐灰色(10YR5/1)粘質土(密、しまりは弱い)
24 黒褐色(10YR3/2)粘質土(極めて密、硬くしまる、遺物包含層)
25 にぶい黄褐色(10YR5/4)粘質土(やや粗く、ややしまりは弱い、地山に類似)
26 暗灰黄色(2.5Y4/2)粘質土(やや粗く、しまりは弱い)
27 暗灰黄色(2.5Y4/2)粘質土(粗く、しまりは弱い、バラスを多量に含む)
28 灰オリーブ色(5Y5/2)粘質土(密、硬くしまる)
29 灰黄色(2.5Y6/2)粘質土(密、硬くしまる)
30 にぶい黄橙色(10YR6/4)粘質土(やや粗く、ややしまりは弱い)
31 オリーブ褐色(2.5Y4/3)粘質土(密、硬くしまる、鉄分質強い耕土)
32 黒褐色(2.5Y3/2)粘質土(密、硬くしまる、遺物包含層)

1 にぶい黄色(2.5Y6/3)粘質土(粗く、硬くしまる、撹乱土)
2 明黄褐色(2.5Y7/6)粘質土(粗く、硬くしまる、撹乱土)
3 耕土　暗灰黄色(2.5Y5/2)粘質土(密、硬くしまる、耕土)
4 遺物包含層　黒褐色(7.5YR3/1)粘質土(密、硬くしまる、遺物包含層)
5 遺構埋土　褐灰色(7.5YR4/1)粘質土(粗い0.5～3cm大の礫を多量に含む)
6 遺構埋土　褐灰色(7.5YR5/1)粘質土(粗い0.5～3cm大の礫を多量に含む)

図7　南区断面図

写真 25　南区北半東壁土層断面（北西から）

写真 26　南区南半東壁土層断面（西から）

写真 27　南区南半北壁土層断面（南から）

写真 28　南区南半遺構検出状況（西から）

写真 29　南区南半遺構完掘状況（西から）

写真 30　南区北半遺構検出状況（南東から）

写真 31　南区北半遺構完掘状況（東から）

写真 32　南区南半完掘状況（北東から）

写真 33　南区北半完掘状況（東から）

（4）遺構

南区（図6、写真28～31）

南区南側の大部分は、大きく攪乱を受けている。南区南側において、5基のピットを確認した（図6、写真28・29）。いずれも平面形が円形となる。残存部が浅く、遺存状態は良くない。これらのうち、Pit2とPit3より土師器、須恵器の小片が出土している。また、近世以降の暗渠が検出された（写真32）。暗渠は南へと続いたものと考えられるが、攪乱を受け規模は不明である。南区北側では、性格不明の小ピット5基を検出した（写真30・31）。

北区（図8・11、写真42～129）

北区では、遺物包含層2の上面において、L字状に延びる溝状遺構（SD1）を検出した（図11、写真42・43）。溝は南をコーナーとして北東、北西方向に走っており、幅48～55㎝、深さ3～5㎝を測る。埋土は2層に区分可能で、下層は暗灰黄色（2.5Y5/2)粘質土で硬くしまっており、上層は黒褐色（2.5Y3/1)粘質土で、遺物は上層に含まれていた。出土した遺物は古代の須恵器、土師器で、一部は上層に堆積する遺物包含層1出土資料と接合した（図39、表5）。溝の上層埋土が遺物包含層1の土質（黒褐色（10YR3/1）粘質土）に類似することから、遺物包含層1堆積時に埋没した可能性を残す。

他はいずれも地山に検出した遺構である。

埋没谷は、北区のほぼ中央で検出した。上流は南東から北西方向に走るが、調査区の中央で北北西に方向を変える。谷幅は6.75～7.5mである。谷の埋土は、土層観察用のアゼ北面において（図10の東側南壁－アゼ）、谷埋土1（暗褐黄色（2.5Y4/2)粘質土、層厚20cm）、谷埋土2（黄灰色（2.5Y6/1)粘質土、層厚20cm）、谷埋土3（灰色（5Y5/1)粘質土、層厚10cm）、谷埋土4（灰白色（5Y8/1)砂質土と灰色（10Y6/1)の互層、20～25cm）という基本的な層序が確認された（写真37・38）。谷埋土1・2からは、古代の須恵器を中心とする遺物が多量に出土した。また谷埋土2からは少量ながら木製品も出土したことから、当調査の谷埋土2が既往調査の谷埋土3上層に相当する可能性が高い[註1]。谷埋土3からは、作業台など石製品が数点確認されたものの、土器は確認されていない。谷埋土4は一部しか掘り下げていないものの、土層観察用アゼ北側断ち割り部にて弥生土器が集中する地点が確認されたほか、立会調査においても弥生土器と見られる小片を確認している。谷右岸の灰色（7.5Y6/1)砂礫層より下位の明褐色（7.5YR5/6）砂礫層は、弥生時代以前の谷埋土とみられたが、北区北壁の断ち割り調査にて掘削したものの、遺物は確認できなかった（図9の北壁、写真34）。なお、より高所にて平成20年度に確認した谷左岸の護岸杭列[註2]は、当調査区では確認されなかった。その理由としては、平成20年度調査区に比して、谷の西側に南西方向に延びる丘陵までの距離が遠く、左岸が緩傾斜となっていたこと、もしくは当調査区谷右岸部付近までが古代官衙域で、当調査区左岸部は域外であった可能性などが考えられる。

埋没谷の左岸では、土壙（SK）2基、ピット（Pit）36基、性格不明の落ち込み遺構（SX）5基を検出した（図8、写真47）。遺構群の規則的な配置が確認できず、建物を復元しうる柱穴は確認できていない。

土壙としたもの2基のうちSK2は、調査区南壁精査時に上層からの掘り込みであることが確認された（写真126）。Pit11～48（写真62～84）は、深度が5～10cmほどと浅いものが多い。多くの遺構埋土の色調は褐色（10YR4/1～6または7.5YR4/2～4)～にぶい黄褐色（10YR5/3・4）を呈し、粘性は総じて強かった。遺構埋土のしまりは強いものが多いが、礫を多量に含む粘質土やシルト質の遺構埋土にはしまりの弱いものもみられた。調査区西端で検出された遺構は、埋土が遺物包含層2（明黄褐色（2.5Y6/6)礫混粘質土）に類似するものもあり、さらに深度が浅いため、これらは染み込みである可能性が高いと考えられる。また、谷の肩部で検出されたPit26からは土師器と須恵器が出土したものの、埋土（褐色（10YR4/

6)粘質土）は谷埋土2（黄灰色（2.5Y6/1）粘質土）と類似しており、自然に形成された窪みに谷埋土が堆積したものと考えられる。

一方で、SX3（図12、写真48～53）のように、長軸1.63m×短軸1.45mの不整円形を呈し、検出面から0.3mの深さをもつ遺構も存在する。SX3の埋土は上層が浅黄色（2.5Y8/4)粘質土で下層が褐色（7.5YR 4/4)粘質土であり、検出当初から北東部での地山（浅黄色（2.5Y7/4)粘質土）との境界が不明瞭であった（写真48・50）。SX3は風倒木痕の可能性が高いのではなかろうか。明確に形状を把握できなかったSX4（写真123)も同様の痕跡である可能性が指摘できる。

SX2（写真122）に関しては、遺構の西半が調査区外で、南端部が攪乱により破壊されていた。半裁掘削を行い、深度25㎝で底面に至ることを確認したが、遺物が含まれていないこと、遺構壁面に沿う形状で地山状の粘土ブロックが帯状に挟まっていることなど、人為的な遺構として評価できなかったため、掘削を終了した。[註3]

遺物はPit26埋土内およびSX3検出面より須恵器や土師器が出土しているが、その他の遺構からは遺物が出土しておらず、各遺構の時期の判断は難しい。遺物包含層上面での遺構検出はし得ていないが、左岸における遺構の一部は中世の可能性が残される。

埋没谷右岸では、土壙（SK）1基、ピット（Pit）42基、性格不明の落ち込み遺構（SX）2基、杭跡17基が検出された（図8、写真46）。左岸と同様に大多数の遺構は浅いものの、左岸よりも柱穴など建物の存在を示唆する遺構が密に検出された。ただし、左岸と同様に深度の浅い遺構については、上層からの染み込みである可能性がある。

右岸で検出された遺構のうち、調査区東端で検出された柱穴（Pit77・78・91・103[註4]、Pit94・97）は、今回の調査区の中では比較的等間隔で規則的に並んでおり、調査区東外方に延びる掘立柱建物に復元できる可能性を有している（図8、写真107・108・111・114・115・120・128）。建物であれば、前者は1間約1.65m、後者は1間約1.95mの規模に復元される。これらの遺構から遺物は出土していないが、東に隣接する解剖実習棟調査区西端にて確認されたSB8、SB9との位置関係（図48）から、古代に属する施設である可能性がある。

杭に関しては明確な並びを見いだせない。地山への打ち込みも浅かったことから、遺物包含層より上位からの打ち込みの可能性も否定できない。

右岸でほかに注目される遺構は、2基の性格不明落ち込み遺構（SX6・SX7）である（図13・14、写真54～61）。SX6は長軸4.1m×短軸2.25mの隅丸長方形型を呈し、SX7は長軸2.98m×短軸2.22mの不整楕円形を呈する。検出面からの深さは、SX6で最大0.47m、SX7で最大0.29mを測る。SX6からは磨石状の円形石器が1点出土したほか遺物は確認されておらず、SX7も遺物の出土がみられないことから、両者の時期は判断できない。両者とも、遺構の中心部が地山に類似する土質（写真46・54）となっており（SX6：明黄褐色（10YR6/8）粘質土、SX7：浅黄色（5Y7/3)粘質土）、左岸にて検出されたSX3の埋土と類似点が認められる。今後類例との比較が必要となるが、ここでは風倒木痕との認識を示しておく。ただし、重複する他の遺構との関係では、SX7はPit4基（Pit57・81・82・83）にいずれも切られた状態であったが、SX6はPit3基（Pit69・70・71）には切られているものの、Pit2基（Pit63・76）には切られているように見受けられた。この切り合い関係が事実であれば、Pit71から古代の須恵器が出土していることから、SX6は風倒木痕ではなく、古代以前でPit76構築以降に設けられた遺構ということになる。

右岸で検出された遺構の埋土は、左岸と同様に褐色（10YR4/1～6または7.5YR4/2～4)、黄褐色（10YR5/6～8）、にぶい黄褐色（10YR5/3・4）を呈する礫混粘質土が主体であるが、中にはPit57のように灰

オリーブ色（5Y5/2)を呈する例もある。吉田キャンパスでは、中世の遺構埋土は灰色系の色調を呈する傾向があることから、Pit57は、埋土から須恵器が出土しているものの、中世に属する可能性が高い。

右岸の遺構からの出土遺物は、上記のPit57・71からの須恵器[註5]、SX6からの磨石状の円形石器のみであり、遺物からの遺構の時期比定は難しい。右岸で検出された遺構は、解剖実習棟敷地と近接することから古代に属するものが多いと考えられるが、Pit57の例にみられるように、中世の遺構も含まれている可能性がある。これらの遺構については、平成14年度におこなわれた解剖実習棟新営に伴う発掘調査の成果[註6]を参照しつつ、評価をしていく必要がある（図48）。（川島・横山）

【註】

1）横山成己（2019）「動物医療センター（リニアック室等）新営その他工事に伴う本発掘調査」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学埋蔵文化財資料館年報－平成26年度－』，山口

2）横山成己（2012）「農学部附属動物医療センター改修Ⅲ期工事に伴う本発掘調査」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学埋蔵文化財資料館年報－平成20年度－』，山口

3）調査区西壁断面図作成後にSX2の掘削を行ったため、図9には遺構断面が反映されていない。

4）Pit103は平面および断面形状から溝である可能性を有している（写真120）。

5）このうちPit57から出土した甕もしくは器台とみられる須恵器は、遺物包含層1・2出土資料と接合関係にある（図24、写真138の249）。

6）解剖実習棟新営に伴う発掘調査の正式な調査報告は未刊行であるが、概要は下記に所収している。
田畑直彦（2004）「平成14年度山口大学構内遺跡調査の概要」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学構内遺跡調査研究年報ⅩⅥ・ⅩⅦ』，山口

（5）遺物（図16～47、写真130～160、表5～9）

当調査では、遺構からの遺物の出土は僅少であったが、遺物包含層および谷埋土から土器を中心に膨大な遺物の出土をみた。整理作業および図化作業等に長期間を要したため、各堆積層の遺物組成、傾向等を詳細に検討することはかなわなかったことから、可能な限りの資料公開を目標とした。南区、北区の順で掲載するが、北区の堆積層に含まれる遺物に関しては、本稿では下位の堆積層より報告をおこなう。なお、註を付す場合は頁が大きく乖離することを避けるため、各層報告文の末尾に置く。

［土器］

南区出土土器（図15、写真130、表5）

1～**13**は南区にわずかに遺存した遺物包含層に含まれていた土器である。南区では地山直上に堆積しているが、土質が黒褐色（2.5Y3/2)粘質土であることから（図7、写真25・27）、北区の遺物包含層1（黒褐色（10YR3/1または2/2、7.5YR3/1）、褐灰色（7.5YR4/6）粘質土）に相当するものと思われる。須恵器には坏蓋口縁部（**1**・**2**）、坏口縁部（**3**～**5**）、高台付坏底部（**6**）、坏底部（**8**）、壺底部（**7**）、皿口縁部（**9**・**10**）が、土師器には甕口縁部（**11**）、高台付坏または椀底部（**12**）がある。**13**は鎬蓮弁文の龍泉窯系青磁碗で、13世紀代のものとみられる。**14**・**15**は遺構検出面（地山）にめり込んだ資料で、須恵器の坏底部（**14**）と壺または甕の口縁部（**15**）がある。

その他はいずれも旧耕土や攪乱から出土した資料である。**17**は内面に布目は観察されないが、製塩土器の体部片とみられる。**21**は土師器椀の底部で、底部外面に糸切り痕が残る。11世紀代に属する資料であろう。

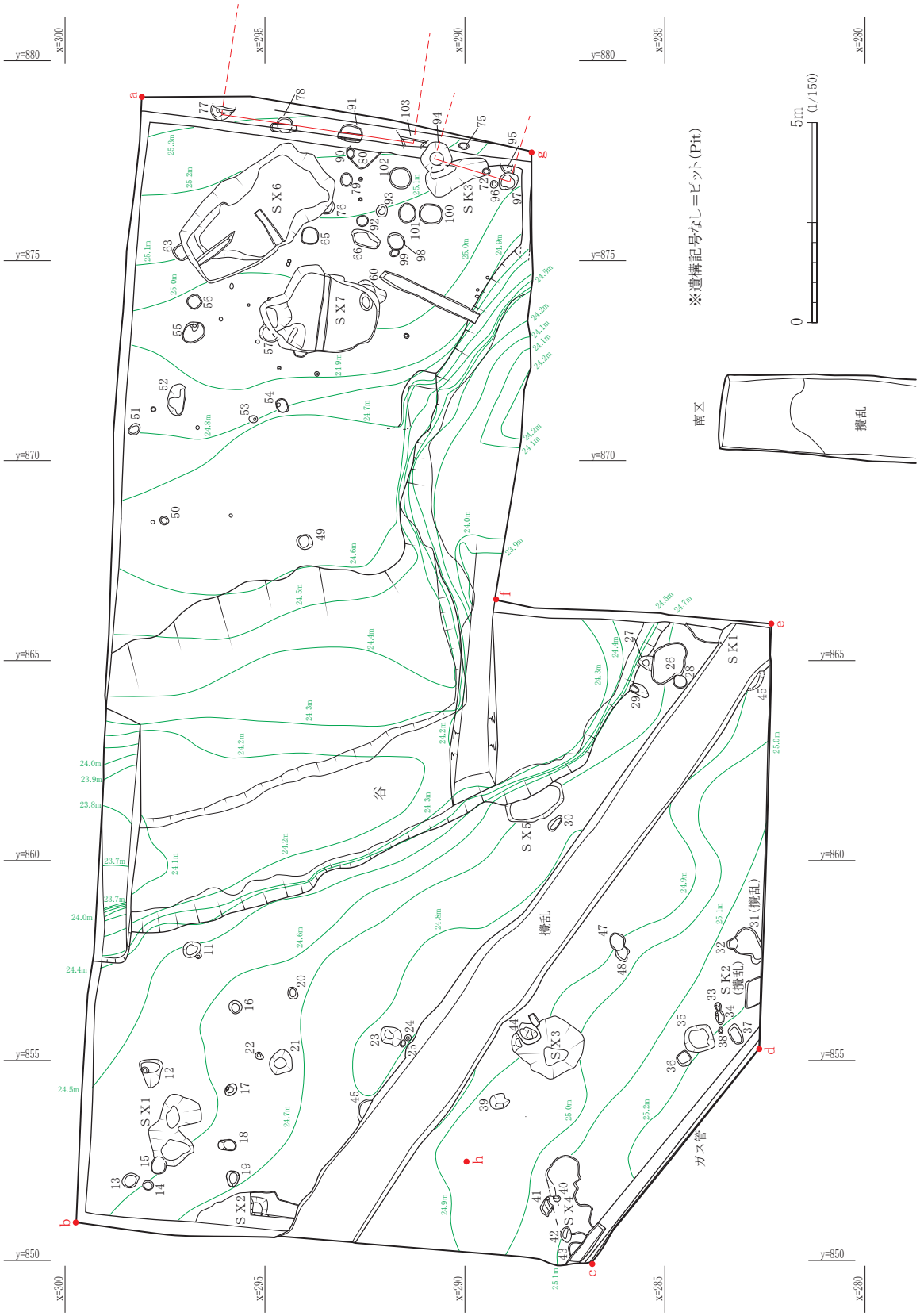

※遺構記号なし＝ピット(Pit)
南区
攪乱
0
5m
(1/150)
SX6
SX7
SK3
SX1
SX2
SX3
SX4
SX5
SK1
SK2
谷
攪乱
ガス管
a
b
c
d
e
f
g
h
x=300
x=295
x=290
x=285
x=280
y=880
y=875
y=870
y=865
y=860
y=855
y=850

図8　北区平面図

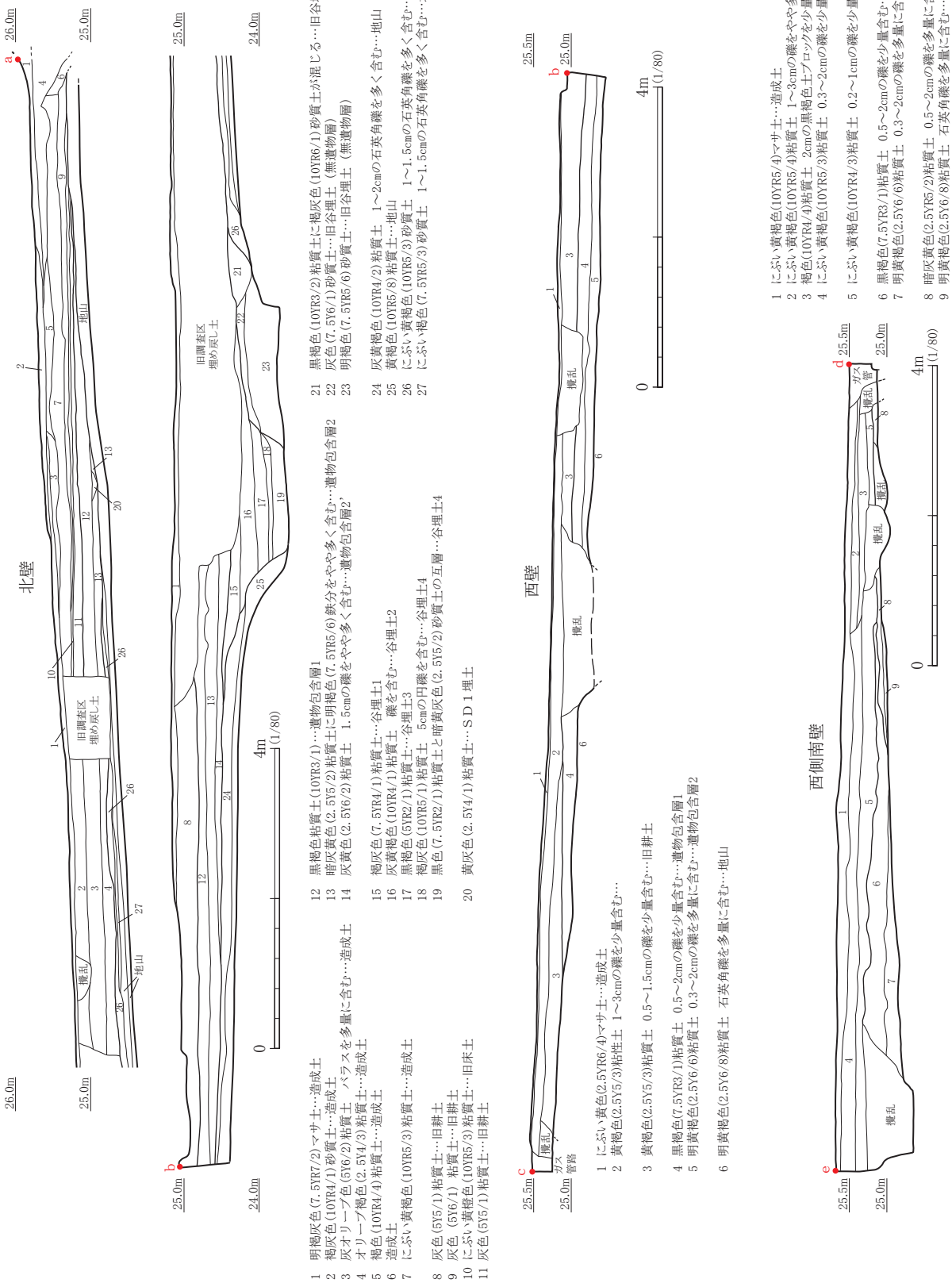
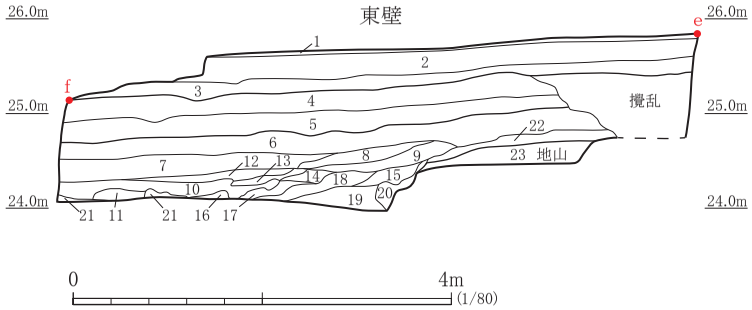


図９　北区北壁・西壁・西側南壁断面図

写真 34　北区北壁土層断面（南東から）

写真 35　北区西壁土層断面（南東から）

写真 36　北区西側南壁土層断面（北から）

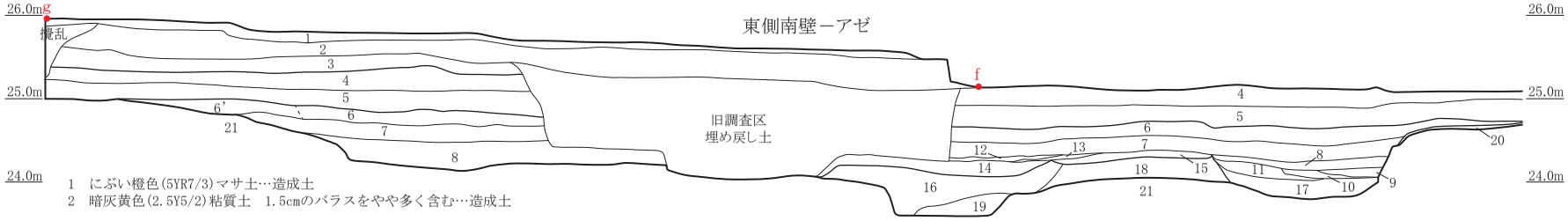


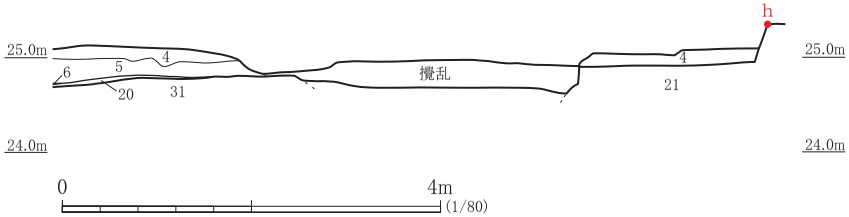
1　表土
2　オリーブ褐色（2.5Y4/4）　中礫を少量含む…造成土
3　暗灰黄（2.5Y4/2）　明黄褐色土ブロックを少量含む…旧耕土

4　黒褐色（10YR2/2）　中礫をやや多く含む…遺物包含層1
5　にぶい黄褐色(10YR4/3)　中礫を多く含む…遺物包含層2

6　暗灰黄色(2.5Y4/2)　炭化物をやや多く含む　中礫を多く含む　鉄分沈着が多い…谷埋土1
7　灰オリーブ(5Y4/2)　中礫を少量含む…谷埋土2
8　黒褐色(2.5Y3/2)　炭化物を多く含む…谷埋土2
9　暗灰黄色(2.5Y4/2)…谷埋土2
10　黒色(2.5Y1/1)～黒褐色(2.5Y3/2)　部分的にシルト質となる　炭化物をわずかに含む…谷埋土3
11　黒褐色(2.5Y3/1)　砂質土…谷埋土3
12　黄灰色(2.5Y4/1)　砂質～シルト質…谷埋土3
13　褐色(10YR3/4)　炭化物をやや多く含む　中礫を少量含む…谷埋土3
14　暗オリーブ(2.5Y3/3)　礫混じり粘質土…谷埋土3
15　暗褐色(10YR3/4)　中礫を多く含む…谷埋土3
16　黒色(2.5Y2/1)　中礫を多く含む…谷埋土3
17　黒褐色(2.5Y3/1)　礫混じり砂質土　鉄分沈着が部分的にみられる…谷埋土3
18　黒褐色(2.5Y3/2)　鉄分沈着がわずかにみられる…谷埋土3
19　黒褐色(2.5Y3/1)　礫混じり粘質土　鉄分沈着が多い　炭化物をわずかに含む…谷埋土3
21　黒褐色(2.5Y3/1)　砂礫層…谷埋土4
22　褐色(10Y5/6)　中礫を多く含む　鉄分沈着がやや多くみられる…谷埋土4

23　黄褐色(10YR5/8)　部分的にシルト質となる　中礫を少量含む…地山





1　にぶい橙色(5YR7/3)マサ土…造成土
2　暗灰黄色(2.5Y5/2)粘質土　1.5cmのバラスをやや多く含む…造成土

3　にぶい黄褐色(10YR5/4)…旧耕土

4　褐灰色(7.5YR4/1)粘質土…遺物包含層1
5　灰黄色(2.5Y6/2)粘質土…遺物包含層2

6　暗褐黄色(2.5Y5/2)粘質土に褐色(7.5YR4/6)の鉄分が多量に付着、1～3cmの石英角礫やや多く混じる…谷埋土1
6’黄褐色粘質土(2.5Y5/3)鉄分含まない…谷埋土1
7　黄灰色(2.5Y6/1)粘質土に褐色(7.5YR4/6)の鉄分がやや多く付着、炭化物をやや多く含む…谷埋土2
8　灰色（5Y5/1）粘質土、シルト混じり、植物遺存体を含む…谷埋土3
9　褐灰色(10YR5/1)粘質土、粘性強く、植物遺体を含む…谷埋土3
10　谷埋土3　灰色(5Y6/1)砂質土、シルト、粗砂、バラスが混じる…谷埋土3
11　黄灰色(2.5Y4/1)粘質土、シルトが混じるが粘性強い…谷埋土3
12　黄灰色(2.5Y6/1)粘質土、5と酷似するがシルトが混じる…地山…谷埋土3
13　黄灰色(2.5Y4/1)粘質土、間に1.5～2.5cmの角礫をやや多く含む…谷埋土3
14　黒褐色(2.5Y3/1)粘質土…谷埋土3
15　明褐色(7.5YR5/6)砂質土、鉄分付着…谷埋土3
16　褐灰色(7.5YR6/1)砂質土、2～4cmの石英角礫をやや多く含む、作業台、板石を含む…谷埋土3
17　灰白色(5Y8/1)砂質土、灰色(10Y6/1)粘質土の互層、弥生土器を含む…谷埋土4

18　灰白色(10YR7/1)粘質土、1～7cmの石英角礫、7cmの円礫をやや多く含む…旧谷埋土（無遺物層）
19　赤褐色(5YR4/6)礫層、鉄分強く5～10cmの角の丸い礫を多量に含む…旧谷埋土（無遺物層）

20　褐灰色(10YR6/1)礫層　1～6cmの石英角礫を多量に含み、間に粘土混じる…地山（遺物めり込む）
21　地山　浅黄色(10YR8/4)粘土・シルト

図10　北区東壁・東側南壁ーアゼ断面図

写真 37　北区東壁土層断面（北西から）

写真 38　北区東側南壁－アゼ土層断面（北東から）

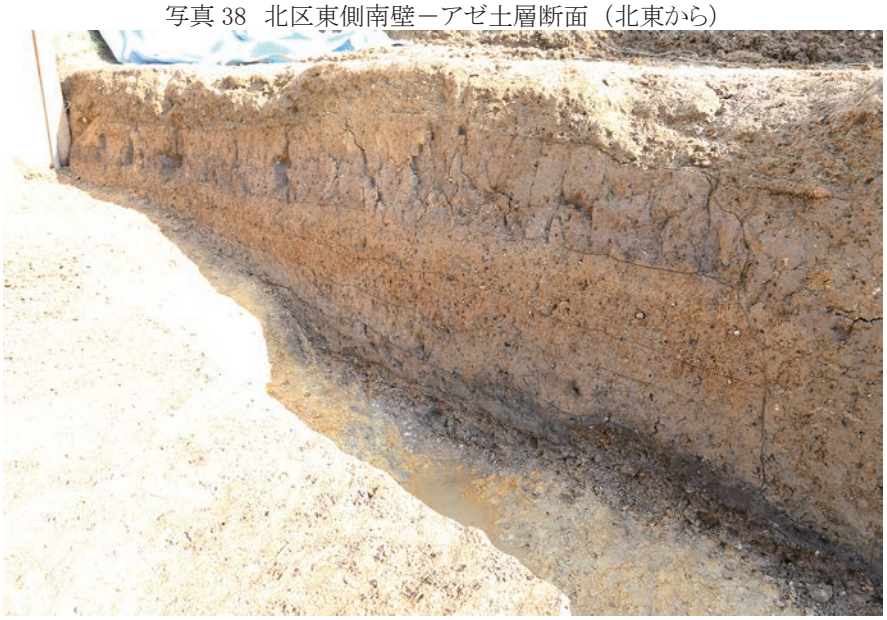


写真 39　北区東側南壁土層断面（北西から）

写真 40　北区遺物包含層 1 検出状況（北東から）

写真 41　北区遺物包含層 1 検出状況（西から）

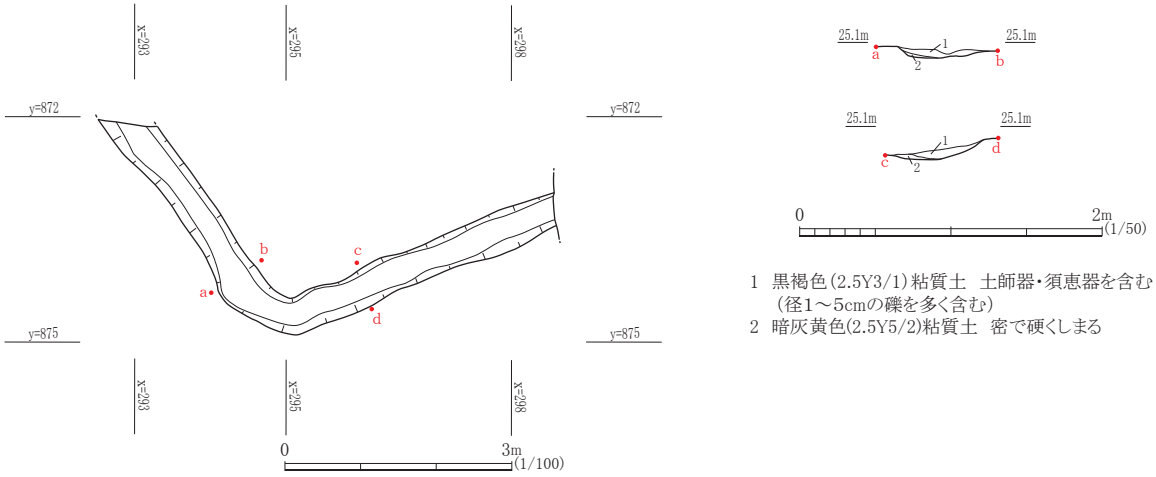


図 11　SD1平面図・断面図

写真 42　SD1検出状況（東から）

写真 43　SD1完掘状況（東から）

写真 44　北区埋没谷検出状況（東から）

写真 45　北区埋没谷検出状況（西から）

写真 46　北区東側遺構検出状況（東から）

写真 47　北区西側遺構検出状況（北から）

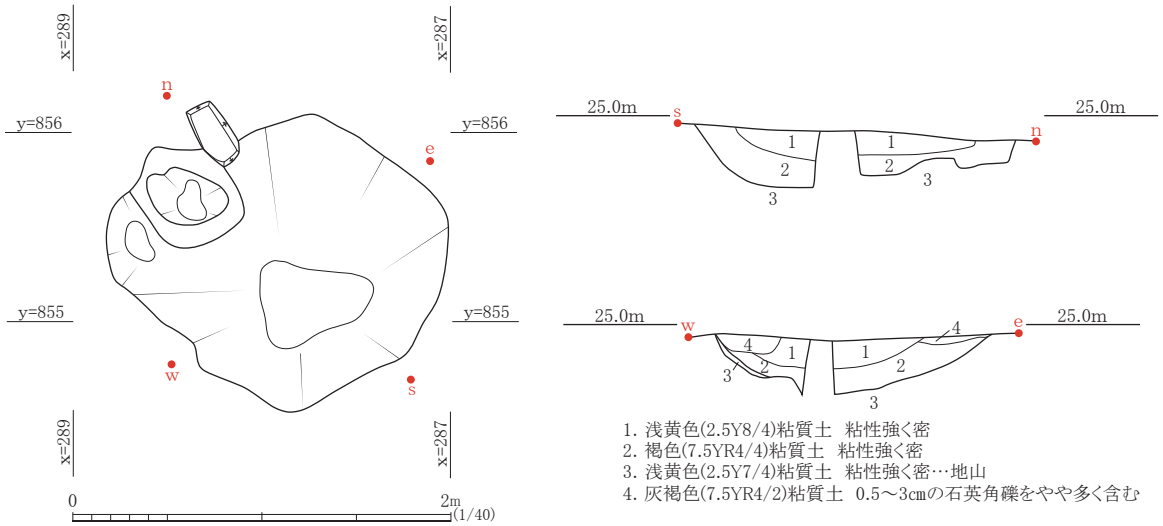


図 12　SX3平面図・断面図

写真 48　SX3検出状況（北東から）

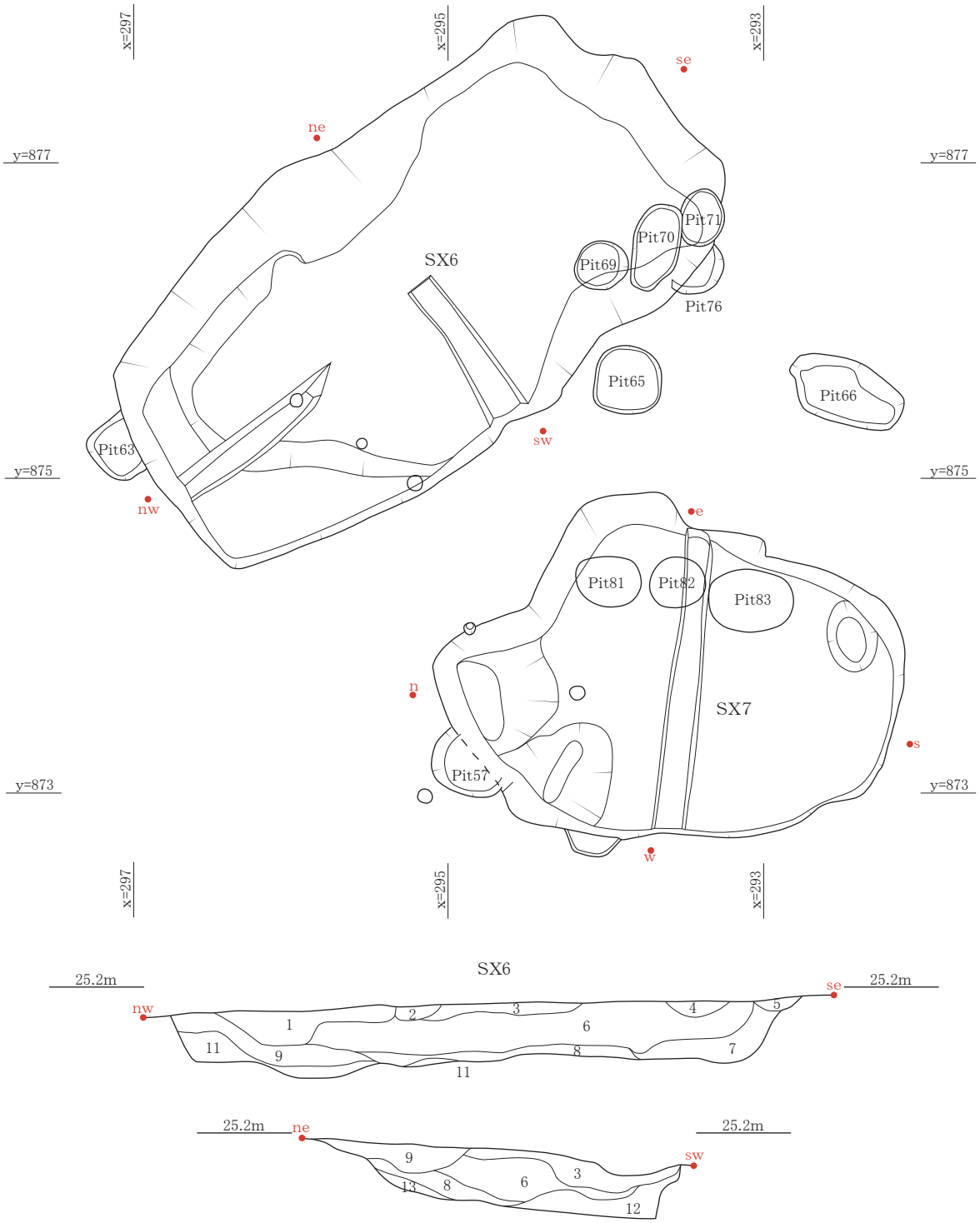
写真 49　SX3掘削風景（南西から）

写真 50　SX3南北断面（東から）

写真 51　SX3東西断面（北から）

写真 52　SX3完掘状況（北から）

写真 53　SX3完掘状況（東から）

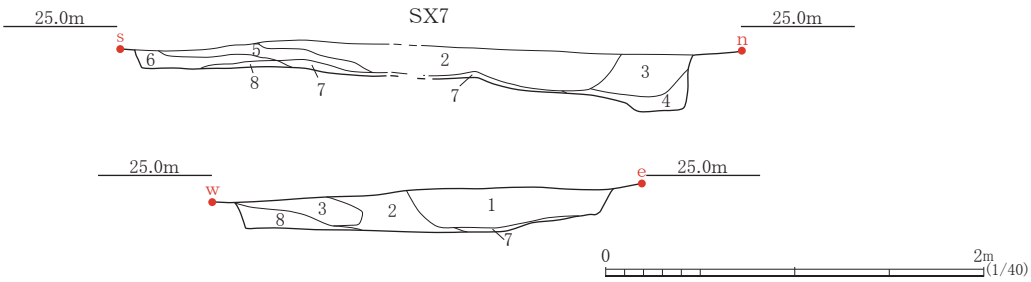


1. オリーブ褐色(2.5Y4/6)粘質土　0.3～0.5cmφの石英を多く含む
2. 明黄褐色(2.5Y7/6)粘質土　0.5cmφほどの石英を少量含む
3. 褐色(10YR4/6)粘質土　0.5～1cmφの石英を多量に含む(混礫粘質土)
4. 黄橙色(10YR8/6)シルト　粘性弱い
5. 記録なし
6. 明黄褐色(10YR6/8)粘質土　0.5cmφほどの石英を少量含む
7. 明褐色(7.5YR5/6)礫混粘質土
8. 黄褐色(10YR5/8)粘質土　1.5cmφほどの石英を少量含む
9. 褐色(7.5YR4/6)粘質土　0.5～1cmφの石英を多く含む　炭化物をごく少量含む

10.橙色(7.5YR6/8)粘質土　密でよく締まる　粘性強い…地山
11.明黄褐色(10YR6/8)粘質土　0.5～1cmφの石英を多量に含む…地山
12.明黄褐色(10YR6/8)粘質土　砂礫をほとんど含まない…地山
13.黄褐色(10YR5/8)粘質土　1～1.5cmφの石英をやや多く含む

0　2m (1/40)

図 13　SX6・7 平面図　SX6 断面図



1. 黒褐色(10YR3/2)粘質土　0.5～2cmφの石英角礫を多く含み、締まりは弱い　炭をやや少量含む
2. 浅黄色(5Y7/3)粘質土　密でよく締まる　粘性強い
3. 灰黄褐色(10YR5/2)粘質土　0.5～2cmφの石英角礫を多く含み、締まりは弱い　炭をやや多く含む
4. 黄褐色(2.5Y5/6)粘質土　締まり弱く粘性やや弱い
5. 灰黄色(2.5Y6/2)粘質土　0.5～1cmφのバラスをやや多く含む　締まり弱く粘性弱い
6. 暗灰黄色(2.5Y5/2)粘質土　0.5～1cmφのバラスをやや多く含む　締まり弱く粘性弱い

7. 橙色(7.5YR6/8)粘質土　密でよく締まる　粘性強い…地山
8. 明黄褐色(10YR6/6)粘質土　密でよく締まる　粘性強い…地山

図 14　SX7 断面図

写真 54　SX6・7 検出状況（北から）

写真 55　SX6 土層断面（南から）

写真 56　SX6 完掘状況（南から）

写真 57　SX6 完掘状況（西から）

写真 58　SX7 土層断面（北東から）

写真 59　SX7 土層断面（南西から）

写真 60　SX7 完掘状況（東から）

写真 61　SX7 完掘状況（南西から）

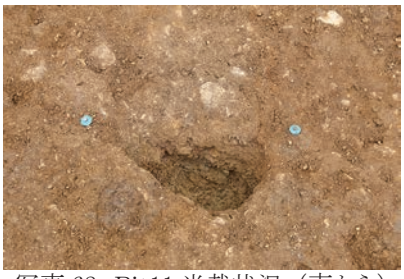


写真 62　Pit11 半裁状況（南から）

写真 63　Pit12 半裁状況（南から）

写真 64　Pit13 半裁状況（南西から）

写真 65　Pit14 半裁状況（南西から）

写真 66　Pit16 半裁状況（南から）

写真 67　Pit17 半裁状況（南から）

写真 68　Pit18 半裁状況（南から）

写真 69　Pit19 完掘状況（南から）

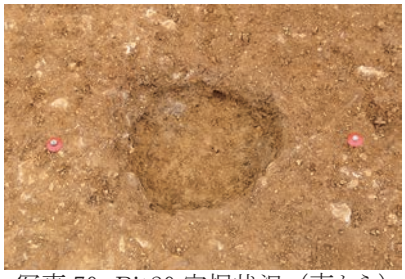


写真 70　Pit20 完掘状況（南から）

写真 71　Pit21 完掘状況（南から）

写真 72　Pit22 半裁状況（南から）

写真 73　Pit23 半裁状況（南西から）

写真 74　Pit24・25 完掘状況（南から）

写真 75　Pit30 半裁状況（南西から）

写真 76　Pit31・32 半裁状況（西から）

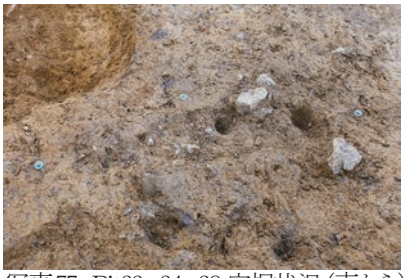


写真77　Pit33・34・38 完掘状況（南から）

写真78　Pit35・36 半裁状況（南から）

写真 79　Pit37 半裁状況（南西から）

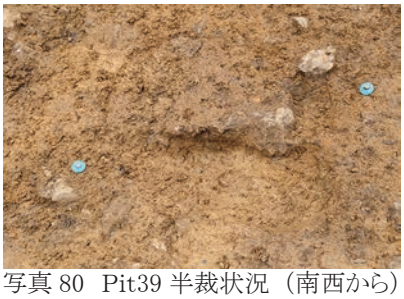


写真 80　Pit39 半裁状況（南西から）

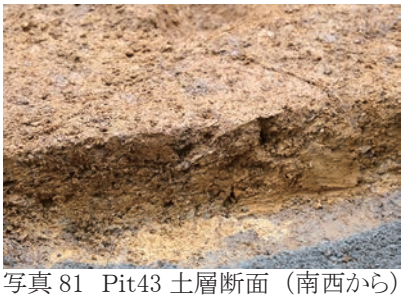


写真 81　Pit43 土層断面（南西から）

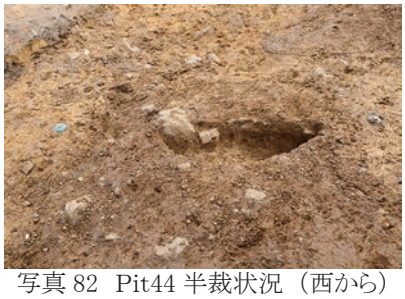


写真 82　Pit44 半裁状況（西から）

写真 83　Pit45 完掘状況（南から）

写真 84　Pit47・48 半裁状況（西から）

写真 85　Pit49 半裁状況（南から）

写真 86　Pit50 半裁状況（南から）

写真 87　Pit51 完掘状況（南から）

写真 88　Pit52 半裁状況（南から）

写真 89　Pit53 半裁状況（南から）

写真 90　Pit54 半裁状況（南東から）

写真 91　Pit55 半裁状況（南から）

写真 92　Pit56 半裁状況（南から）

写真 93　Pit57 完掘状況（西から）

写真 94　Pit59 完掘状況（北から）

写真 95　Pit60 半裁状況（東から）

写真 96　Pit61 完掘状況（南西から）

写真 97　Pit62 半裁状況（南から）

写真 98　Pit63 土層断面（南東から）

写真 99　Pit65 半裁状況（西から）

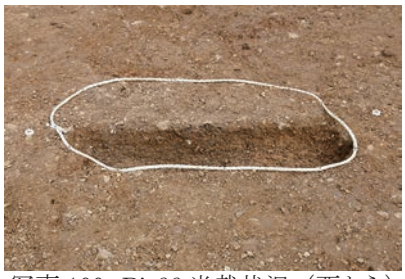


写真 100　Pit66 半裁状況（西から）

写真 101　Pit67 完掘状況（南から）

写真 102　Pit68 土層断面（西から）

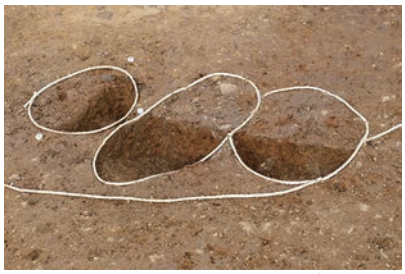


写真103　Pit69～71 半裁状況（南西から）

写真 104　Pit72 半裁状況（南西から）

写真 105　Pit75 半裁状況（西から）

写真 106　Pit76 完掘状況（南から）

写真 107　Pit77 完掘状況（西から）

写真 108　Pit78 半裁状況（西から）

写真 109　Pit79 半裁状況（西から）

写真110　Pit80・90完掘状況（西から）

写真 111　Pit91 半裁状況（西から）

写真 112　Pit92 半裁状況（南から）

写真 113　Pit93 半裁状況（南から）

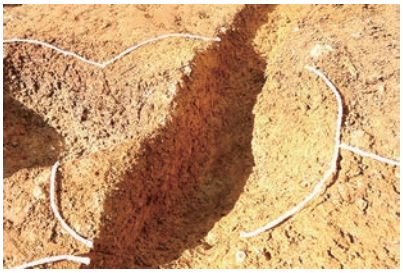


写真 114　Pit94 土層断面（南東から）

写真 115　Pit96・97 半裁状況（南から）

写真116　Pit98・99 半裁状況（南から）

写真 117　Pit100 半裁状況（南から）

写真 118　Pit101 半裁状況（南から）

写真 119　Pit102 半裁状況（南から）

写真 120　Pit103 土層断面（西から）

写真 121　SX1半裁状況（南東から）

写真 122　SX2 土層断面（南東から）

写真 123　SX4検出状況（南から）

写真 124　SX5土層断面（北東から）

写真 125　SK1検出状況（東から）

写真 126　SK2完掘状況（北から）

写真 127　SK3半裁状況（北西から）

写真 128　北区東側遺構完掘状況（西から）

写真 129　北区西側遺構完掘状況（北から）

表4　北区遺構観察表

種類	遺構番号	平面形態	平面規模（cm）	深さ（cm）	埋土	出土遺物	備考
不明遺構	SX1	不整形	175×118	9.5	褐色(7.5YR4/6)粘質土に 灰白色(10YR8/2)粘土混ざる		風倒木痕か
	SX2	楕円形か	237＋×92＋	28	にぶい黄褐色(10YR4/3)粘質土		西側側溝で、 南側攪乱で破壊
	SX3	楕円形	163×145.5	36.5	図12参照		風倒木痕か
	SX4	不整形	200＋×95		暗褐色・明黄褐色土ブロックなど が混ざる		風倒木痕か
	SX5	楕円形	151.5×64	14.5	オリーブ褐色(2.5Y4/4) 混礫粘質土		谷左岸にかかる
	SX6	隅丸長方形	406.5×225.5	46.5	図13参照		風倒木痕か 炭化物混ざる
	SX7	不整楕円形	298×222	29	図13・14参照		風倒木痕か
土壙	SK1	不明	96＋×39＋	19.5	明黄褐色(10YR6/6) 粘質土 1～2cmφの礫やや多く混ざる		東側調査区外 南側攪乱で 破壊
	SK2	方形か	66×38＋	5.5	黄褐色(10YR5/6)粘質土 0.5cmφの礫を多く含む		南半部調査区外 攪乱坑
	SK3	隅丸長方形	160×61.5	27	褐色(7.5YR4/6) しまりあり・粘性強い 1～5cmφの礫やや多く混ざる		Pit72・94 に切られる
ピット	Pit11	楕円形	47.5×38	26	にぶい黄褐色(10YR5/4)粘質土		
	Pit12	隅丸三角形	69.5×58	23	褐色(10YR4/4)粘質土		
	Pit13	楕円形	44×36	11.5	灰黄褐色(10YR4/2)粘質土		
	Pit14	楕円形	27×24	3	灰黄褐色(10YR4/2)粘質土		
	Pit15	楕円形	43.5×37	4.5	灰黄褐色(10YR4/2)粘質土		SX1を切る
	Pit16	楕円形	33.5×31.5	9.5	褐色(7.5YR4/3)粘質土		
	Pit17	楕円形	33.5×25	4	灰褐色(7.5YR4/2)粘質土		
	Pit18	楕円形	45.5×27.5	7	褐色(10YR4/4)粘質土		
	Pit19	楕円形	39×32	11.5	褐色(10YR4/4)粘質土		
	Pit20	楕円形	30.5×24	15	にぶい黄褐色(10YR5/4)粘質土		
	Pit21	隅丸方形	57×58	8.5	にぶい黄褐色(10YR5/3)粘質土		
	Pit22	楕円形	21.5×17	6.5	にぶい黄褐色(10YR5/3)粘質土		
	Pit23	楕円形	58×46	11	褐色(7.5YR4/4)粘質土		
	Pit24	円形	16	4.5	にぶい褐色(7.5YR5/3)粘質土		
	Pit25	楕円形	18×12.5	4.5	にぶい褐色(7.5YR5/3)粘質土		
	Pit26	楕円形	116.5×88.5	11.5	褐色(10YR4/6) 粘質土	須恵器・土師器	Pit27・28を切る
	Pit27	楕円形	34＋×36	7.5	褐色(10YR4/6) 粘質土		Pit26に切られる 谷左岸にかかる
	Pit28	楕円形	36×32	4.5	褐色(10YR4/6) 粘質土		Pit26に切られる
	Pit29	楕円形	53×26	16.5	褐色(10YR4/6) 粘質土		谷左岸にかかる
	Pit30	楕円形	45.5×22.5	5.5	黄褐色(10YR5/8) 粘質土		
	Pit31	楕円形	92.5×68.5	7.5	明黄褐色(2.5Y6/6)粘質土 1～5cmφの礫やや多く混ざる		南端調査区外 Pit32を切る 攪乱坑
	Pit32	円形	26	6	明黄褐色(2.5Y6/6)粘質土 1～5cmφの礫やや多く混ざる		Pit31に切られる
	Pit33	楕円形	20.5×15.5	5	黄褐色(2.5Y5/6)粘質土		
	Pit34	楕円形	34×21.5	3.5	黄褐色(2.5Y5/6)粘質土		
	Pit35	隅丸方形	73×66.5	15	黄褐色(10YR5/6)粘性強い 0.5cmφの礫多く混ざる 1～2cmの黒色土ブロック やや多く混ざる		
	Pit36	隅丸方形	34.5×35.5	7	明黄褐色(2.5Y6/6)粘性強い		
	Pit37	隅丸長方形	49×31	6	黄褐色(2.5Y5/6)粘質土		
	Pit38	楕円形	15.5×11.5	2	記録なし		
	Pit39	楕円形	45×37.5	7	記録なし		
	Pit40	楕円形	19×16	3.5	明黄褐色(10YR6/6) 灰黄褐色(10YR5/2) 粘質土		Pit41・SX4を切る

種類	遺構番号	平面形態	平面規模（cm）	深さ（cm）	埋土	出土遺物	備考
ピット	Pit41	楕円形	48＋×30	7	褐色(10YR4/6)粘質土		Pit40に切られる SX4を切る
	Pit42	楕円形	38.5×26.5	11.5	にぶい褐色(7.5YR5/4)粘質土		SX4を切る
	Pit43	楕円形か	22＋×44＋	13.5	褐色(10YR4/6)粘質土		ガス管により破壊
	Pit44	楕円形	45×28.5	10	黄褐色(10YR5/6)粘質土		SX3を切る
	Pit45	楕円形か	63.5＋×24.5＋	8.5	記録なし		攪乱で破壊
	Pit46	不明	40＋×13＋	14	褐色(10YR4/4)粘質土 礫多く混ざる		攪乱で破壊
	Pit47				明黄褐色(2.5Y6/6)粘質土		
	Pit48	円形	13	12	明黄褐色(2.5Y6/6)粘質土		
	Pit49	楕円形	42.5×39	4.5	記録なし		
	Pit50	楕円形	23.5×21	4.5	記録なし		
	Pit51	楕円形	32.5×25	12	黄褐色(2.5Y5/4) 1～3cmφの礫多量に混ざる		
	Pit52	楕円形	79×44	16	にぶい黄褐色(10YR5/4) 1～3cmφの礫多量に混ざる		炭化物混ざる
	Pit53	楕円形	22.5×17.5	15	黄褐色(2.5Y5/4) しまり弱い・強粘質土 0.3～1cmφの礫多量に混ざる		
	Pit54	楕円形	36×28	10.5	黄褐色(2.5Y5/4) しまり弱い・強粘質土 0.3～1cmφの礫多量に混ざる		
	Pit55	楕円形	62×51	16	褐色(10YR4/4) しまり弱い・強粘質土 0.3～1cmφの礫多量に混ざる		
	Pit56	隅丸方形	35.5×35.5	11.5	黄褐色(10YR5/6) しまり弱い・強粘質土 0.3～1cmφの礫少量混ざる		
	Pit57	楕円形	58×59	16	灰オリーブ色(5Y4/2) 1～3cmφの礫多量に混ざる	須恵器	SX7を切る Pit58に切られる 炭化物混ざる
	Pit58	円形	20		記録なし		
	Pit59	楕円形	35.5×29	6	褐色(10YR4/4) 黄褐色(2.5Y5/4) 1～3cmφの礫多量に混ざる		
	Pit60	楕円形	79×43.5	5.5	褐色(7.5YR4/6)粘質土 0.5～1.5cmφの礫多く混ざる		
	Pit61	円形	40	8	記録なし		
	Pit62	円形	37	3	褐色(10YR4/4)粘質土 0.5～1.5cmφの礫多量に混ざる		後に凹みと判断 消滅
	Pit63	方形か	39×26.5＋	8	褐色(10YR4/4) しまり・粘性あり 2～5cmφの礫少量混ざる		SX6に切られる？
	Pit64	消去					SX6埋土
	Pit65	隅丸方形	43×43	4	黄褐色(10YR5/6) しまり・粘性あり 1～3cmφの礫少量混ざる		
	Pit66	楕円形	76×41.5	8.5	黄褐色(10YR5/6) 0.5～1cmφの礫多量に混ざる		
	Pit67				褐色(7.5YR4/6)粘質土 0.5～2cmφの礫多量に混ざる		
	Pit68				褐色(7.5YR4/6)粘質土 0.5～2cmφの礫多量に混ざる 10cmφの礫少量混ざる		
	Pit69	円形	34	10	褐色(7.5YR4/4) しまり強・粘性あり 0.5～1cmφの礫やや多く混ざる		
	Pit70	楕円形	56×30	15	褐色(7.5YR4/6) しまり強・粘性あり 0.5～2cmφの礫多く混ざる		Pit71を切る
	Pit71	楕円形	38×28	11.5	褐色(7.5YR4/6) しまり強・粘性あり 0.5～2cmφの礫多く混ざる	須恵器	Pit70に切られる
	Pit72	楕円形	19.5×17.5	14	にぶい黄褐色(10YR4/3) しまりあり・粘性強い 1～2cmφの礫少量混ざる		
	Pit74				黄褐色(10YR5/6) 0.5～1.5cmφの礫多量に混ざる		

種類	遺構番号	平面形態	平面規模（cm）	深さ（cm）	埋土	出土遺物	備考
ピット	Pit75	楕円形	25.5×16	7.5	にぶい黄褐色(10YR5/6) しまりあり・粘性強い 5cmφの礫わずかに混ざる		
	Pit76	円形か	38	15	褐色(10YR4/6) しまり・粘性あり 1～3cmφの礫少量混ざる		SX6に切られる？
	Pit77	楕円形か	59×35＋	20	黄褐色(10YR5/8) しまり・粘性あり 1～3cmφの礫少量混ざる		東側調査区外
	Pit78	円形	38	8	褐色(7.5YR4/6) しまり・粘性あり 2～5cmφの礫少量混ざる		
	Pit79	楕円形	34×30	8.5	黄褐色(10YR5/8) しまりあり・粘性あり 1～3cmφの礫多く混ざる		
	Pit80	隅丸方形か	60＋×68	7	褐色(7.5YR4/6) しまり・粘性あり 1～3cmφの礫多量に混ざる		側溝で半壊
	Pit81	楕円形	42×31.5		黄褐色(2.5Y5/4) しまり弱い・粘性強い 1～2.5cmφの暗褐色土ブロック 混ざる・2cmφの礫少量混ざる		SX4を切る
	Pit82	円形	34		オリーブ褐色(2.5Y4/4) しまりあり・粘性やや強い 1cmφの礫やや多く混ざる		SX4を切る
	Pit83	楕円形	54×39.5		褐色(10YR4/4) しまり弱い・粘性やや強い 1～4cmφの礫多量に混ざる		SX4を切る
	Pit90	楕円形	24.5×21	5	褐色(10YR4/6) しまり弱い・粘性あり 1～3cmφの礫少量混ざる		Pit80を切る
	Pit91	楕円形	56×44	7	褐色(10YR4/6) しまり・粘性あり 1～5cmφの礫少量混ざる		
	Pit92	円形	28	3.5	褐色(10YR4/6) しまり・粘性あり 1～2cmφの礫少量混ざる		
	Pit93	円形	29.5	5.5	黄褐色(10YR5/8) しまり・粘性あり 2～4cmφの礫多く混ざる		
	Pit94	隅丸方形	75×70.5	40	明褐色(7.5YR5/6) しまりあり・粘性強い 2～5cmφの礫多量に混ざる		
	Pit95	楕円形	24.5＋×27.5	3.5	にぶい黄褐色(10YR5/6) しまり弱い・粘性強い 1～3cmφの礫少量混ざる		Pit97に切られる 側溝で半壊
	Pit96	円形	19.5	16	褐色(10YR4/6) しまり・粘性強い 1～2cmφの礫少量混ざる		
	Pit97	楕円形	52.5×43.5	12	褐色(10YR4/4) しまり弱い・粘性強い 1～5cmφの礫少量混ざる		Pit95を切る
	Pit98	楕円形	47×40.5	8	にぶい黄褐色(10YR5/6) しまりあり・粘性強い 0.5～2cmφの礫多量に混ざる		Pit99に切られる
	Pit99	楕円形	24.5×17	3	にぶい黄褐色(10YR5/6) しまりあり・粘性強い 0.5～2cmφの礫少量混ざる		Pit98を切る
	Pit100	楕円形	59.5×50.4	5	にぶい黄褐色(10YR5/6) しまりあり・粘性強い 0.2～2cmφの礫多量に混ざる		
	Pit101	楕円形	49×43	8	黄褐色(10YR5/8) しまり・粘性弱い 1～3cmφの礫少量混ざる		
	Pit102	楕円形	57.5×55	5.5	褐色(10YR4/6) しまりあり・粘性強い 1～3cmφの礫少量混ざる		
	Pit103	不明	71＋×19.5＋	15.5	褐色(10YR4/6) しまり弱い・粘性あり 1～10cmφの礫少量混ざる		東側調査区外 西側側溝で破壊

北区谷埋土2出土土器（図16～18、写真130～133、表5）

谷埋土4から弥生土器と見られる小片が出土しているが図示不能であることから、北区出土土器は谷埋土2から報告をおこなう。

22～31は須恵器坏蓋。22は外面に墨書の一部が見られる。小さなボタン状つまみを有する蓋で、平坦な天井部から緩やかに内湾して下降し、口縁端部をほぼ垂直に下垂させている。農学部解剖実習棟調査区にて出土した「官」の字が記された須恵器蓋[註1]と比べ、つまみの径や器高、口縁端部の下垂角度に小差ががみられるが、ほぼ同一の器形と言える。完形復元不能であるが、23～25の天井部、30の口縁部も同形の蓋である可能性が高い。8世紀前半から中ごろ資料と見られる。その一方でかえりを有する口縁片（28・29）、扁平な天井部から口縁を屈曲気味に外方に開き端部を下垂させている破片（31）など、時期的に先行または後出する蓋も混ざっている。

32～38は須恵器高台付坏。いずれも底部外端より内側に「ハ」字状に高台が付けられる。端部はつまみ出されたような凹面を有しており、やや長めの高台が多い。こちらも8世紀前半から中頃の資料であろう。39～42は無高台の坏底部。42の外面には直線2条のヘラ記号が見られる。43～50は坏口縁部。44は復元口径10.4㎝と小型で、直立する口縁から底部に向かい収縮する。坏G類とみるが、坏H類の蓋、小型高坏坏部の可能性も残す。

53～55は須恵器の高台付皿。これまで基準を曖昧にしていたが、坏部の器高・口径比が1/3以下のものを皿とする。吉田遺跡では口径16㎝内外で、底部外面に鳥足状のヘラ記号を施すものが散見される[註2]。高台形態的な特徴として、断面形態がやや「く」字状に屈曲し外方に開くものが多い。

56～73は須恵器高坏。56は唯一全形を復元しうる資料で、脚部沈線は中位よりやや上に巡らされる。坏部見込み中央にヘラ記号「×」が施されるが、線は微弱で引き直しも見られる。73は小型低脚高坏の坏底－脚部片。動物医療センター周域では類例が少ない。

74は器種不明の須恵器脚部。形態から小型壺の脚部の可能性があるが、当調査で同様の脚部が4点（遺物包含層2に1点（463）、遺物包含層1に2点（713・714））出土しているのに対して、対応する上部を見いだせない。

75は須恵器壺蓋と見られる。76は平瓶の体部片。頸部が付け根で折損しており、肩部に沈線1条を巡らせる。77は横瓶の口縁－肩部片。遺物包含層1出土の肩部片と接合した。口縁部からから頸部にかけて完形で遺存している。78は須恵器甕の口縁－肩部片。口縁上端に面をとる。79は須恵器円面硯。総合研究棟調査区の谷埋土2上位出土資料[註3]と接合した。谷埋土1より同一個体と見られる脚部片が出土している（写真132）。

土師器は出土量が須恵器に比して著しく少ない。80～83は坏。83は鉢とした方が良いかもしれない。84は高坏で須恵器模倣品または須恵器の焼成不良品である。85～90は甕口縁部片。

91は所属時期が大きく異なり、弥生土器甕の底部とみられる。

【註】

1）田畑直彦（2004）「平成14年度山口大学構内遺跡調査の概要」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学構内遺跡調査研究年報ⅩⅥ・ⅩⅦ』，山口 Fig.82の2

2）吉田遺跡の東南約2㎞に位置する岡小路遺跡からも鳥足状ヘラ記号が施される須恵器高台付皿が出土しているが、復元口径19.1㎝と大型である（井上広之（2006）「岡小路遺跡 第2次調査」，山口市教育委員会（編）『山口市埋蔵文化財年報5 －平成16年度－』，山口）。

3）田畑直彦（2017）「吉田構内総合研究棟新営に伴う発掘調査」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学構内遺跡調査研

究年報ＸＸ』，山口 Fig.18の56

北区谷埋土１出土土器（図19～23、写真133～138、表５）

谷埋土2に比して包含する遺物が倍増する。

92～130は須恵器坏蓋。92は坏H類の蓋で、口縁を垂直に下垂させる。93は坏蓋としたが、口径が17.1㎝と大きく、高台付皿の蓋である可能性が残る。扁平なドーム状の天井から内湾して口縁に降下するもの（99・100・116など）も見られるが、口縁にかえりを有するもの（107～114）、口縁が屈曲気味に大きく開くもの（103・127など）、輪状つまみを有するもの（130）など、異なる時期の資料の混ざりが激しい。105・106は転用硯とみられ、平滑な内面に墨が遺存する。

131～146は須恵器高台付坏の底部片。こちらも高台の形態にバリエーションがあり、やはり時期的な混ざりが見られる。147～154は無高台坏の底部片。155～187は口縁部片。155は復元口径10.2㎝で坏G類の身とみられる。187は坏としたが内面に灰を被っており、ハソウなど他器種の口縁かもしれない。

188～190は須恵器高台付皿の底部片、191～194は口縁部片。191は復元口径17.8㎝とやや大型であることから、皿蓋の可能性もある。195は無高台の皿とみられる。

196～210は須恵器高坏。196の脚部沈線は、中位より下位に巡らされる。遺物包含層2出土の破片と接合している。

211～215は須恵器壺類の口縁・頸部片。211は直立する口縁で、残存部下端に沈線が巡らされている。214は平瓶頸部の可能性がある。215は短頸壺の口縁－頸部とみられる。216は扁平な壺蓋か。

217はハソウの口縁部片。218は器台の裾部と見られる。器台裾部は周辺地で過去にも確認されている。[註1] 官衙に関連する資料ではなく、丘陵上にかつて存在したと推定される古墳群由来の資料である可能性が高い。

219～222は平瓶。219は谷埋土2や遺物包含層2、遺構検出層出土資料と接合しており、口縁を除きほぼ完形に復元可能である。内外面とも丁寧に回転ナデ調整が施されている。220は粘土板充填部が遺存することから天井部と見られる。外面に高台を打ち欠いた重ね焼き痕が残っている。221も粘土板充填部が遺存しているが220とは別個体で、器壁が薄く外面にカキ目が施されている。222は平瓶の腹部とみられるが、壺の可能性もある。

223～228は須恵器甕。223・224は肩部外面に平行叩き後回転ナデ、内面に同心円当て具後回転ナデが施される。227の口縁部は内端をつまみ上げており、頸部外面に沈線と櫛描波状文が施されている。228も頸部とみられ、やはり沈線と櫛描波状文が施される。

土師器は少量である。229・230は須恵器模倣品で、かえりを有する坏蓋口縁部片である。231～237は坏。237は内面に炭素が吸着しているが磨きは見られない。238は埦底部片。239～241は皿。242～246は甕口縁部片。大きく外反するもの（242～245）と直線的に外方にのびるもの（246）がみられる。247は甑または甕の把手。端部を欠失しているが、ほぼ水平にのびている。

248は弥生土器甕の体部片。沈線を4条巡らせている。既往調査においても、谷埋土には散発的に弥生時代の遺物が見られる。埋没谷南東側の丘陵から流入した遺物と推定される。

【註】

1）河村吉行（1986）「農学部附属農場飼料園排水溝修復整備に伴う立会調査」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学構内遺跡調査研究年報Ｖ』，山口 Fig.34の12

2）横山成己（2007）「吉田遺跡第Ⅱ地区の調査」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学埋蔵文化財資料館年報－平成17年度』，山口 78頁参照

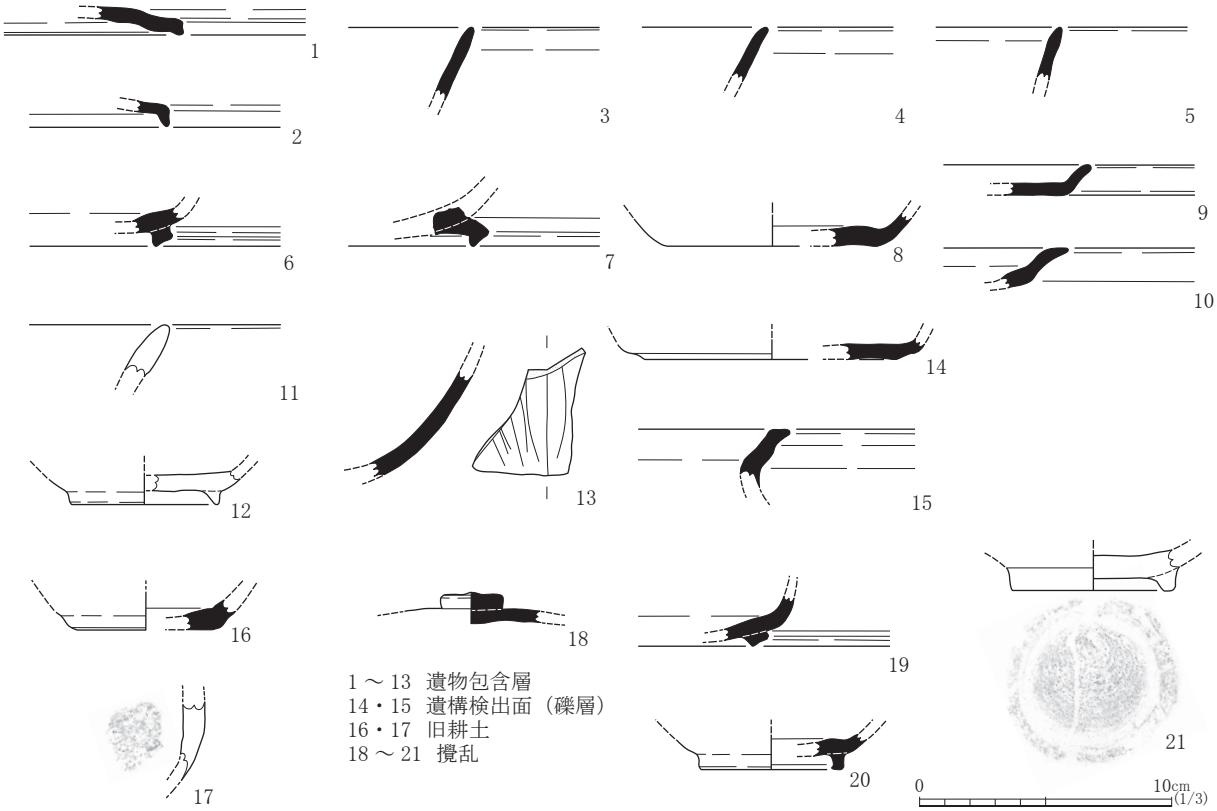


図 15　南区出土土器実測図

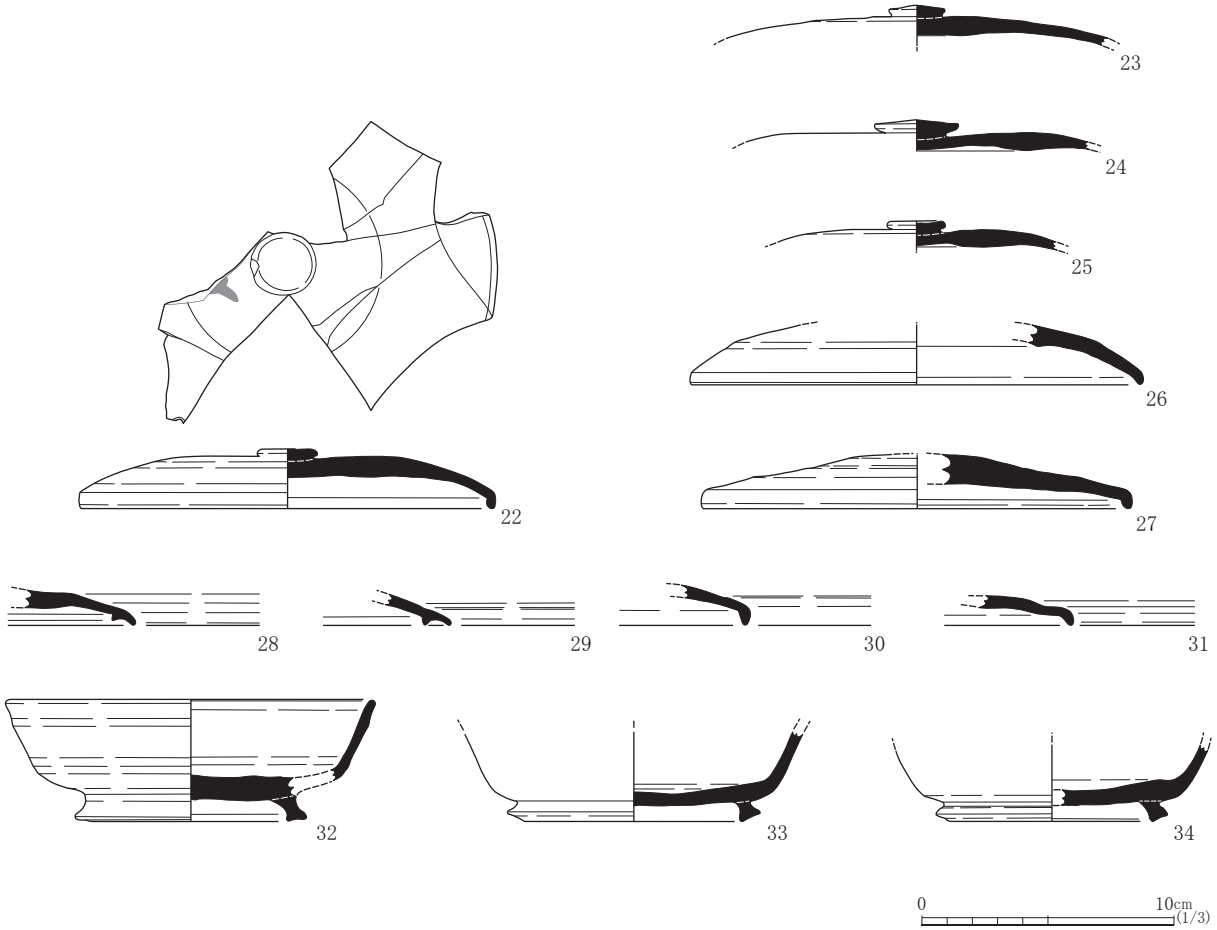


図 16　北区谷埋土 2 出土土器実測図①

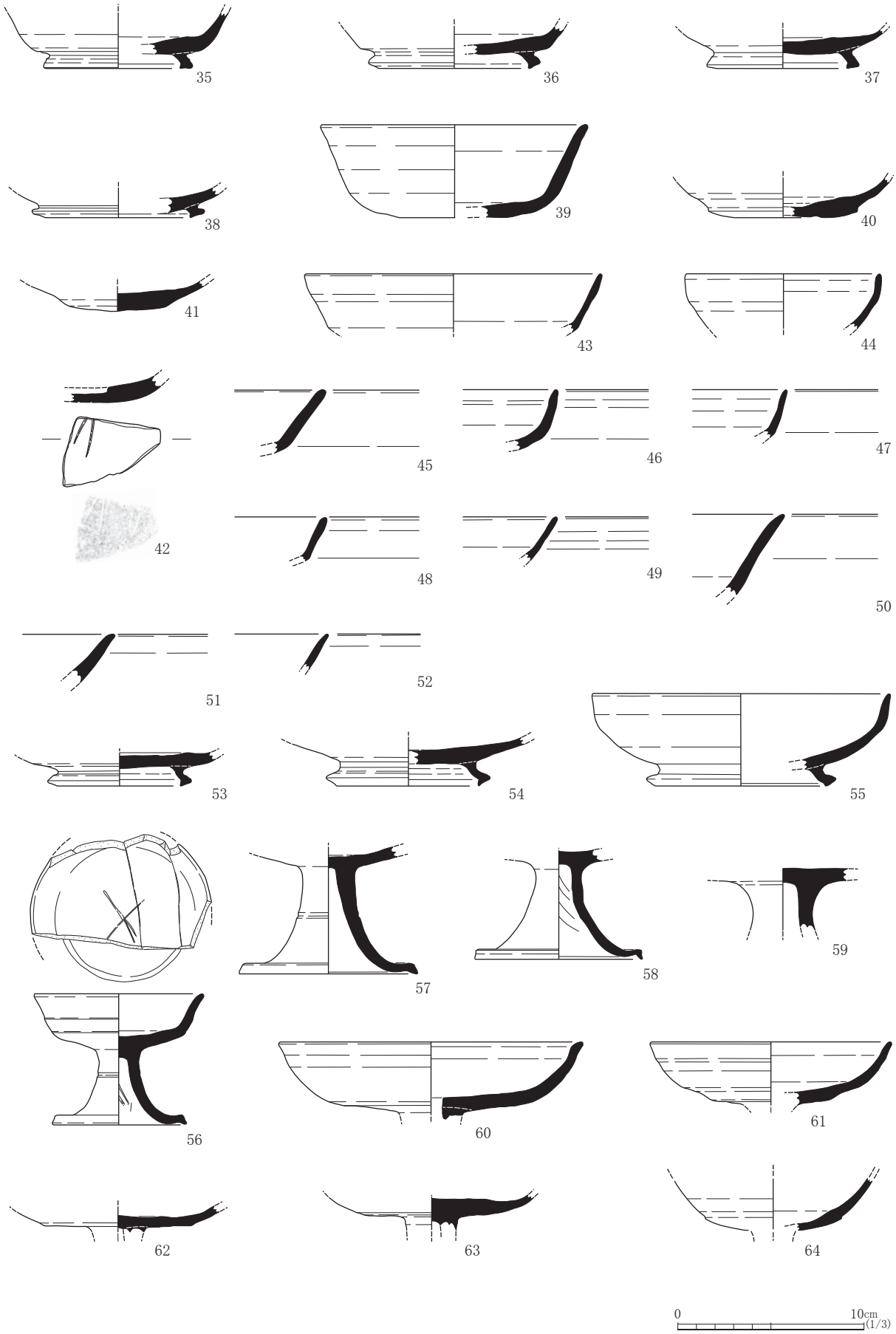


図 17　北区谷埋土 2 出土土器実測図②

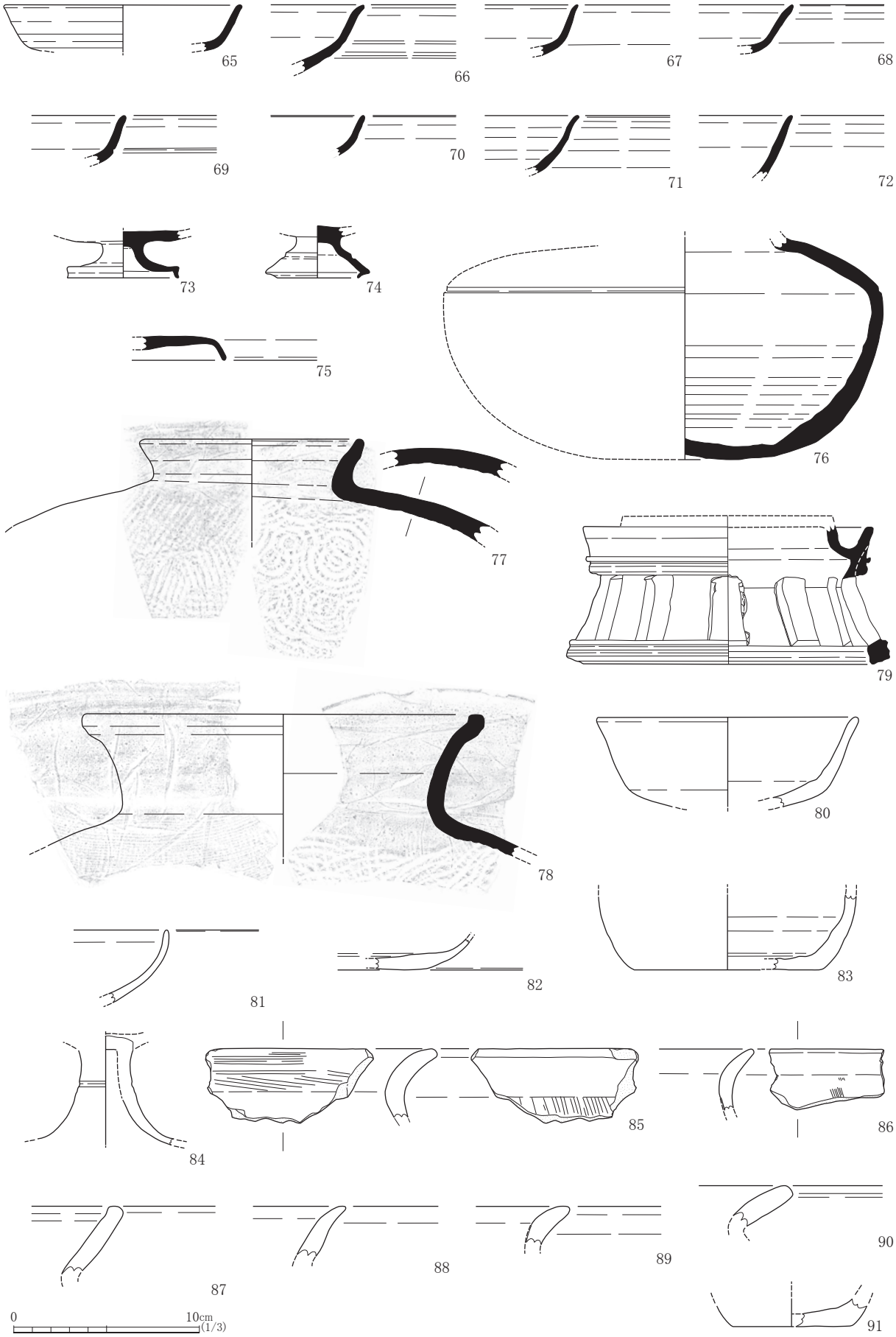


図 18　北区谷埋土 2 出土土器実測図③

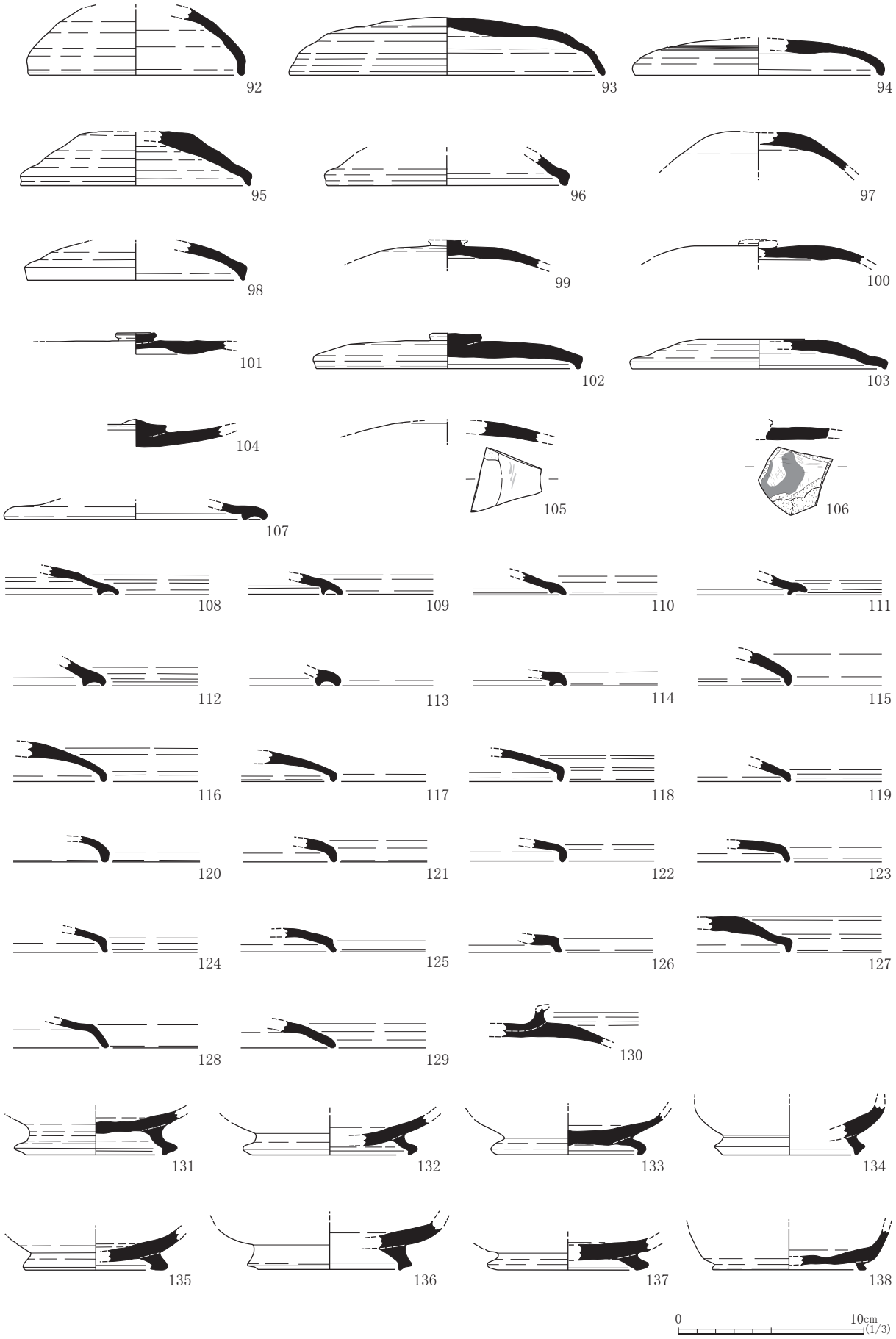


図 19　北区谷埋土 1 出土土器実測図①

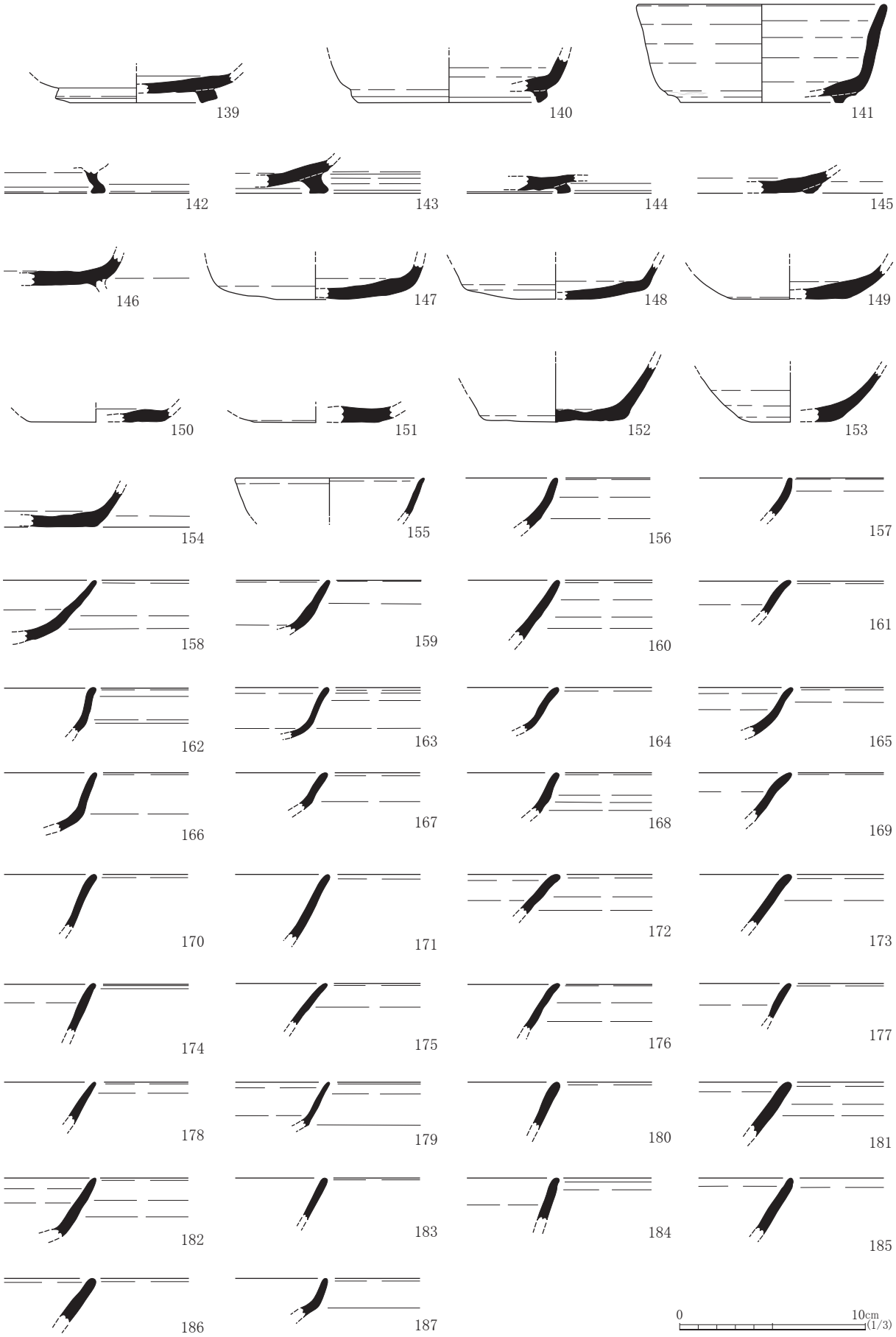


図 20　北区谷埋土 1 出土土器実測図②

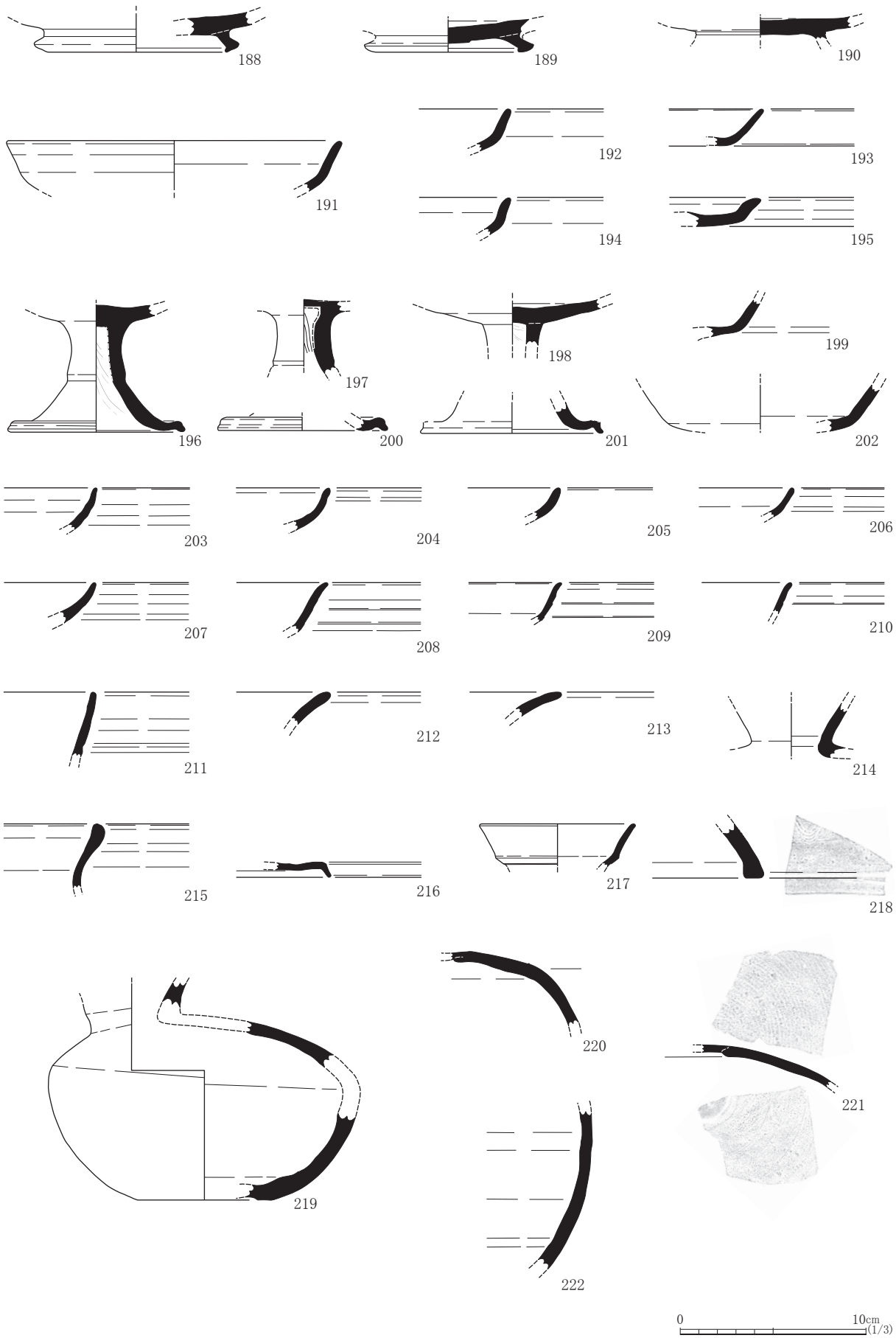


図 21　北区谷埋土 1 出土土器実測図③

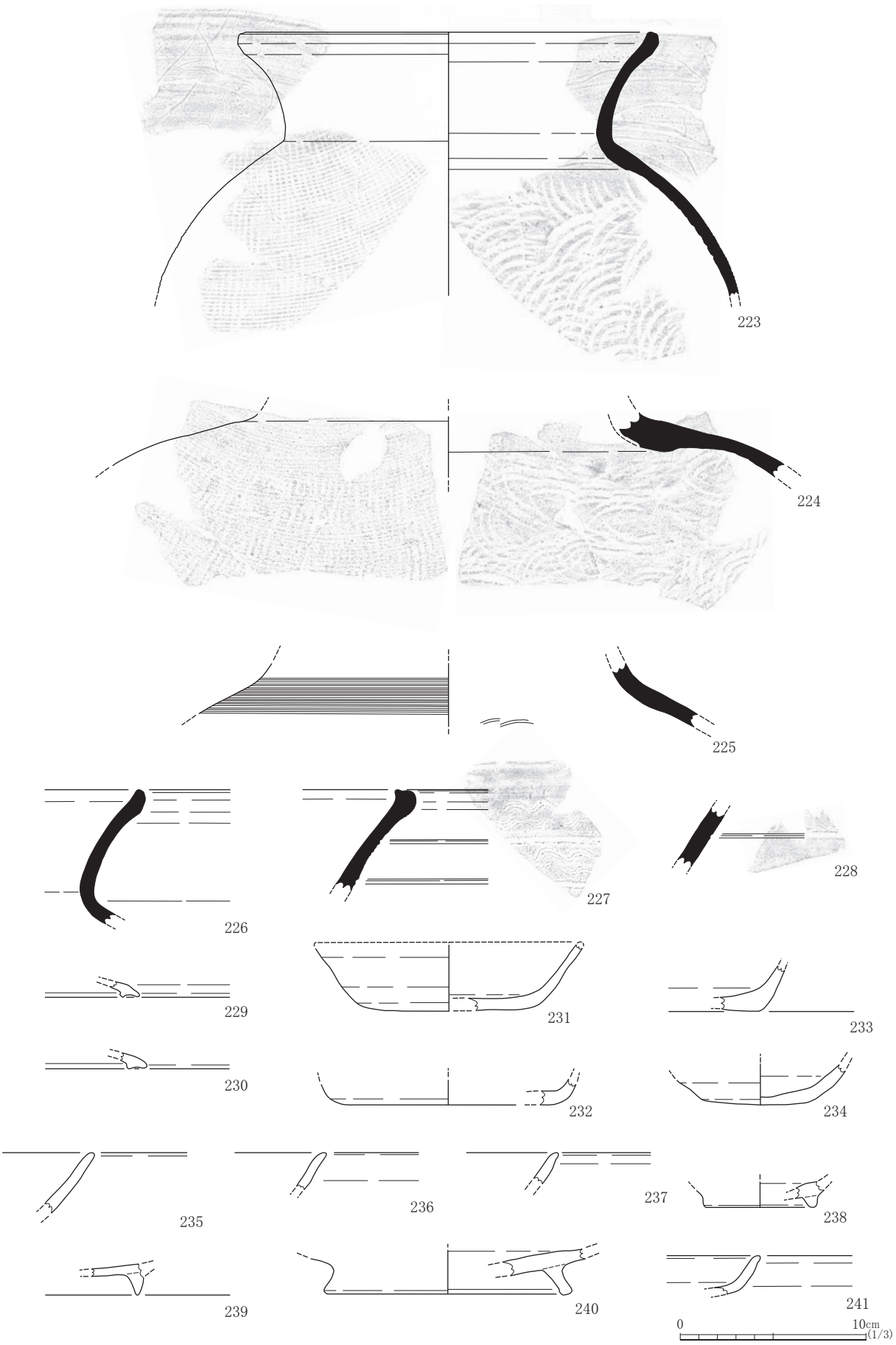


図 22　北区谷埋土 1 出土土器実測図④

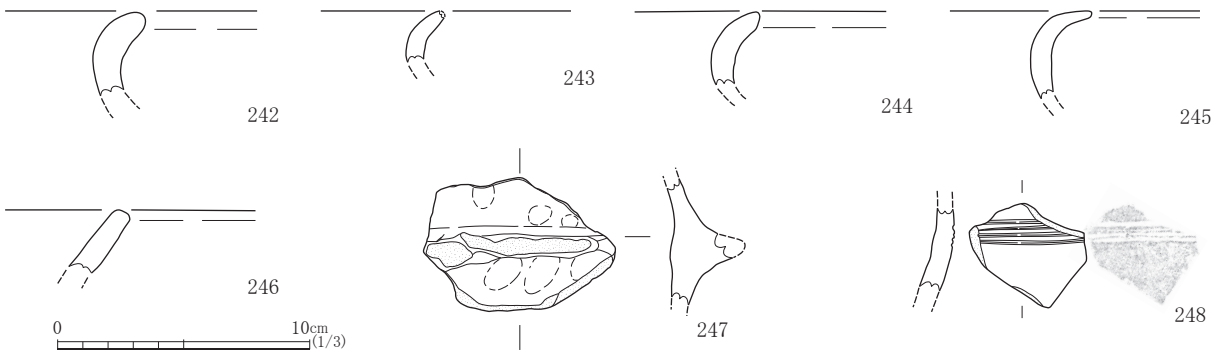


図 23　北区谷埋土１出土土器実測図⑤

249　Pit57
250　Pit71

図 24　北区遺構出土土器実測図

北区遺構出土土器（図25～26、写真138～140、表5）

249はPit57から出土した須恵器甕頸部または器台の鉢部片である。遺物包含層1・2出土資料と接合している。下端外面に粘土剥離痕が観察されることから、器台脚部接続付近の破片である可能性が高いと考えるが、内面に当て具痕が観察されないため特定できない。外面には沈線3条で区画された施文帯に櫛描波状文が施されている。

250はPit71から出土した須恵器坏蓋の口縁－天井部片。

北区遺構検出層出土土器（図25・26、写真138～140、表5）

「基本層序」註2に記したとおり、遺構検出層には遺物が食い込んでいる状況であった。

251～266は須恵器坏蓋。形態にバリエーションが多く、口縁にかえりを有するもの（255～257）、天井部から屈曲気味に長く口縁を下垂させるもの（258）、口縁に向かい緩やかに降下し端部を下垂させるもの（259～263）、口縁が外方に開き端部を下垂させるもの（265）などがある。

267～279は須恵器高台付坏の底部片。268～270、272は皿の可能性がある。底部外端より内側に長い高台が「ハ」字状に付くもの（267～270）、底部外端に断面長方形の高台が「ハ」字状に付くもの（274・275）、底部外端に断面逆台形の高台が付き、端部全面で接地するもの（276）など、7世紀後半から9世紀までの特徴を有するものが混ざっている。280～291は坏口縁部片と無高台の坏底部片。280は皿の可能性が高い。285の外面には2条の直線で「V」字状にヘラ記号が刻まれている。

292～294は須恵器高台付皿の底部片、295・296は皿の口縁部片である。292と294は遺物包含層1出土破片と接合している。297～300は須恵器高坏。

301～306は須恵器の壺甕類。301は遺物包含層1出土破片と接合している。

307は龍泉窯系青磁の碗で、内面に劃花文が見られる。308は玉縁白磁碗の口縁部片。

土師器で図示できるのは、坏底部1点（309）と甕口縁部2点（311・312）のみである。

310は弥生土器甕の口縁部であろう。

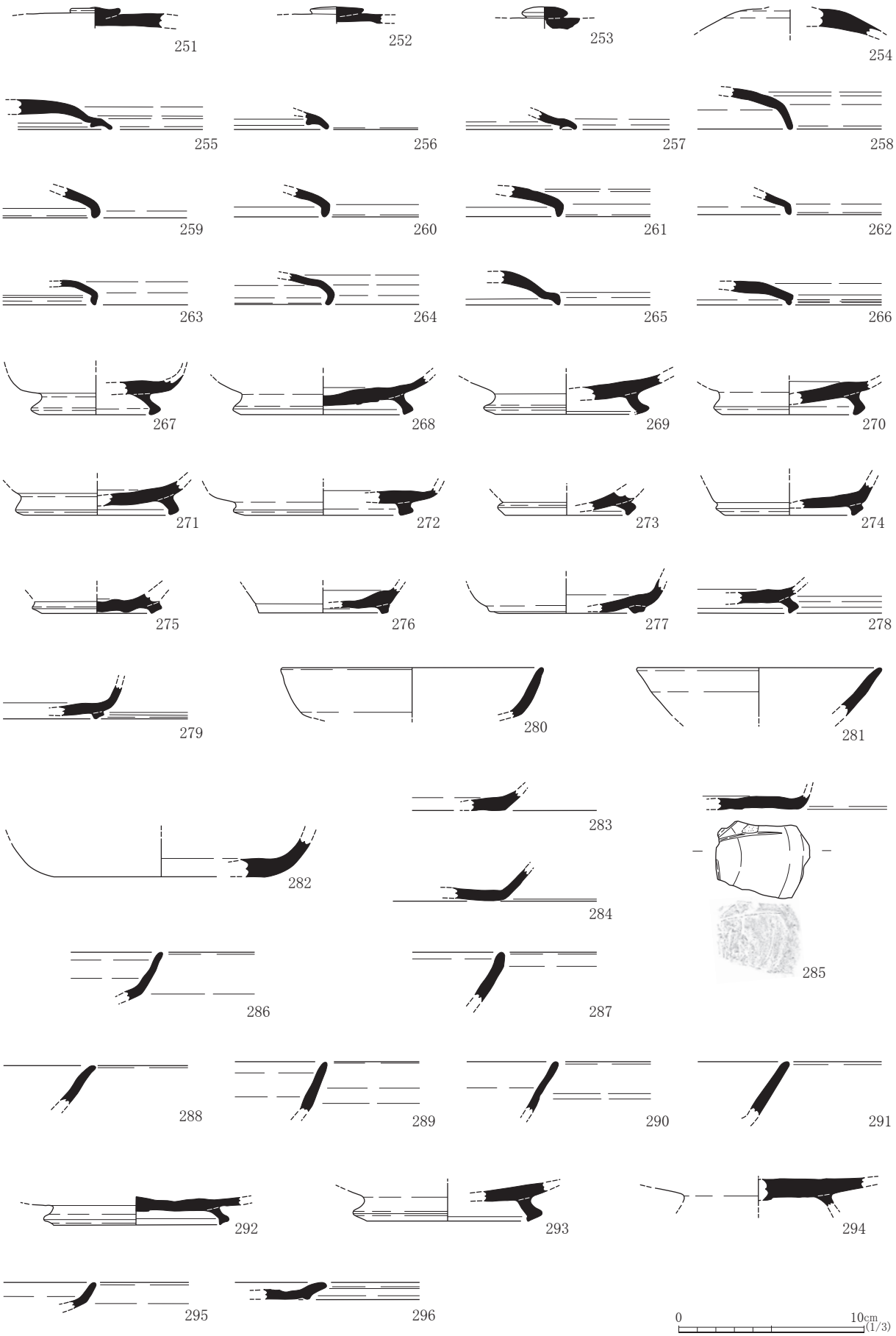


図 25　北区遺構検出層出土土器実測図①

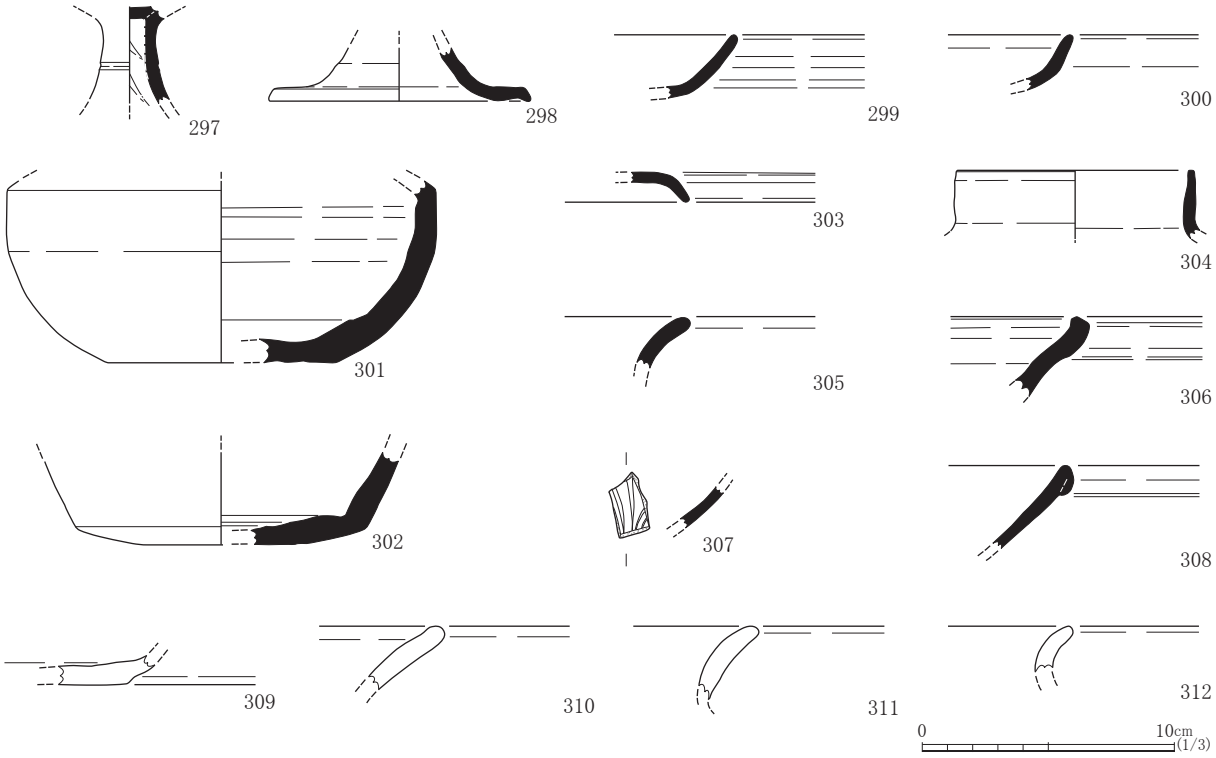


図 26　北区遺構検出層出土土器実測図②

北区遺物包含層2出土土器（図27～31、写真140～146、表5）

遺物包含層2に含まれていた土器は、谷埋土と同じく大多数が須恵器で、土師器は極少数であった。

313～366は須恵器坏蓋。谷埋土同様器形のバリエーションがみられるが、口縁が外方に開き端部を下垂させるものの占める割合が増える（359～366）。316は遺構検出層出土片と接合している。

367～394は須恵器高台付坏の底部片。367・368は高台付皿の可能性がある。7世紀後半から9世紀代のものが混在するものの、底部外端の内側に断面長方形の高台が「ハ」字状に付く、8世紀中ごろ～後半の資料が増加している。395～405は無高台坏。ほぼ完形復元可能な398・403はそれぞれ8世紀後半、9世紀後半に所属する資料であろう。406～432は坏の口縁部片である。

433～437・439は高台付皿の底部片とみられる。440の外面には鳥足状のヘラ記号が施されており、高台付皿または皿蓋の可能性が高い。438は無高台皿の底部。441・442は皿蓋の口縁部片であろう。

443～462は須恵器高坏。全形を復元できる資料は存在しない。坏口縁部は、内湾してゆるやかに立ち上がるもの（456～461）が大多数であり、坏底から直線的に立ち上がるもの（462）も少数であるが存在する。463は谷埋土2および遺物包含層1に類例がみられる器種不明の脚部片。

464・465は長頸壺。肩がほぼ水平に張る464は、谷埋土1、遺物包含層1、SD1出土資料と接合している。466は精選された胎土で器壁も薄い壺口縁部片である。467は器壁が厚くつくりも粗雑な頸－口縁部片。468の頸部には沈線が1条残る。469・472は高台付、470は無高台、471は丸底の壺底部。476は平瓶の頸－体部片で、外面に窯体が溶着している。474は長頸壺、475はハソウの口縁部と見られる。

476～480は須恵器甕の口縁部片。476の外面には横方向に2条の沈線がみられるが、意図的なものかは不明である。481は外面に同心円のカキ目がみられることから、横瓶の腹部片である可能性が高い。479は甕の頸－肩部片。483は口縁端部が坏蓋口縁状に処理されており、内外面回転ナデ調整が施されている。甑であろうか。484は器台の脚裾部。沈線間と端部上位に3段の櫛描波状文が施されている。

485～489は土師器坏。488の底部には糸切り痕が残る。490～493は土師器埦底部片。494～499は土

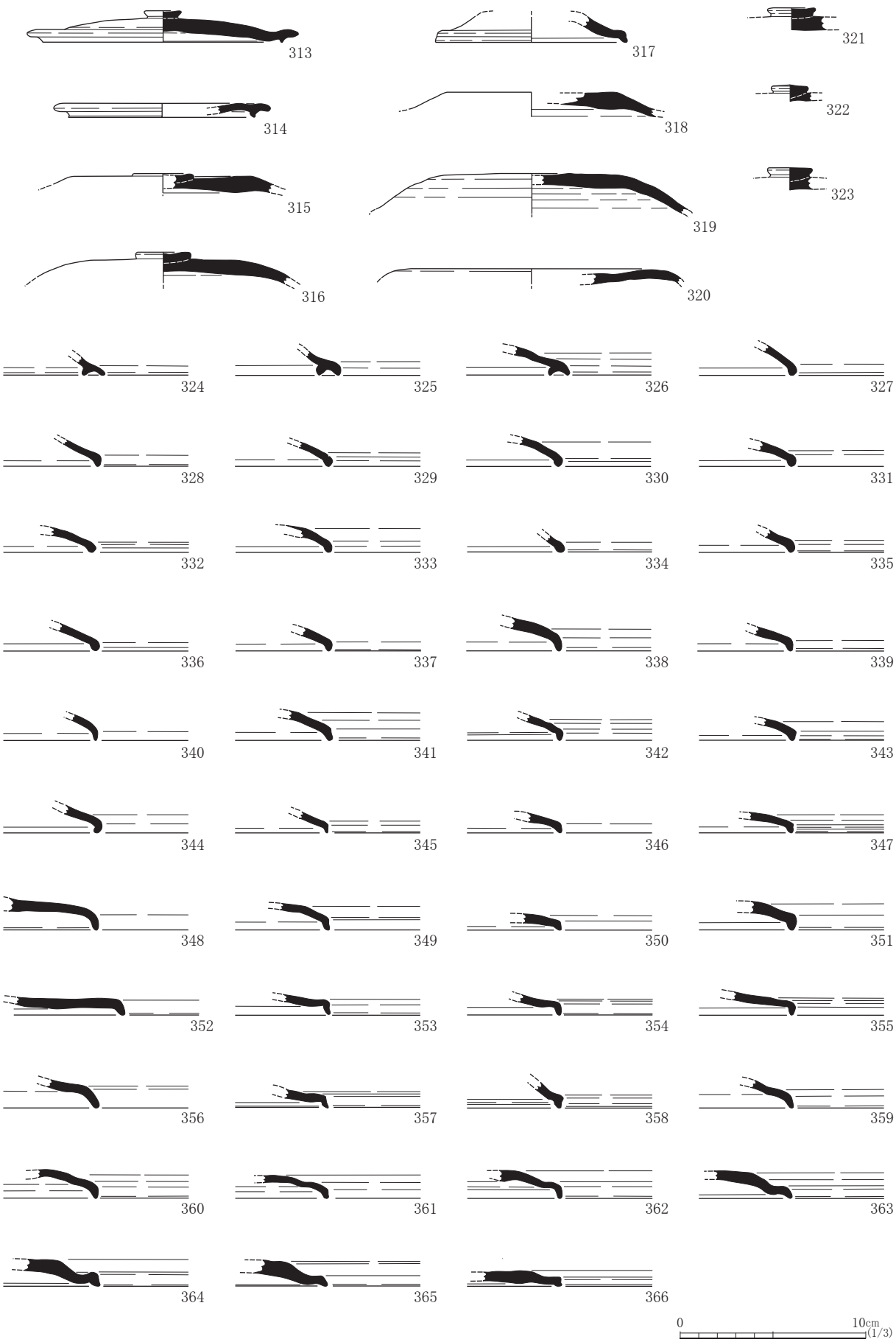


図 27　北区遺物包含層 2 出土土器実測図①

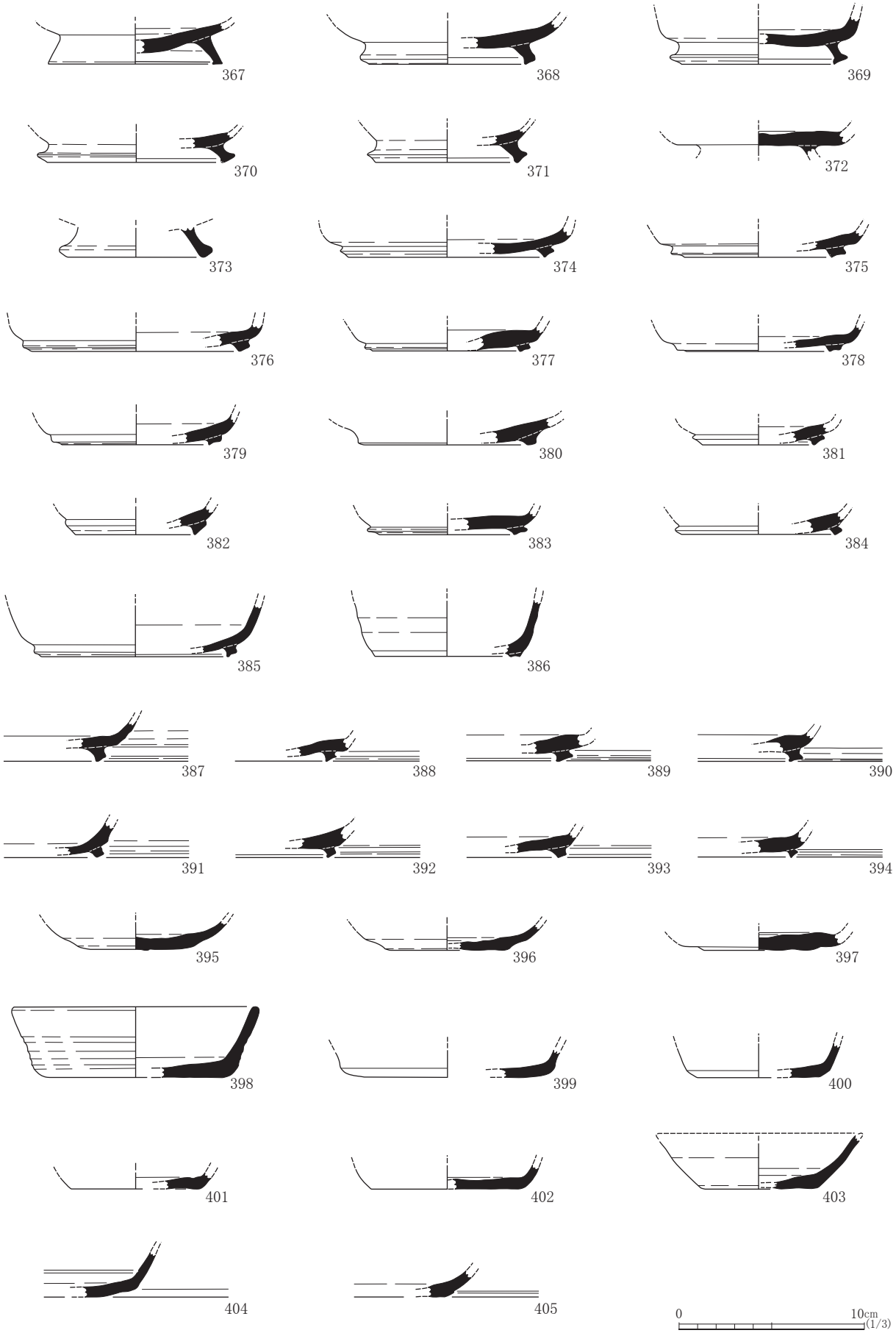


図 28　北区遺物包含層 2 出土土器実測図②

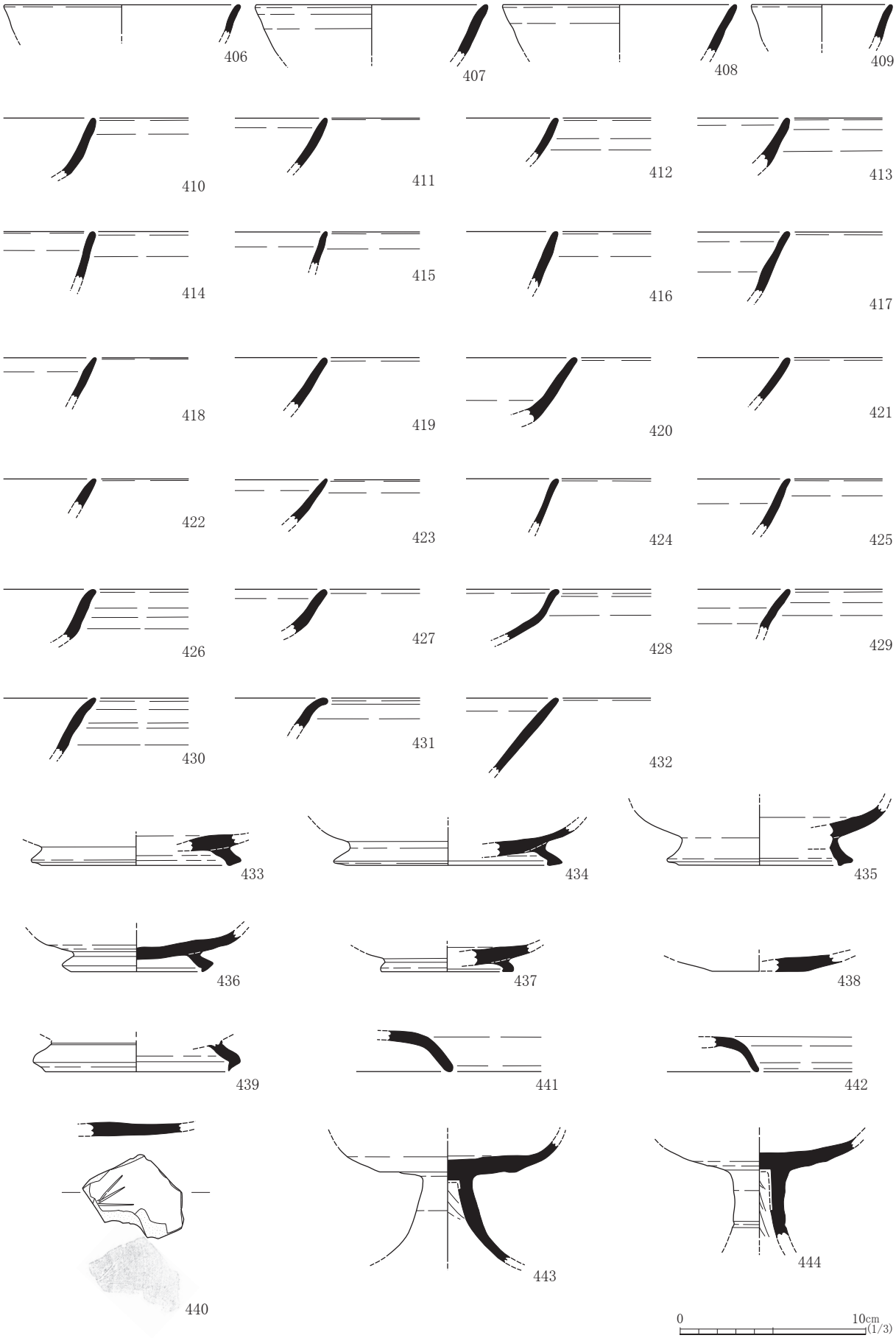


図 29　北区遺物包含層 2 出土土器実測図③

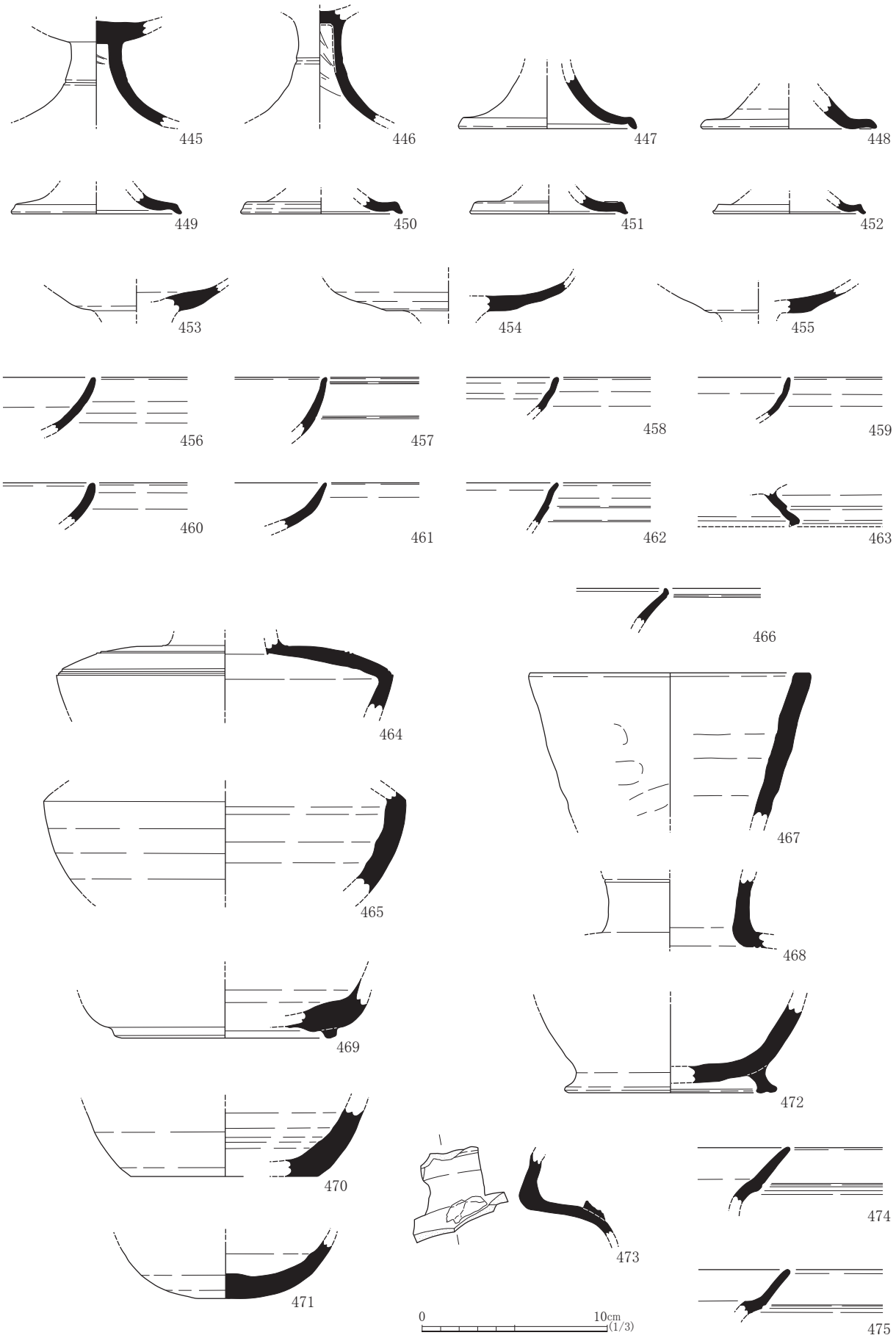


図 30　北区遺物包含層 2 出土土器実測図④

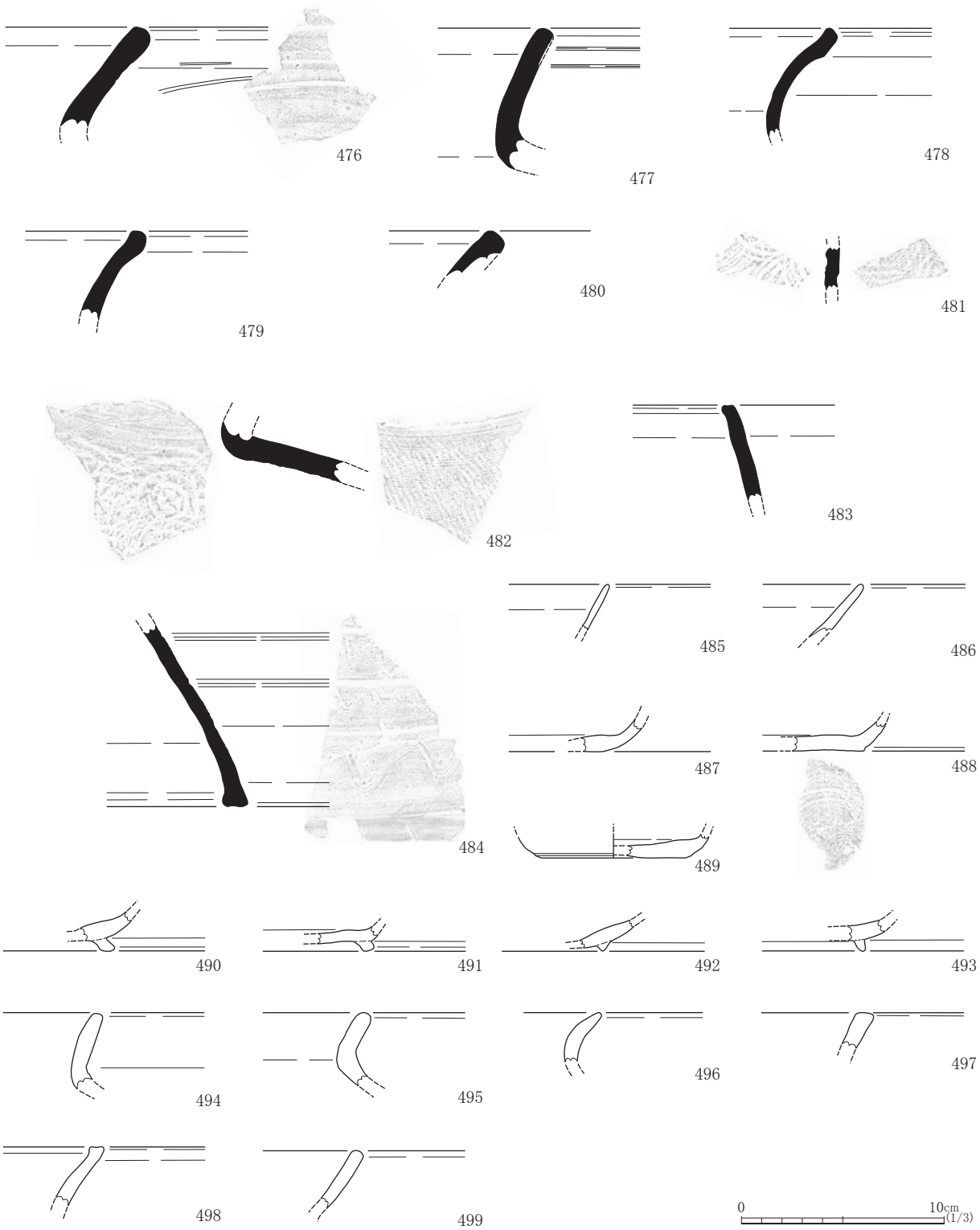


図 31　北区遺物包含層 2 出土土器実測図⑤

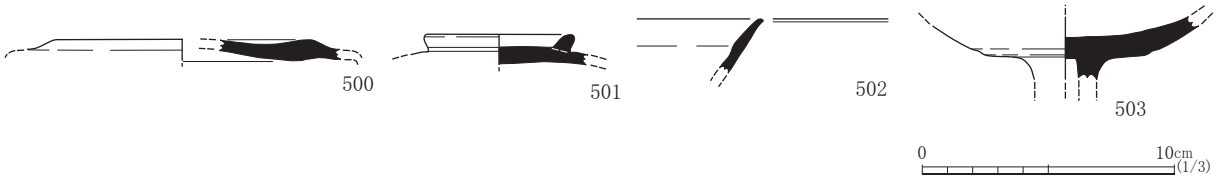


図 32　北区遺物包含層 1・2 出土土器実測図

師器甕の口縁部片である。

北区遺物包含層1・2出土土器（図32、写真146、表5）

遺物包含層1・2のいずれに所属するかが不明の資料が存在する。同一日、同一地区の出土である。

500・501は須恵器坏蓋天井部片。501は輪状つまみを有する。502は須恵器坏口縁部片。514は須恵器高坏の坏底－脚柱部片である。

北区遺物包含層1出土土器（図33～38、写真146～155、表5）

堆積土中、もっとも多くの遺物を包含していた層である。

504～565は須恵器坏蓋。505は遺物包含層2出土破片と接合している。やや径が小さいものの22と同形態の蓋と言えるが、墨書は確認できない。515の擬宝珠状つまみは初現形態を保っており、吉田遺跡では稀少な資料である。509は内面に直線2条のヘラ記号が残る。

566～618は須恵器高台付坏の底部片である。569は高台付皿の可能性がある。584は見込み部に円形の重ね焼き痕が見られ、外面に板目圧痕が残る。599の底部外面には直線1条のヘラ記号がみられる。619～634は無高台坏。623の底部外面には板目圧痕が残る。624の底部外面はヘラ切り未調整。625の底部外面には、焼成前に高台を剥いだ痕跡がみられる。調整や胎土の特徴から630と651は同一個体である可能性が高い。635～679は坏の口縁部片。

680～688は須恵器皿。高台付（680・681）と無高台（682～686）があり、687・688は高台付皿の口縁部片とみられる。

689～712は須恵器高坏。693は沈線が2条巡らされており、形態的にも長頸壺の頸部片である可能性を残している。712は小型高坏で、谷埋土1出土片と接合している。713・714は器種不明の脚部。715は形態がやや異なっており、ミニチュアの高坏とみられる。

716～722は須恵器壺類。717は壺腹部片で、腹部の沈線直下に櫛目圧痕を「く」字状に施している。

723は器台の脚部片であろうか。沈線の上下に9条を単位とする櫛描波状文が巡らされ、下位は2段に施される。724は器種不明のコップ状須恵器。725は把手の可能性がある。

726～733は須恵器甕。727はやや異形の口縁部で、鉢など別器種かもしれない。730は既往調査出土資料と同一個体とみられる[註1]。732・733の当て具には円に直行する亀裂がみられるが同一道具ではない。

734の緑釉陶器は赤く発色している。735～737は白磁片。

738は染付皿。見込みに蔓草文を描く。739・740は陶器の鉢と碗。この3点は上位層所属資料か。

741～747は土師器坏、748～753は土師器埦の底部片。754～758は坏または埦の口縁部片で、756は741と同一個体の可能性がある。759～762は土師器皿で、762は中世に所属する。763～764は土師器甕の口縁部で、765は羽釜であろうか。766～769は甕または甑の把手片。

770～777は製塩土器。770は美濃ヶ浜式の脚柱片、それ以外は六連式で、内面に布目が残る。

778は瓦質土器足鍋の脚部片で、全面に煤が付着している。

【註】

1）横山成己（2019）「動物医療センター（リニアック室等）新営その他工事に伴う本発掘調査」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学埋蔵文化財資料館年報－平成26年度－』，山口 35頁図15-105

SD1出土土器（図39、写真155、表5）

遺物包含層2に掘り込まれた遺構で、埋土が遺物包含層1に類似することから、遺物包含層1堆積時に埋没した可能性がある。遺物は全て古代以前に所属する。

779～785は須恵器坏蓋。786～790は須恵器高台付坏。788は遺物包含層1出土破片と接合してい

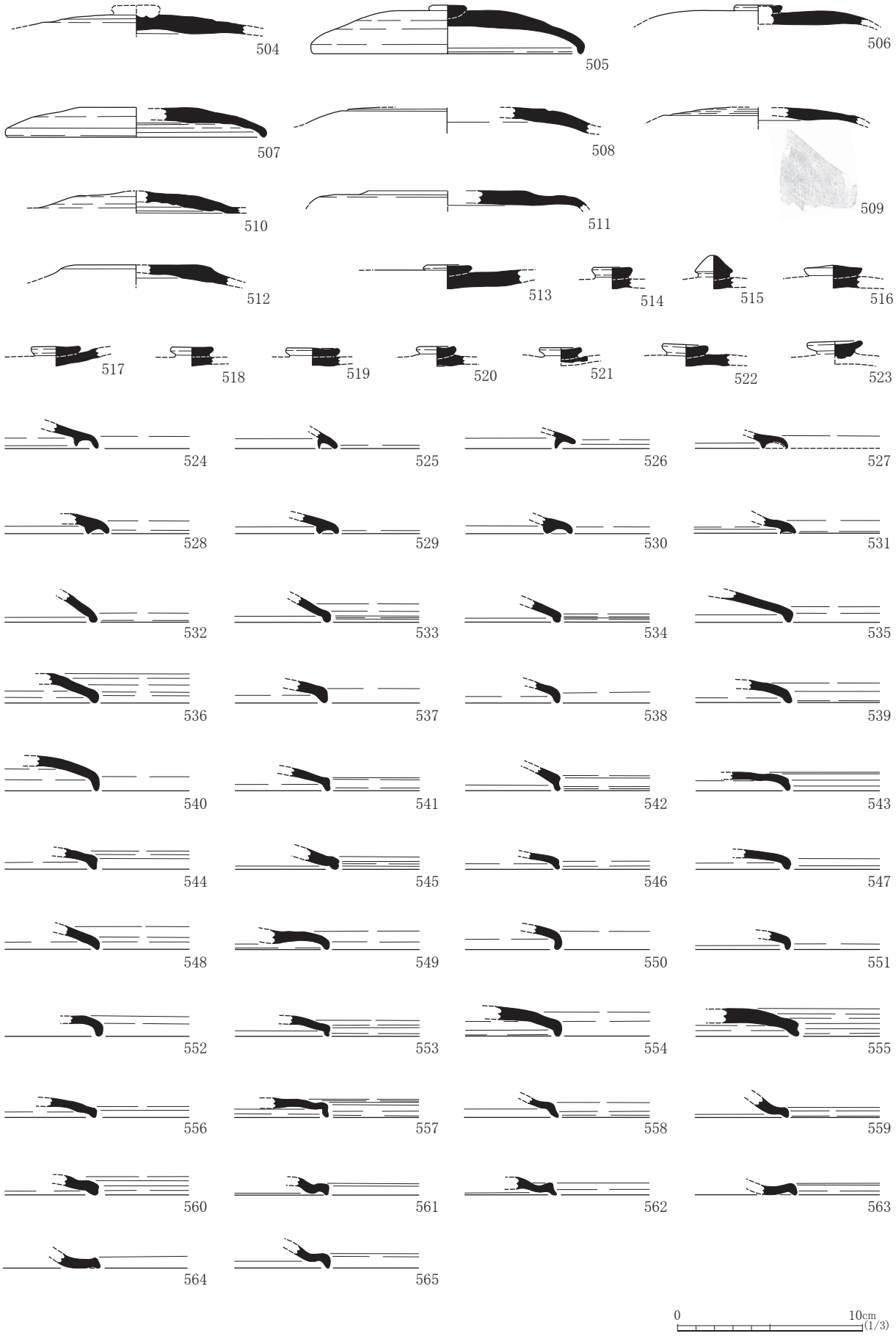


図 33　北区遺物包含層 1 出土土器実測図①

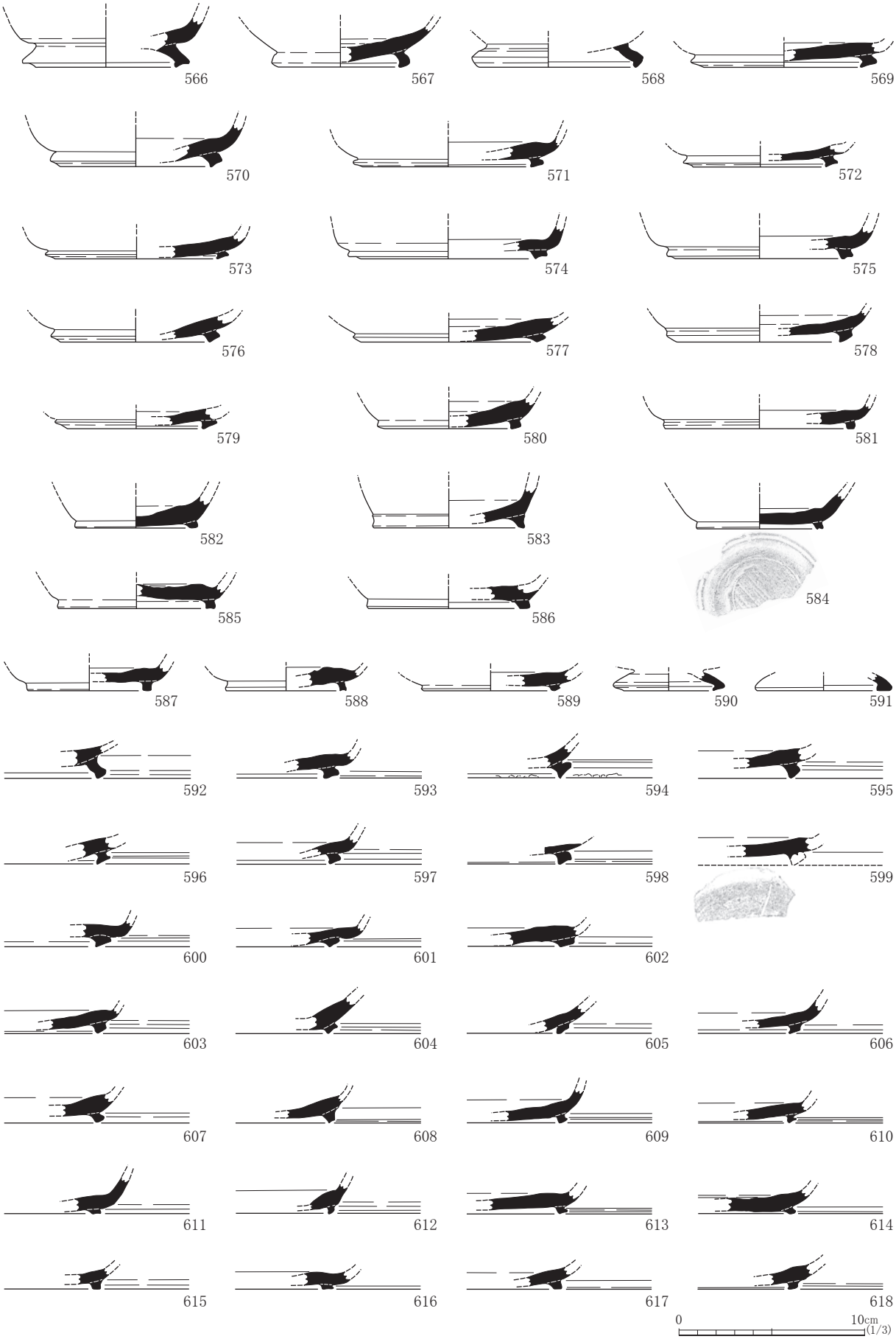


図 34　北区遺物包含層 1 出土土器実測図②

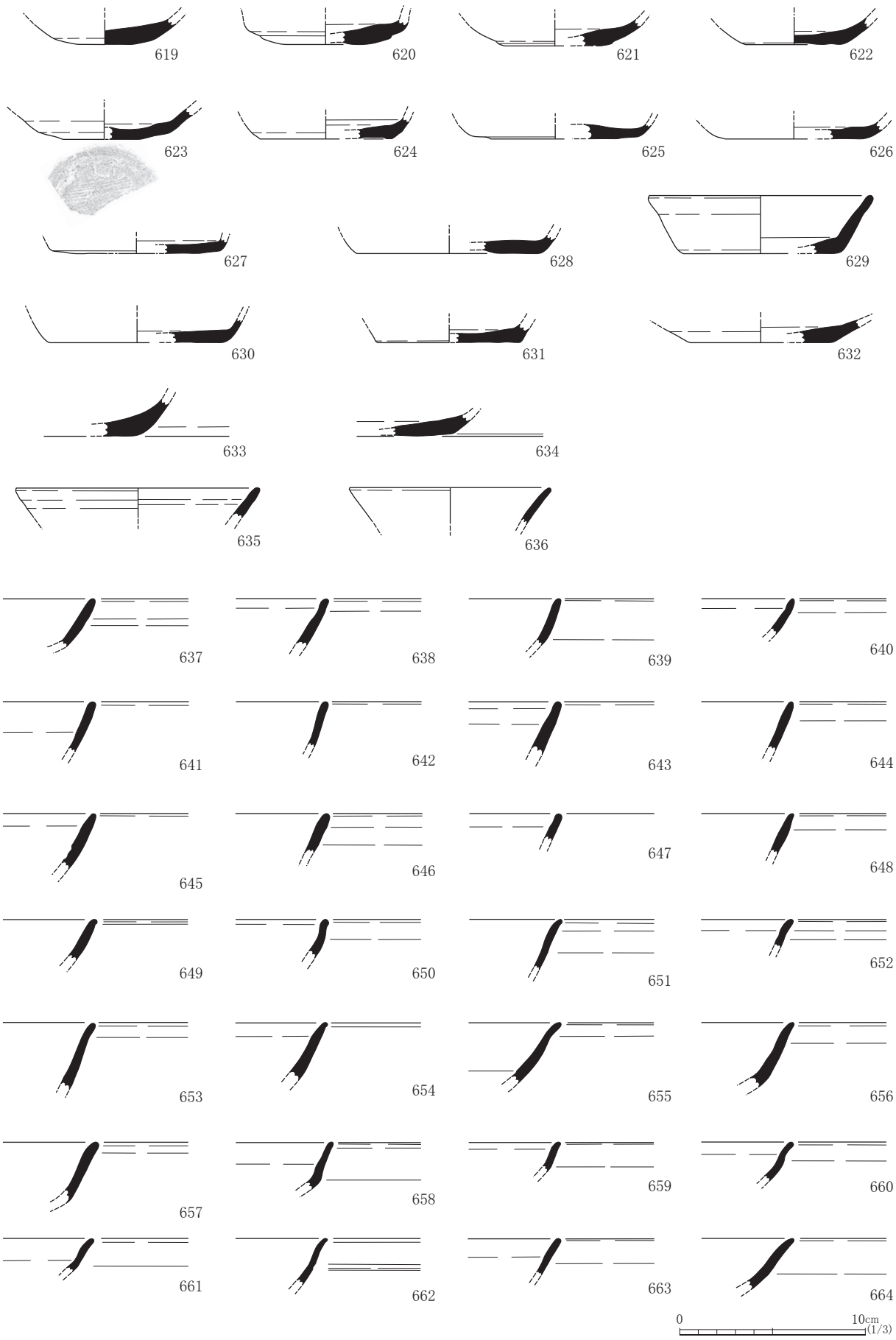


図 35　北区遺物包含層 1 出土土器実測図③

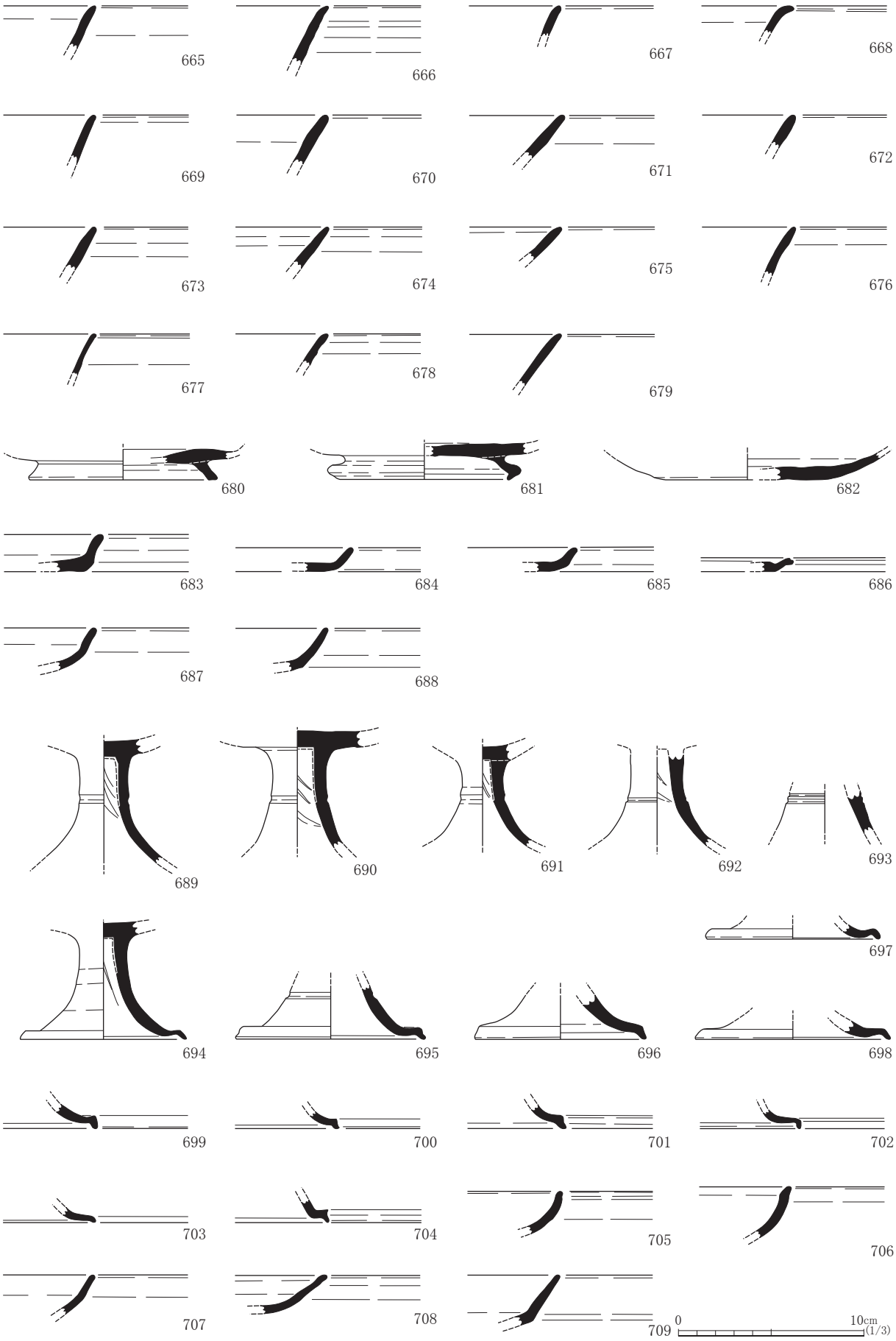


図 36　北区遺物包含層 1 出土土器実測図④

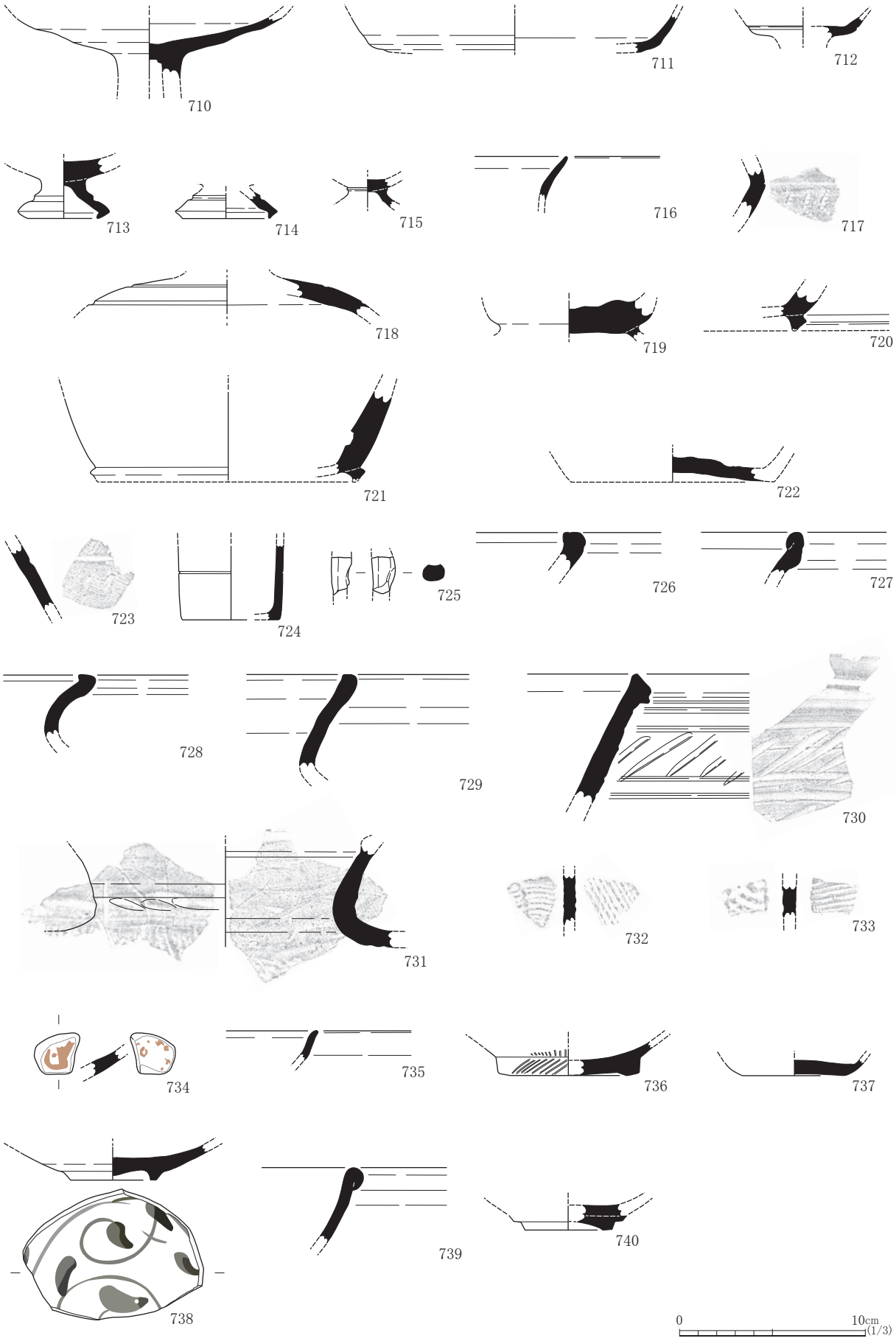


図 37　北区遺物包含層 1 出土土器実測図⑤

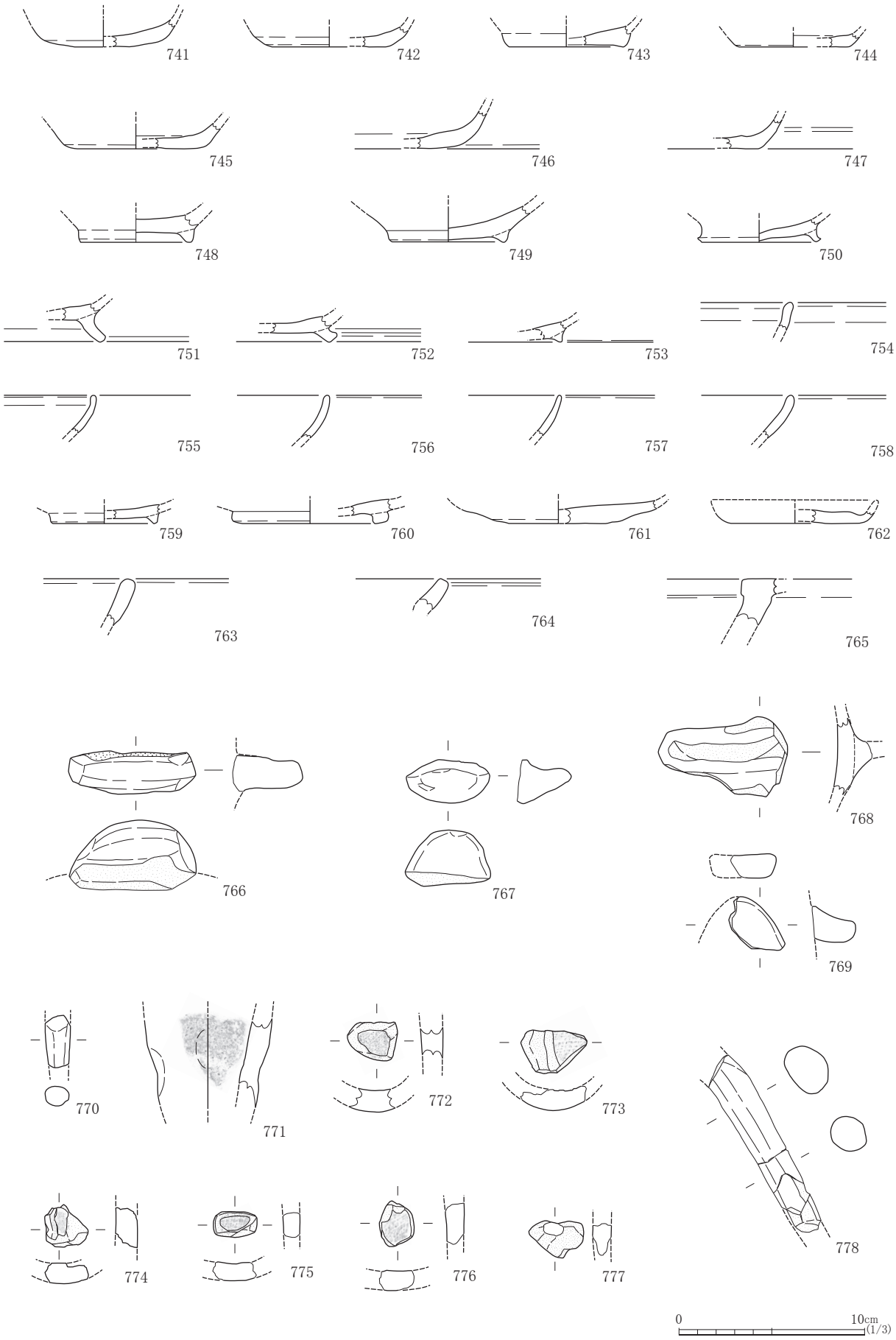


図 38　北区遺物包含層 1 出土土器実測図⑥

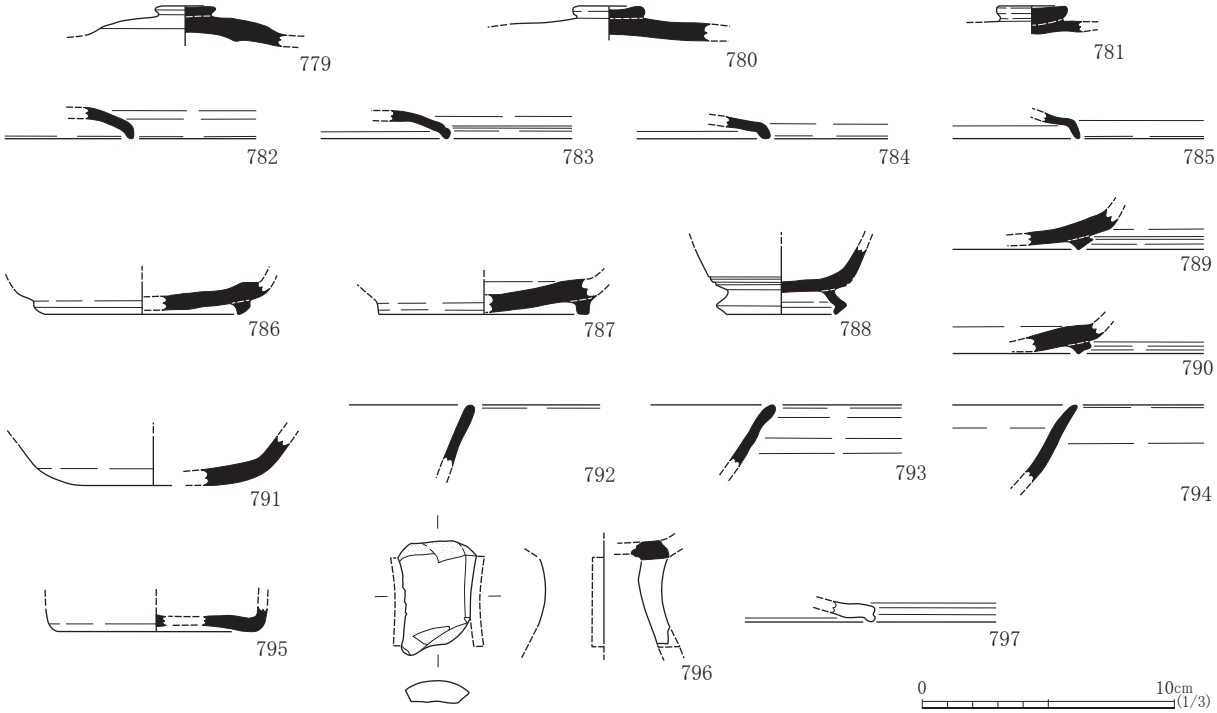


図 39　北区遺物包含層 2 上面SD1 出土土土器実測図

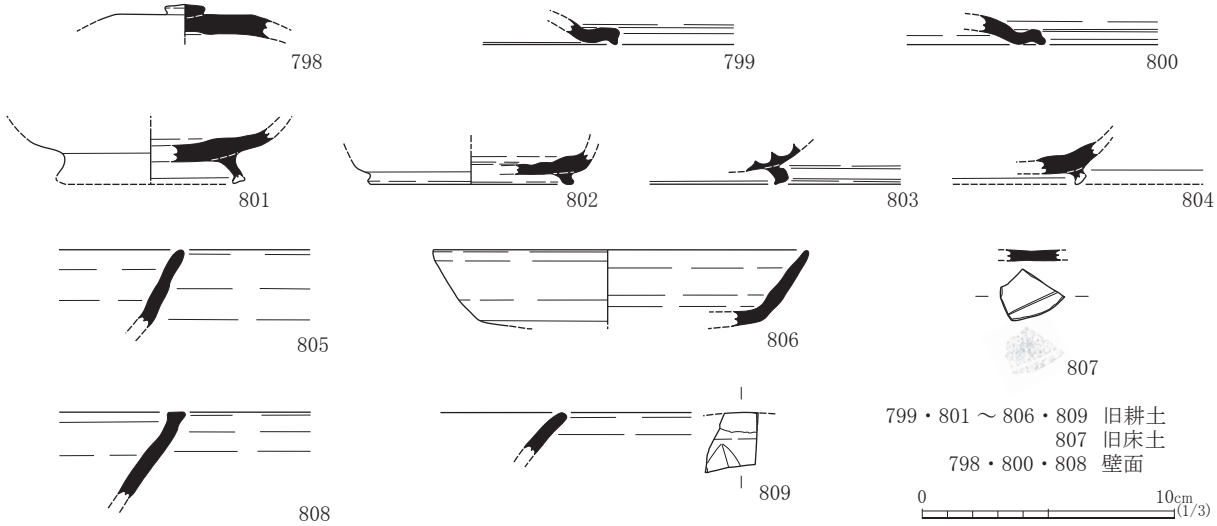


図 40　北区旧耕土・旧床土・壁面出土土器実測図

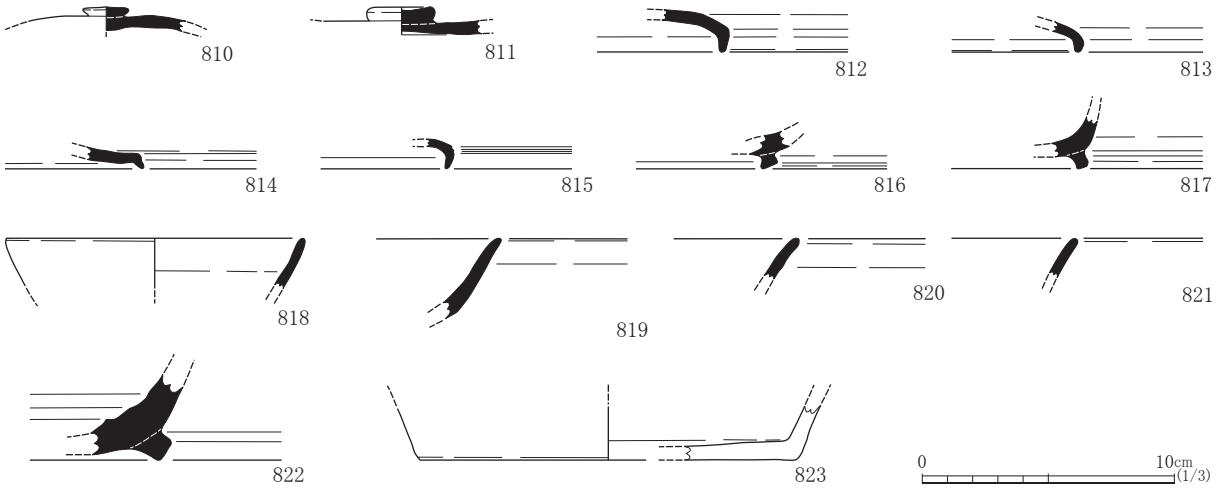


図 41　排土中採取土器実測図

る。791は丸底気味の坏底部、792～794は坏口縁部片である。795は坏としたが、壺の可能性もある。遺物包含層2出土破片と接合している。796は透窓のある高坏脚部片。古墳時代に所属するものであろう。797は須恵器模倣の土師器坏蓋口縁部片。

北区旧耕土・旧床土・壁面出土、排土中採取土器（図40・41、写真155・156、表5）

古代に所属するものが大多数である。807の須恵器坏底部片は、外面に直線1条のヘラ記号が残る。809は龍泉窯系の青磁皿口縁部片。

[土製品]（図42、写真157、表6）

824～828は鞴の羽口片である。829は平坦面が形成されており、鋳造炉などの可能性が考えられる。

[金属器]（図42、写真157、表7）

830は遺物包含層1から出土した。銅製と見られ、緑青を吹いている。責金具の可能性がある。

[石器]

北区谷埋土3出土石器（図43、写真158、表8）

831は流紋岩質凝灰岩の板石。明確な擦痕などはみられない。832は石英斑岩製の作業台。片側傾斜面が主に使用されたようで、擦痕が観察される。

北区谷埋土2出土石器（図44、写真158、表8）

833は黒雲母花崗岩製の凹石。両面に打撃痕が残る。834は刃部を折損した石斧の基部。石英斑岩製。835は安山岩の剥片。打製石鏃未製品の可能性がある。

北区谷埋土1出土石器（図44、写真158、表8）

836は風化が著しく原面は一部しか遺存していないものの、磨石の可能性がある。安山岩質凝灰岩製。837は安山岩の打製石鏃。完形品で、全長1.75㎝、最大幅1.3㎝、最大厚0.36㎝を測る。838は黒曜石の石核とみられる。839・840は黒曜石の剥片。

北区SX1出土石器（図45、写真159、表8）

841は花崗閃緑岩製で、平面円形、断面長楕円形を呈している。敲石の可能性がある。

北区遺構検出層出土石器（図45、写真159、表8）

842は斜長斑岩製の砥石。原面は1面のみ遺存しており、他は折損している。843は黒曜石の縦長剥片。旧石器とみられる。

北区遺物包含層2出土石器（図45・46、写真158、表8）

845は石英斑岩製の砥石。1面のみを使用しており、他に2面の原面が残るが、3面は折損している。折損面の赤色化は被熱痕跡の可能性がある。846は平面楕円形の瑪瑙玉。847は斜長斑岩製。1面に擦痕が観察されることから、作業台と思われる。848は石英斑岩製の板石。部分的に擦痕がみられるものの、人為的なものか判断できない。

北区遺物包含層1出土石器（図46、写真158、表8）

849は石英の剥片。全長4.6㎝、最大幅3.35㎝、最大厚0.85㎝を測る。重量は18.25g。

排土中採取石器（図46、写真158、表8）

850は石英斑岩製の砥石。遺存する4面のうち1面のみを使用している。

[木製品]（図47、写真160、表9）

出土した木製品は10点に過ぎない。860を除き谷埋土2より出土している。851～853は端材。854は棒状製品。855～859は端部の焦げた棒状製品で、火付け木としておく。860は遺物包含層2から出土した。頭部が炭化しているが、杭頭の可能性がある。（横山）

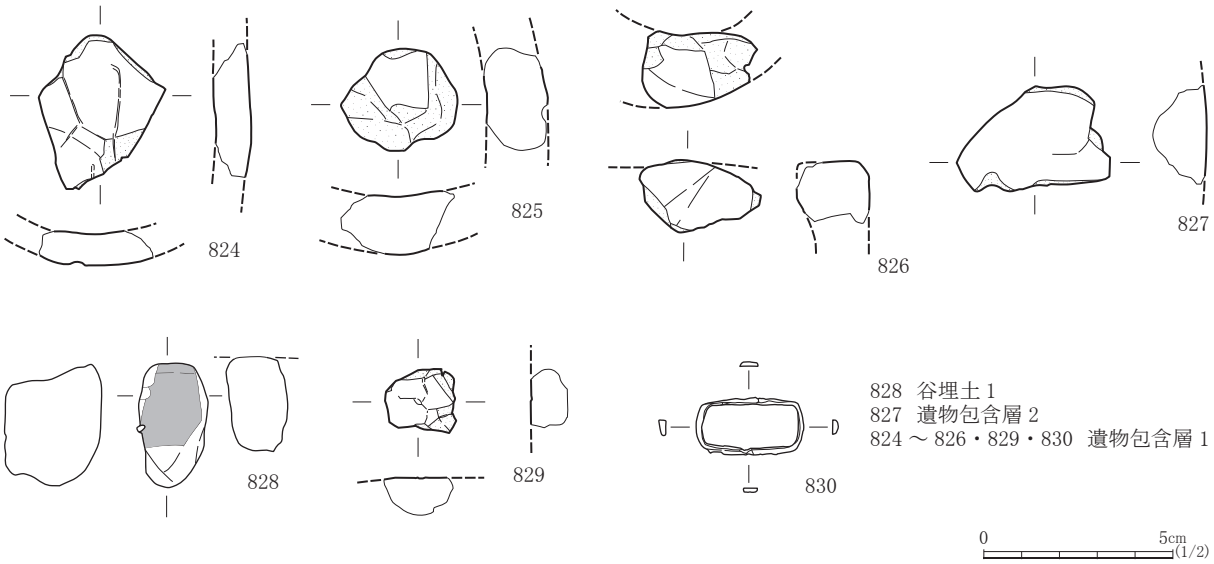


図 42 北区出土土製品・金属器実測図

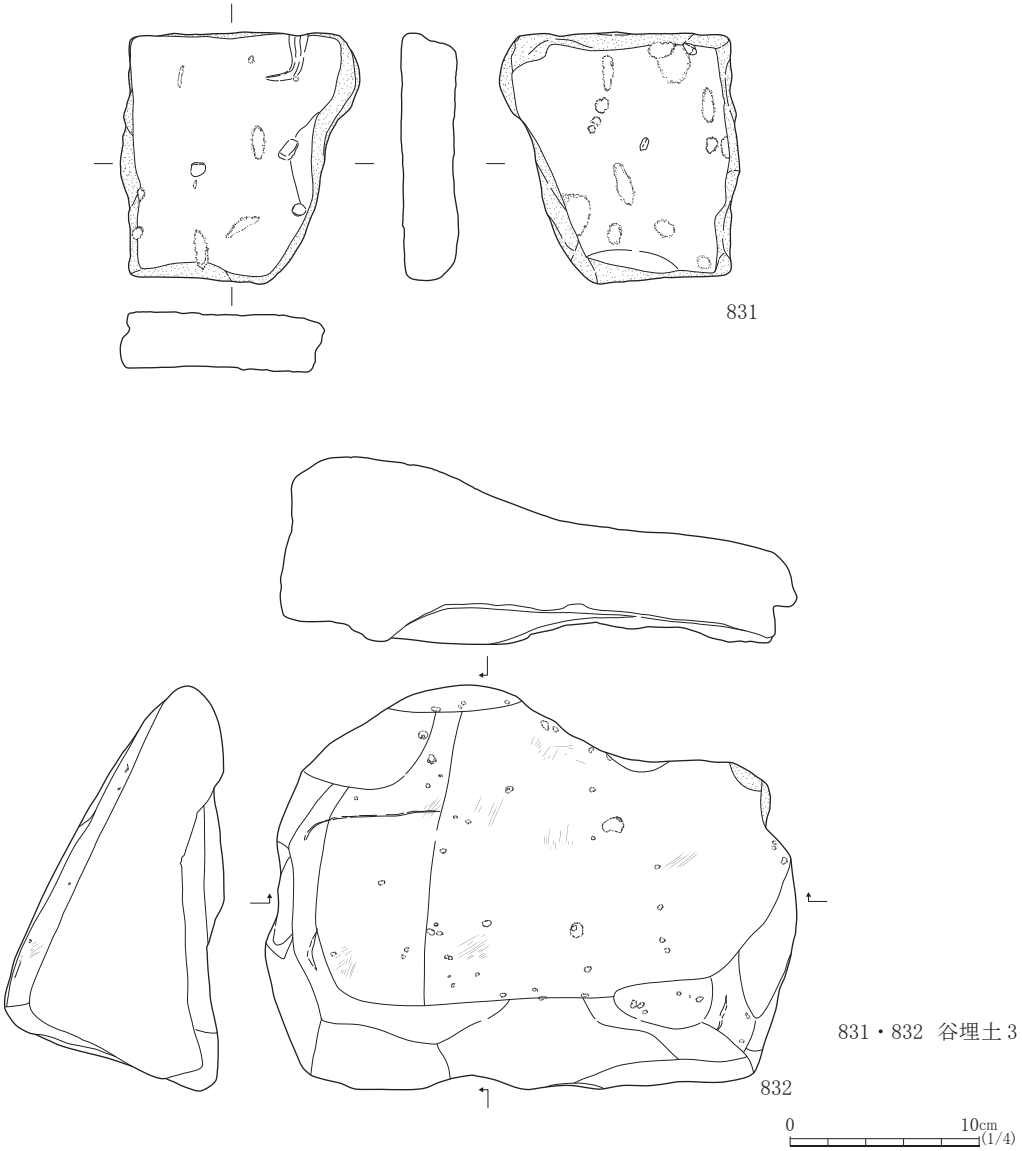


図 43 北区出土石器実測図①

図 44　北区出土石器実測図②

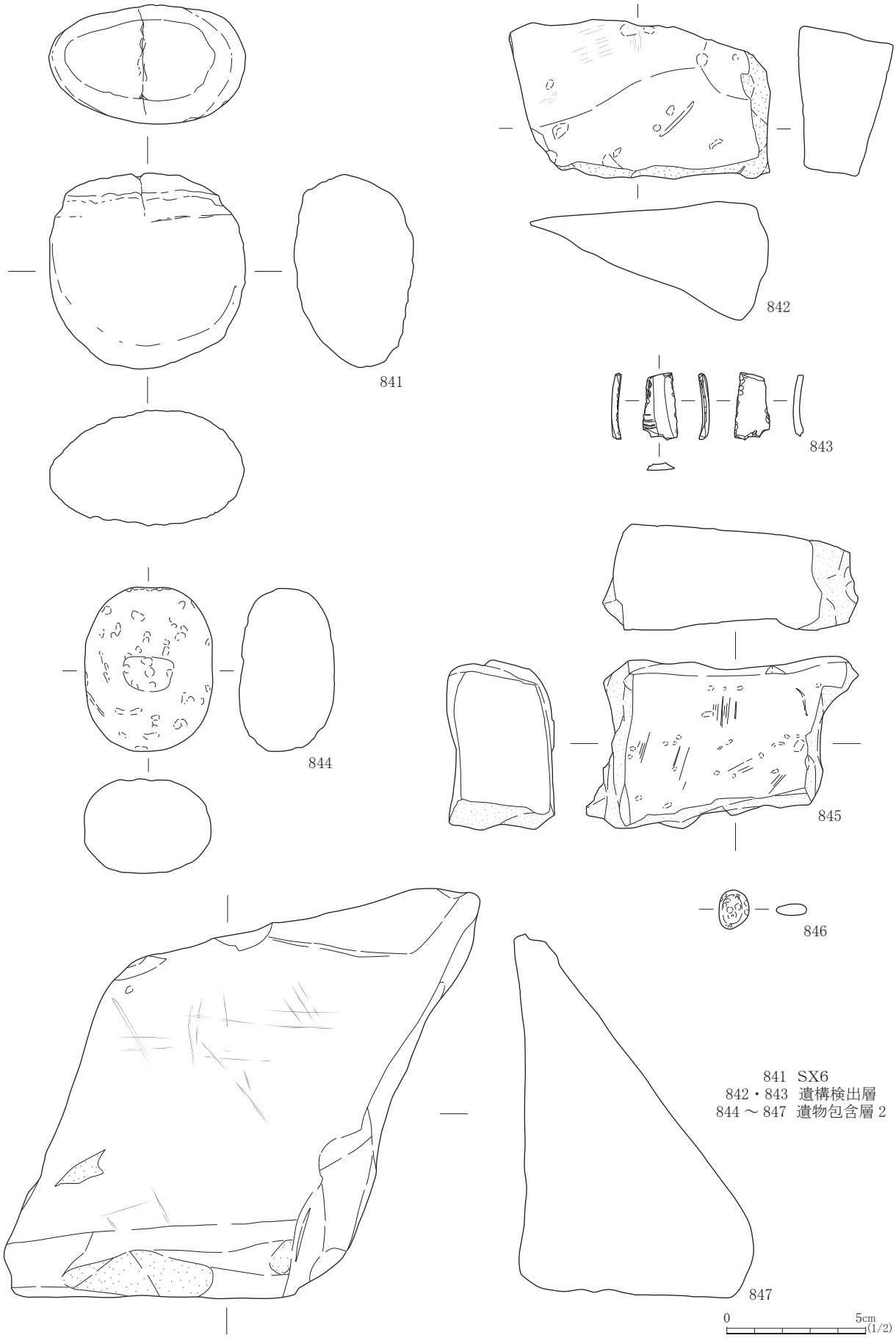
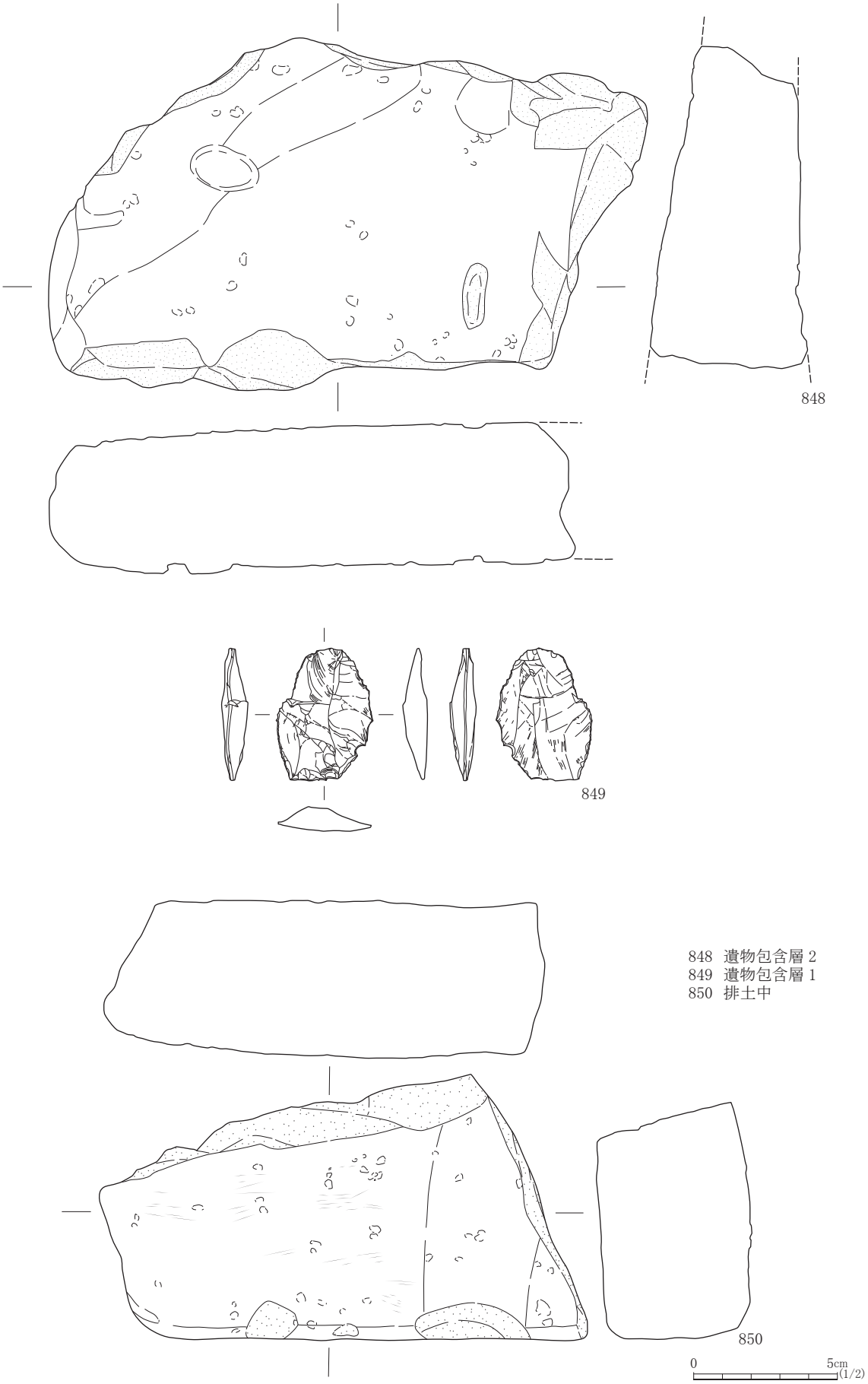
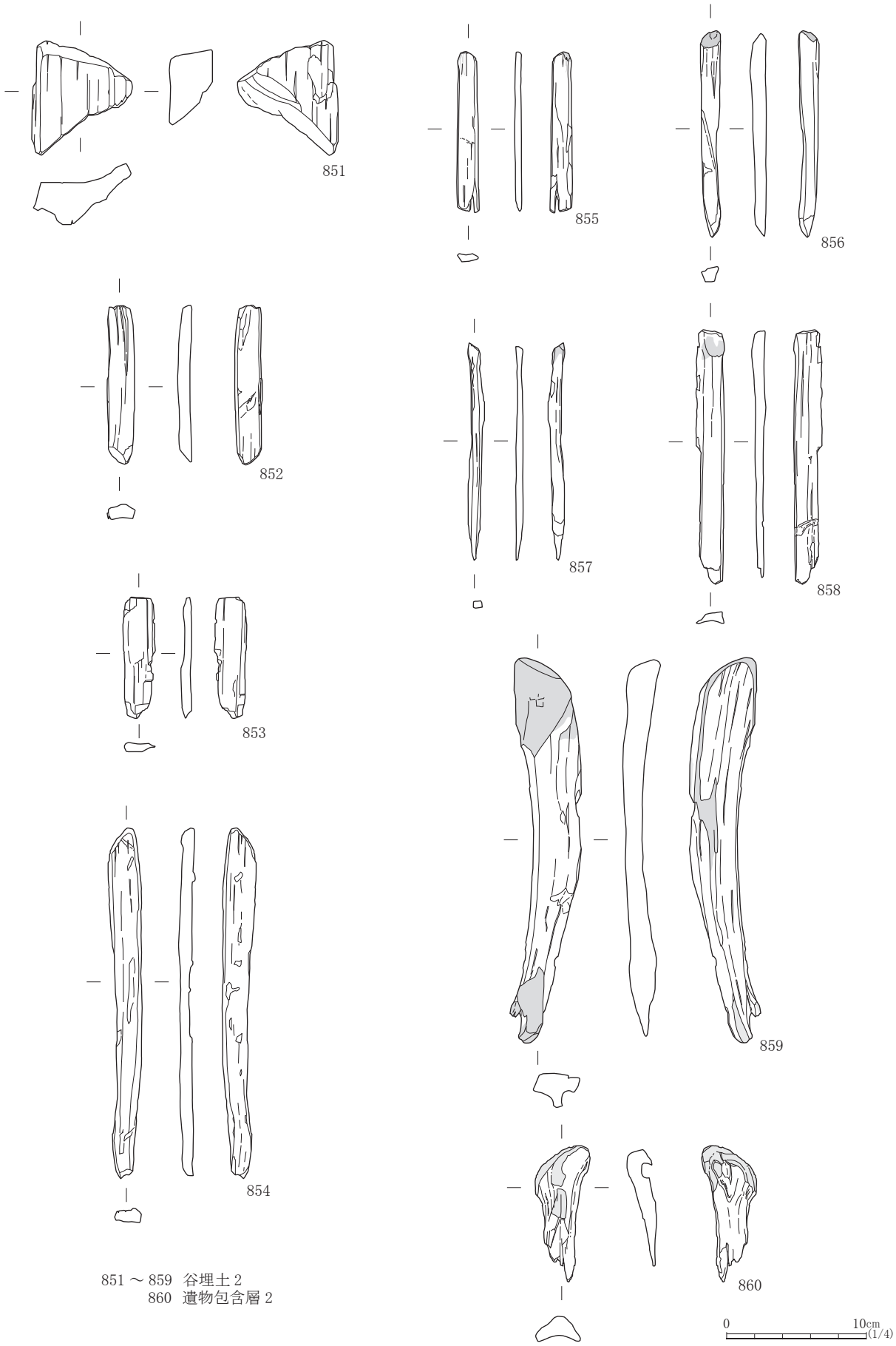


図 45　北区出土石器実測図③



848　遺物包含層 2
849　遺物包含層 1
850　排土中

図 46　北区出土石器実測図④



851 ～ 859　谷埋土 2
860　遺物包含層 2

図 47　北区出土木製品実測図

写真 130　出土遺物（土器）①

写真 131　出土遺物（土器）②

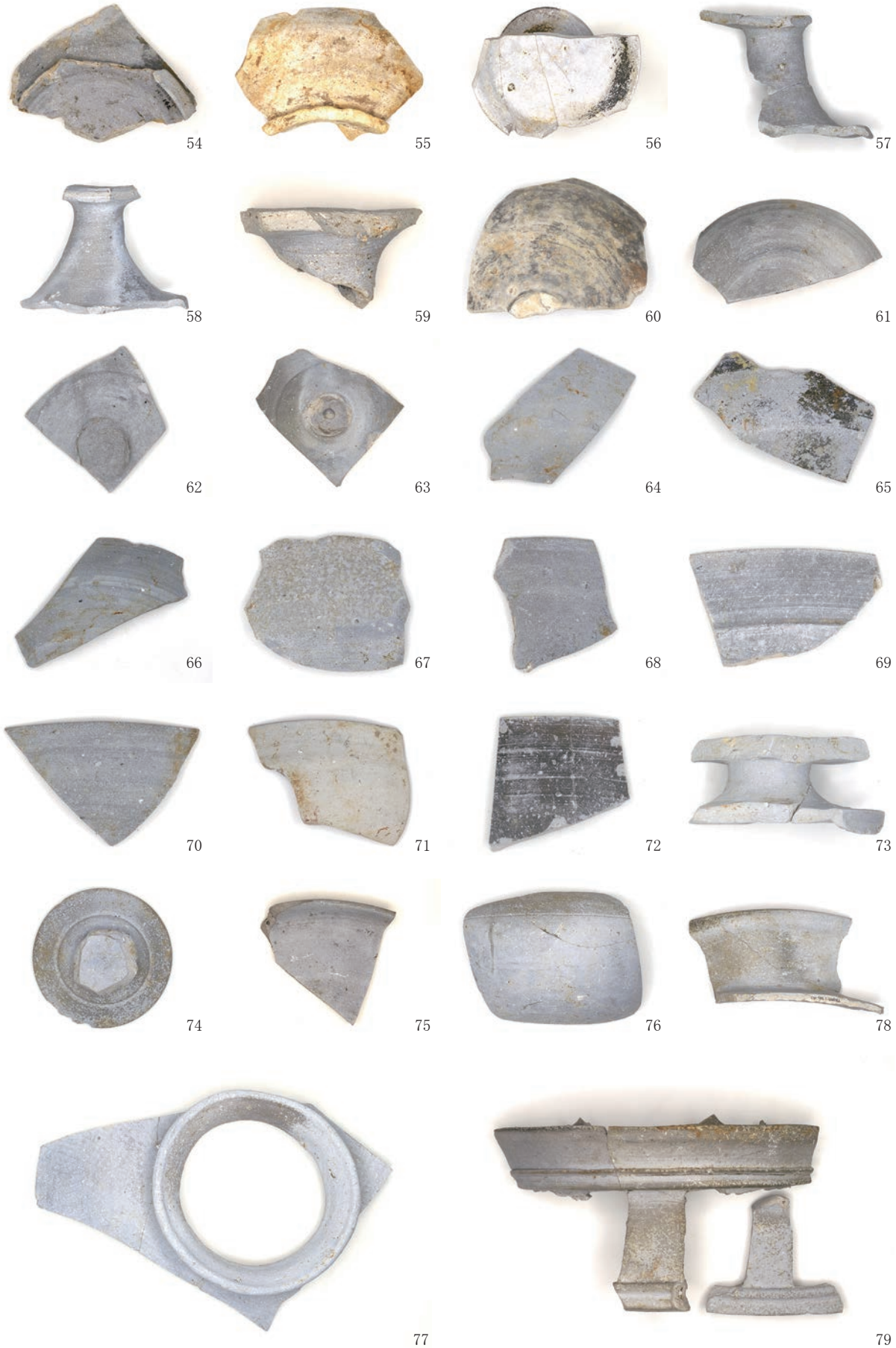


写真 132　出土遺物（土器）③

写真 133　出土遺物（土器）④

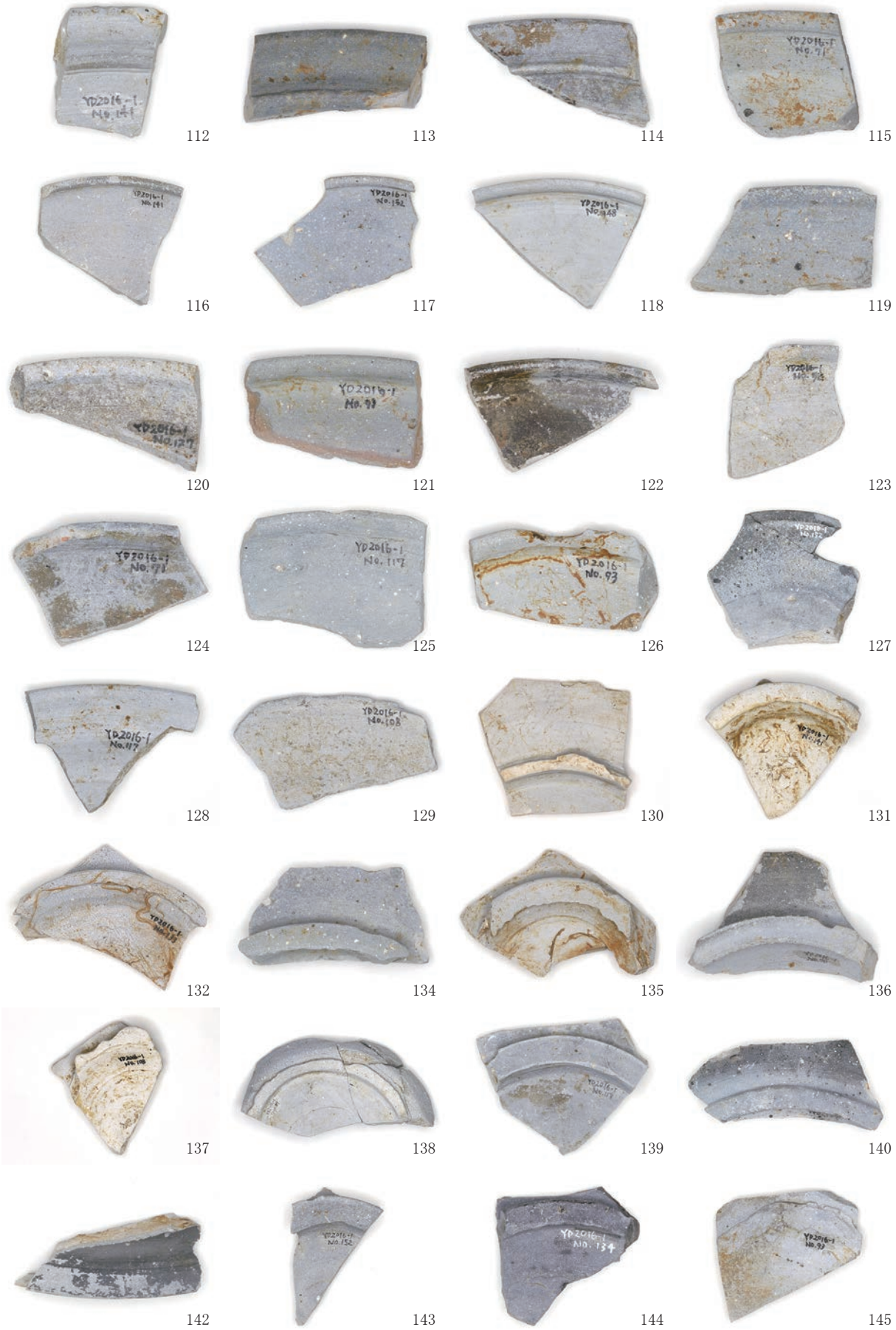


写真 134　出土遺物（土器）⑤

写真 135　出土遺物（土器）⑥

写真 136　出土遺物（土器）⑦

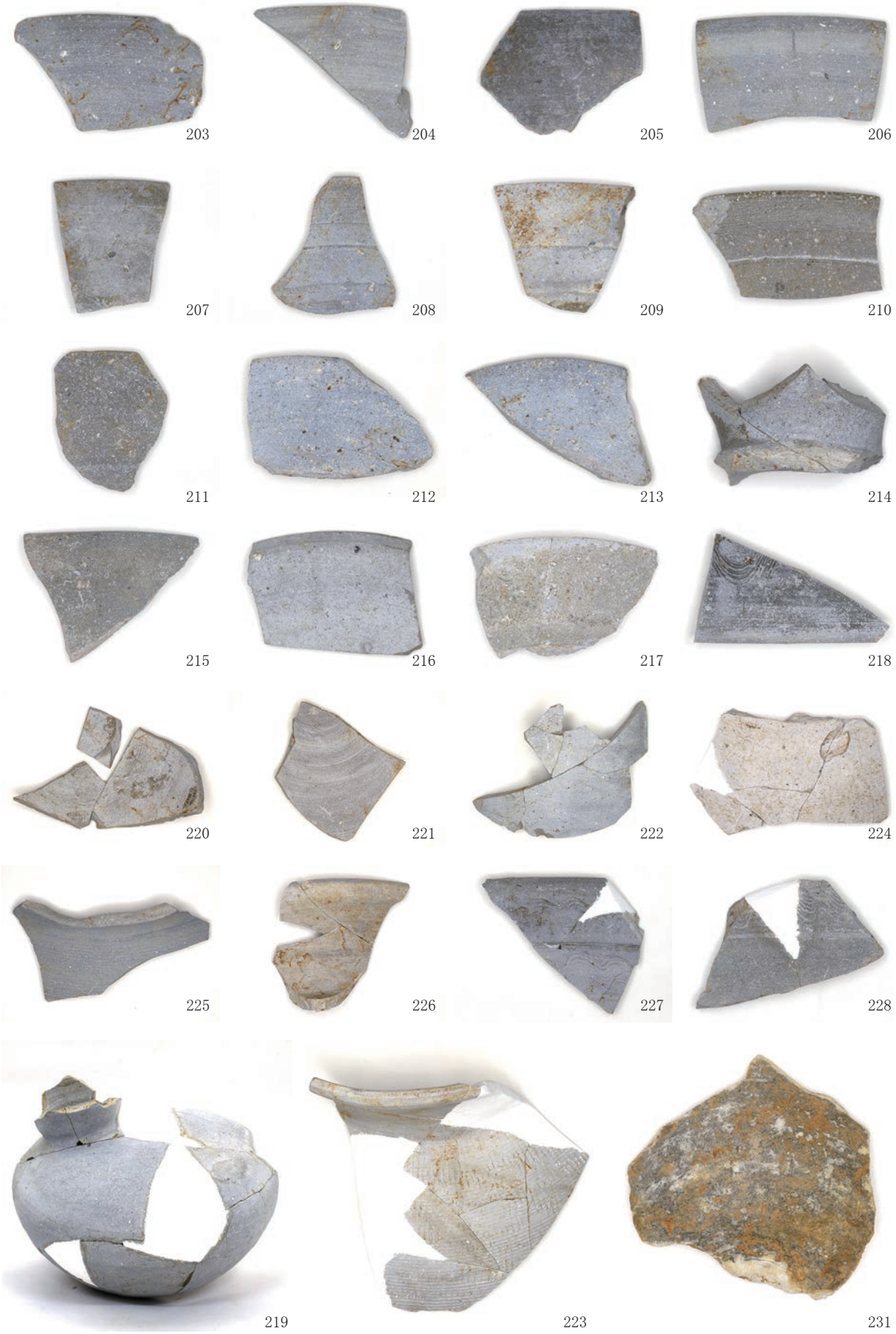


写真 137　出土遺物（土器）⑧

写真 138　出土遺物（土器）⑨

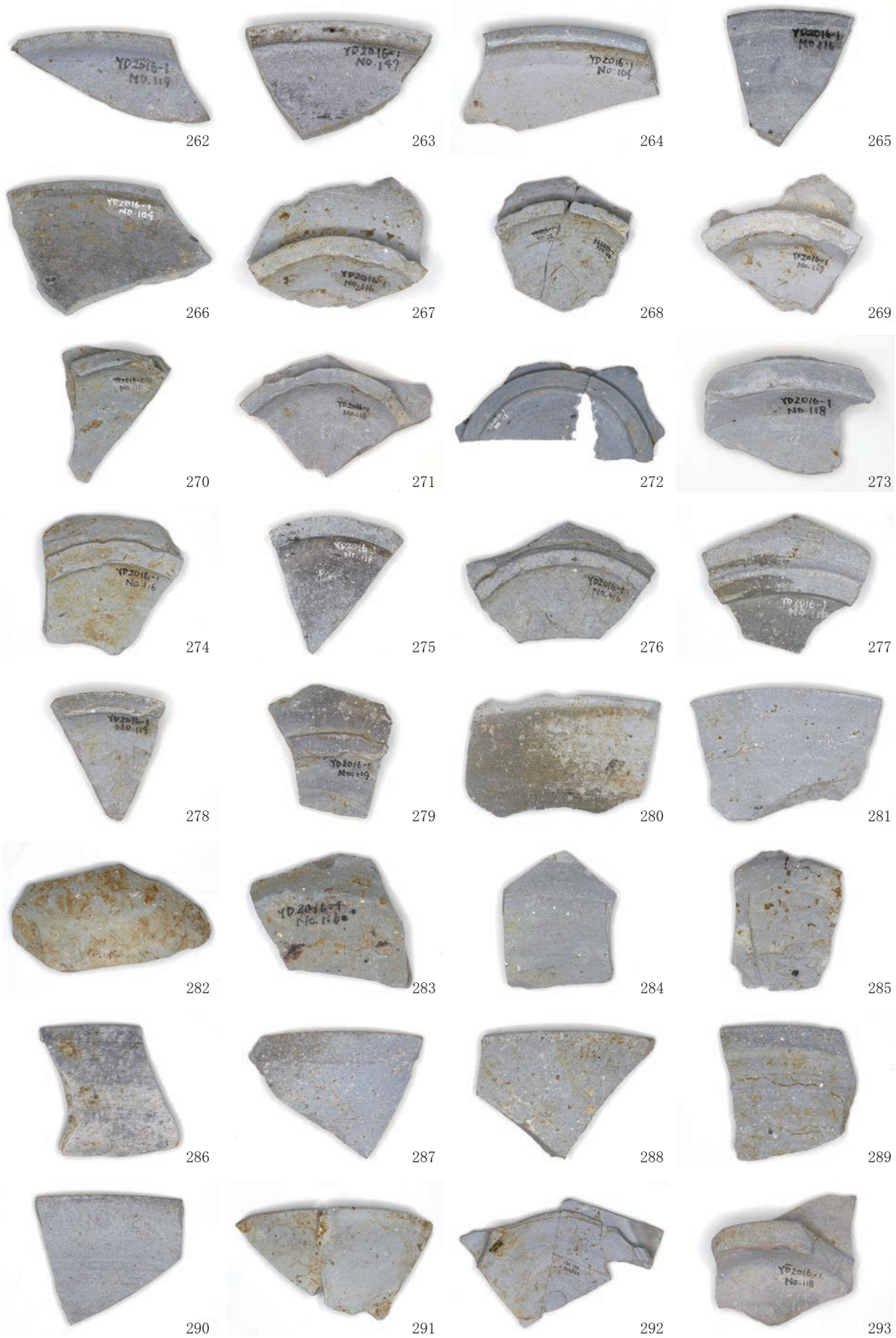


写真 139　出土遺物（土器）⑩

写真 140　出土遺物（土器）⑪

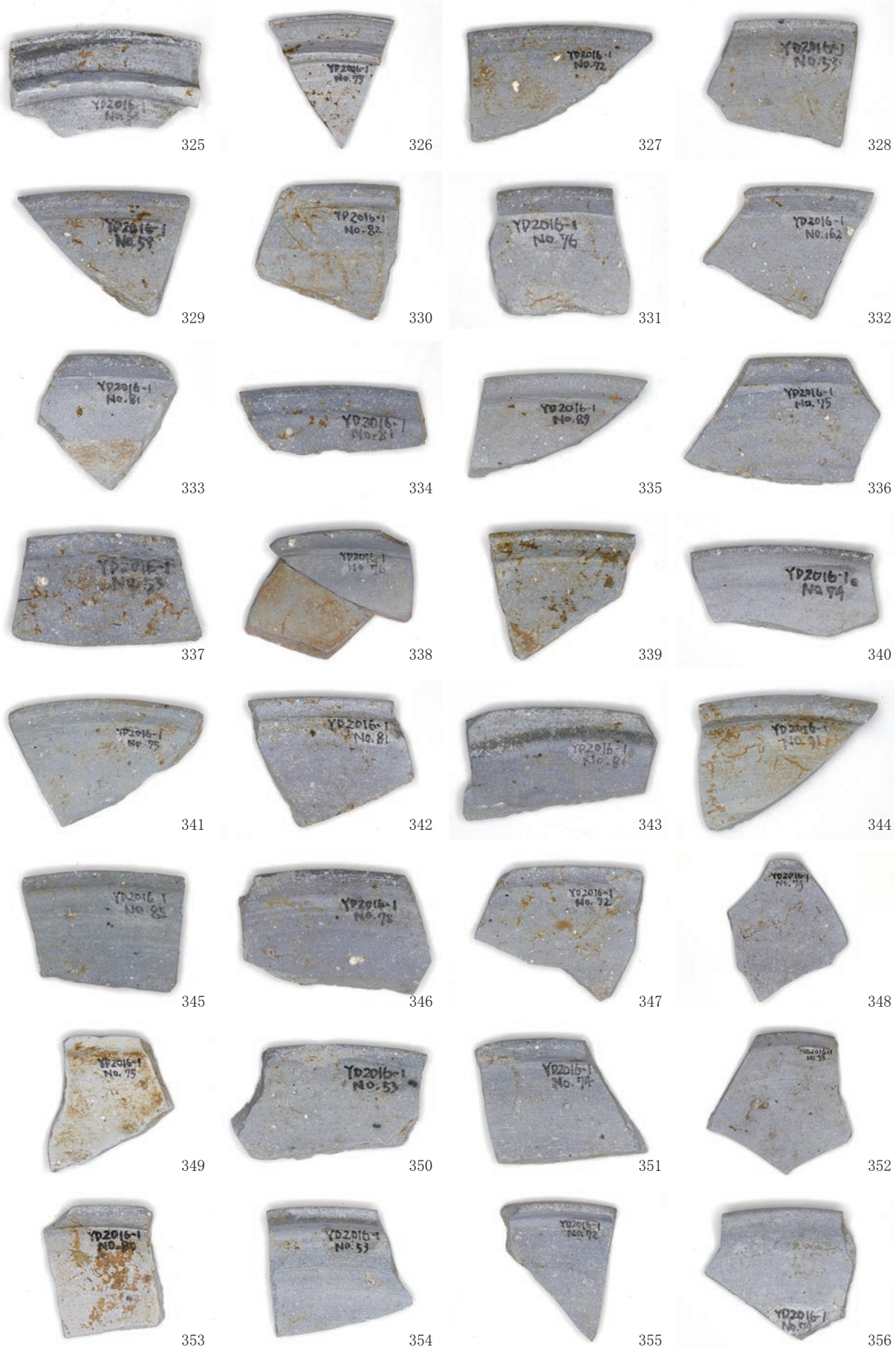


写真 141　出土遺物（土器）⑫

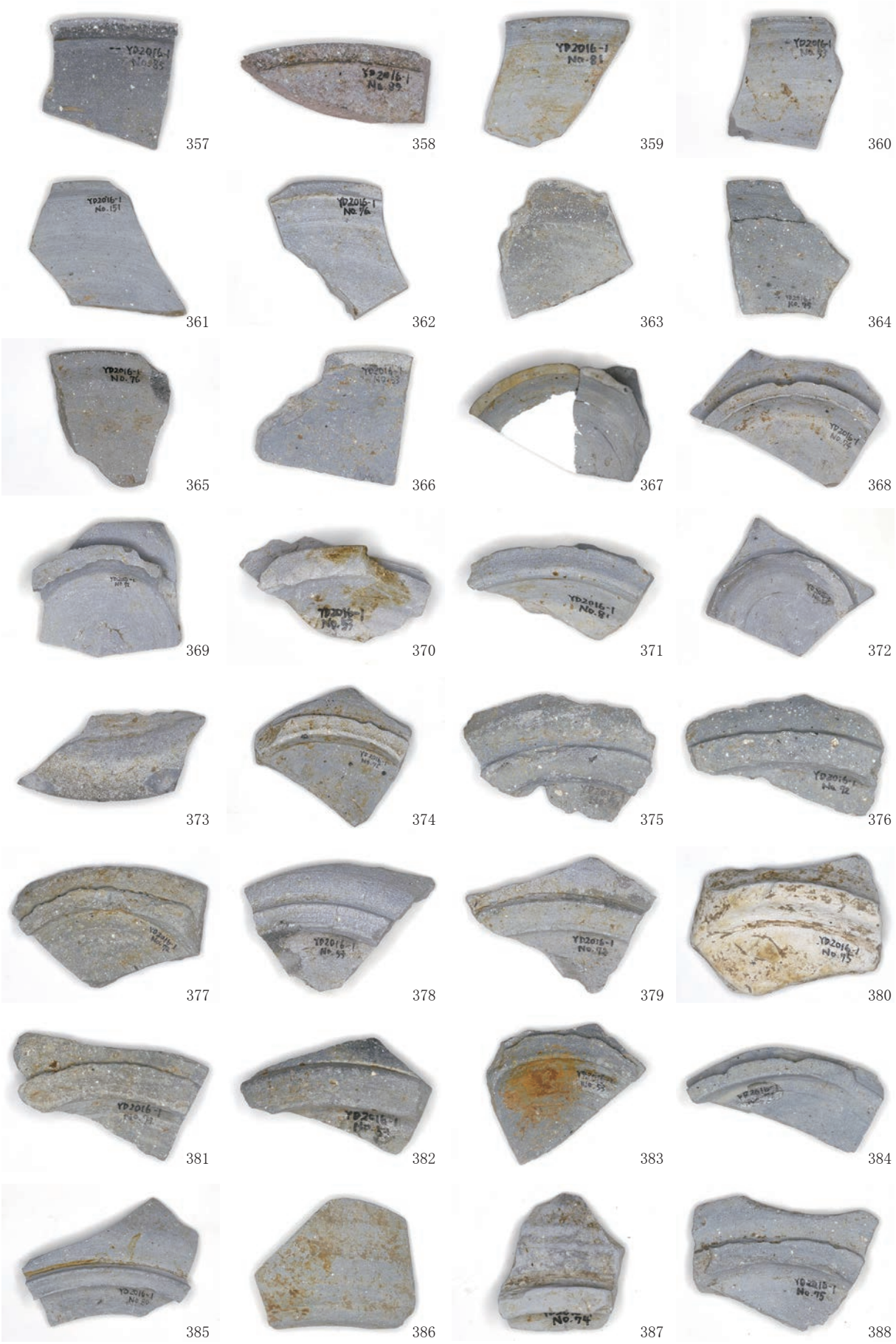


写真 142　出土遺物（土器）⑬

写真 143　出土遺物（土器）⑭

写真 144　出土遺物（土器）⑮

453

454

455

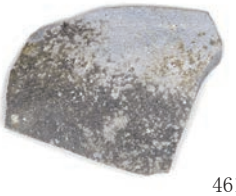
456

457

458

459

460


461

462

463

464

465

466

467

468

469

470

471

472

473

474

475

476

477

478

479

480

481

482

484

写真 145　出土遺物（土器）⑯

写真 146　出土遺物（土器）⑰

写真 147　出土遺物（土器）⑱

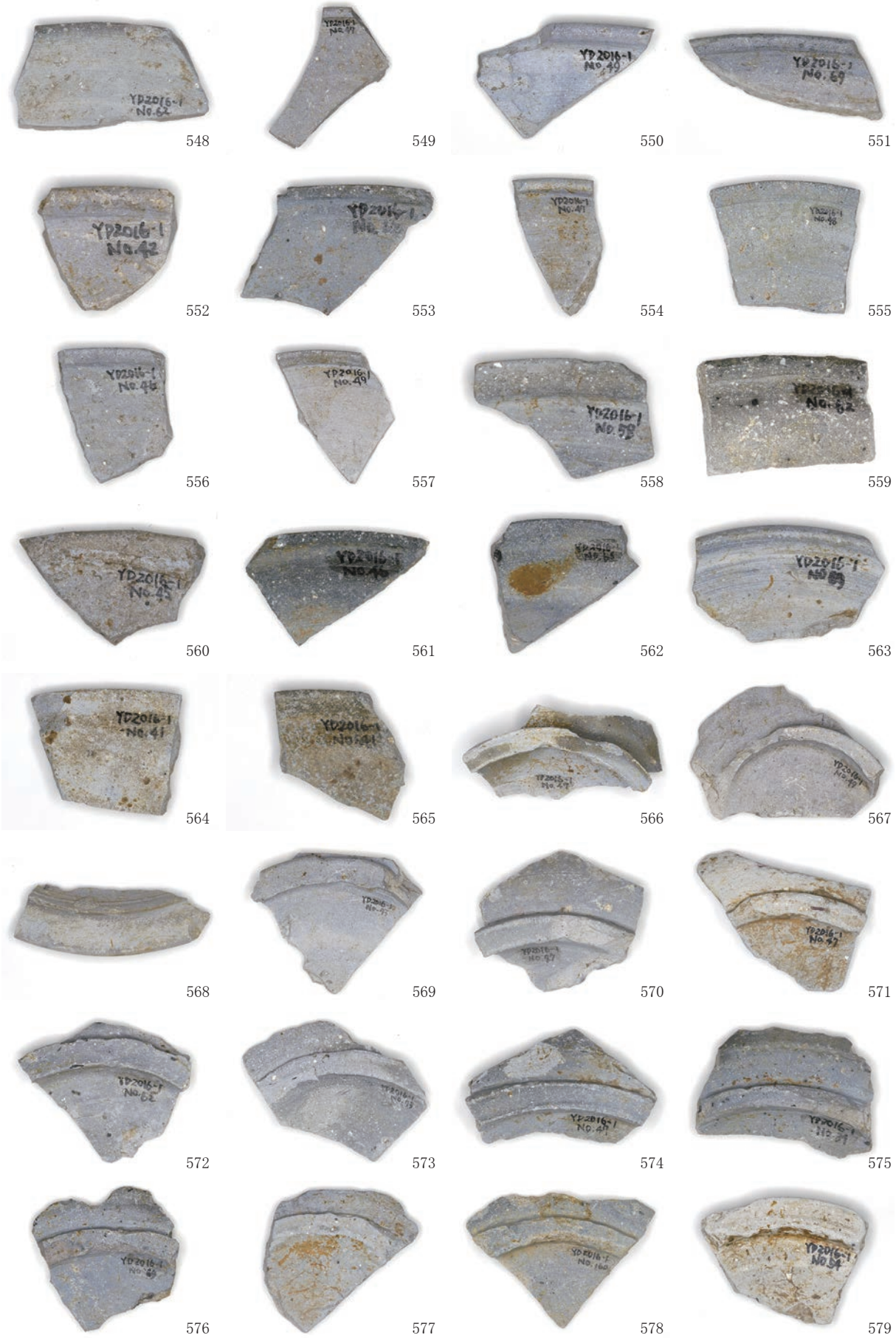


写真 148　出土遺物（土器）⑲

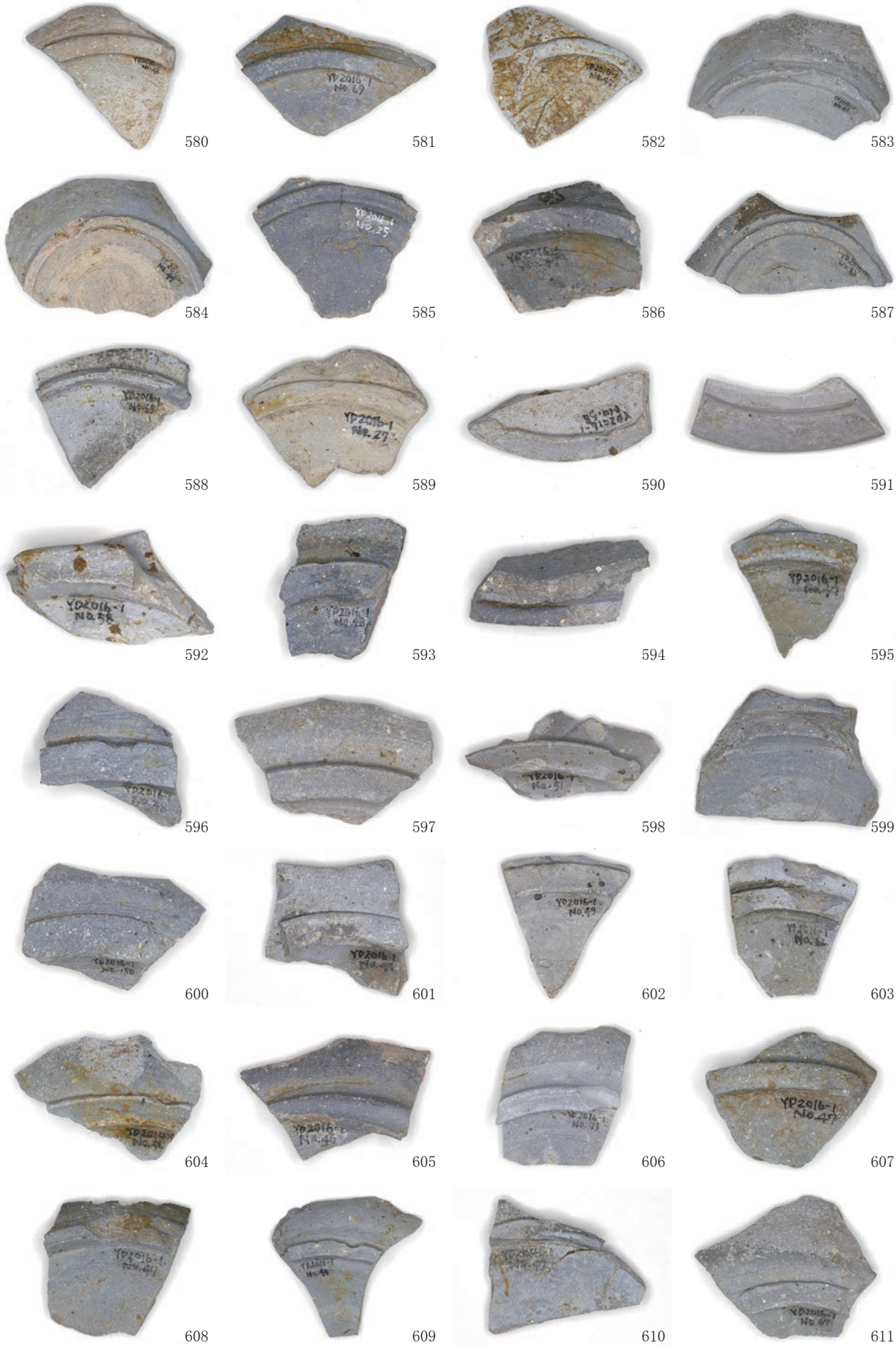


写真 149　出土遺物（土器）⑳

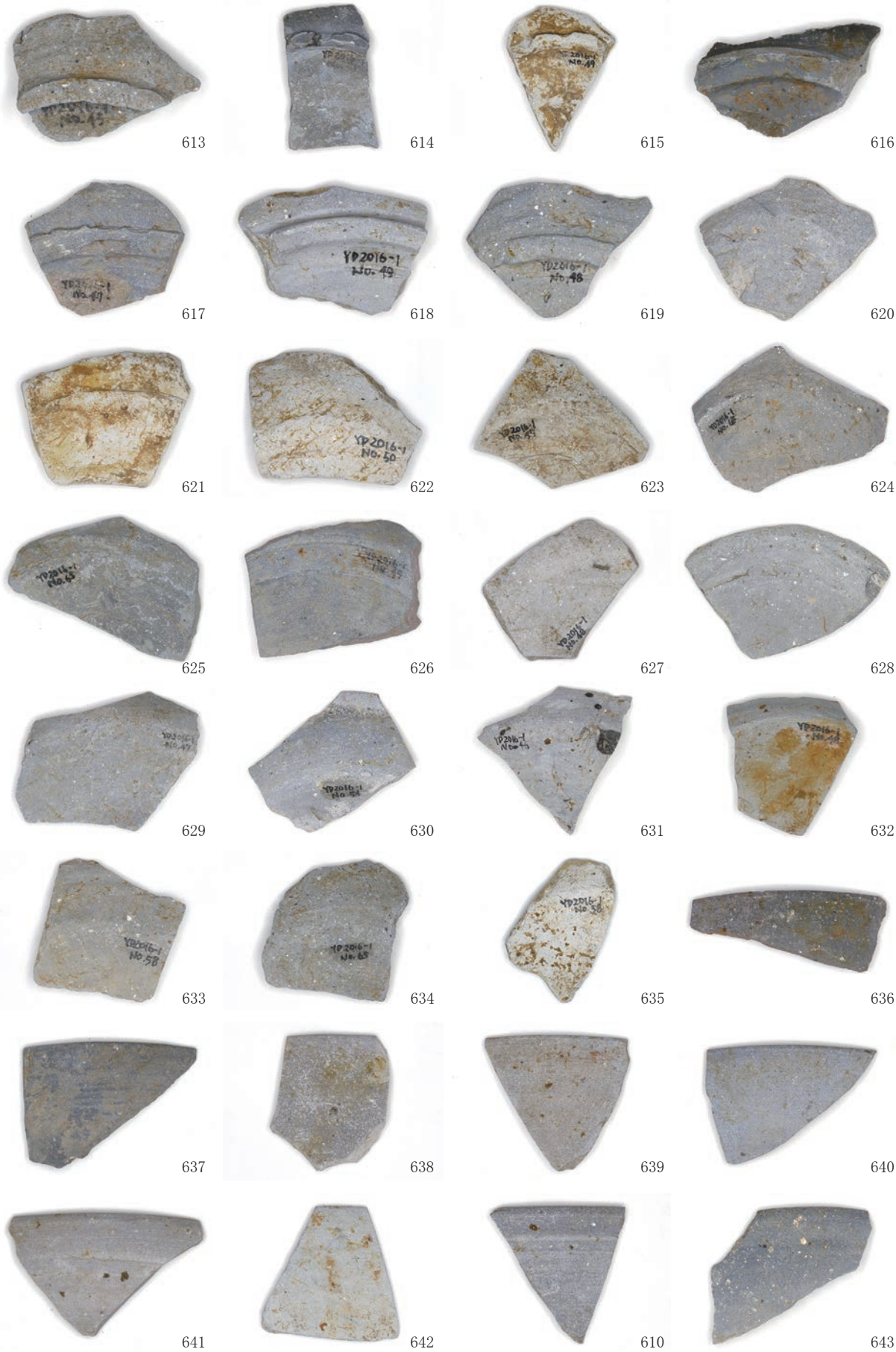


写真 150　出土遺物（土器）㉑

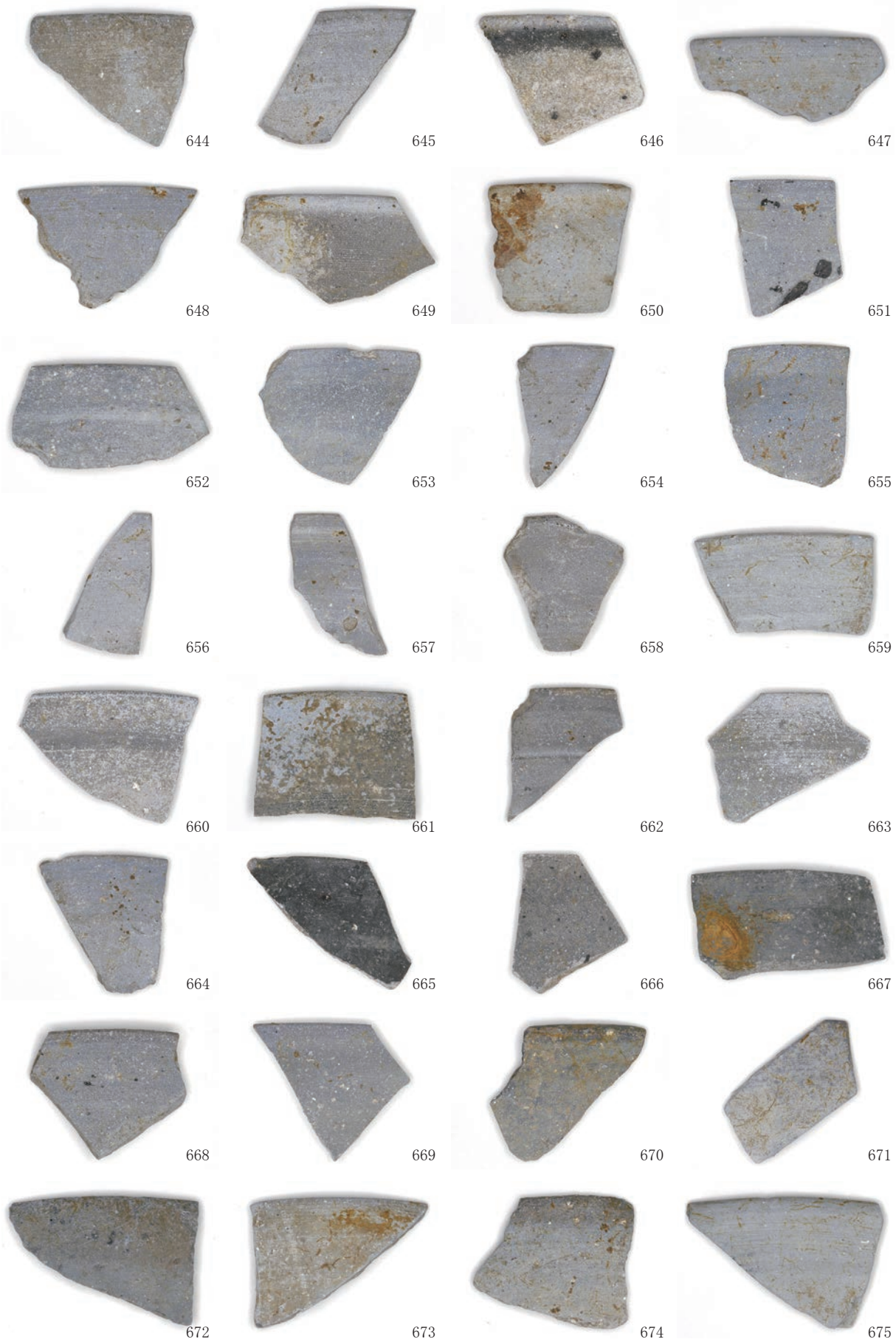


写真 151　出土遺物（土器）㉒

写真 152　出土遺物（土器）㉓

写真 153　出土遺物（土器）㉔

写真 154　出土遺物（土器）㉕

写真 155　出土遺物（土器）㉖

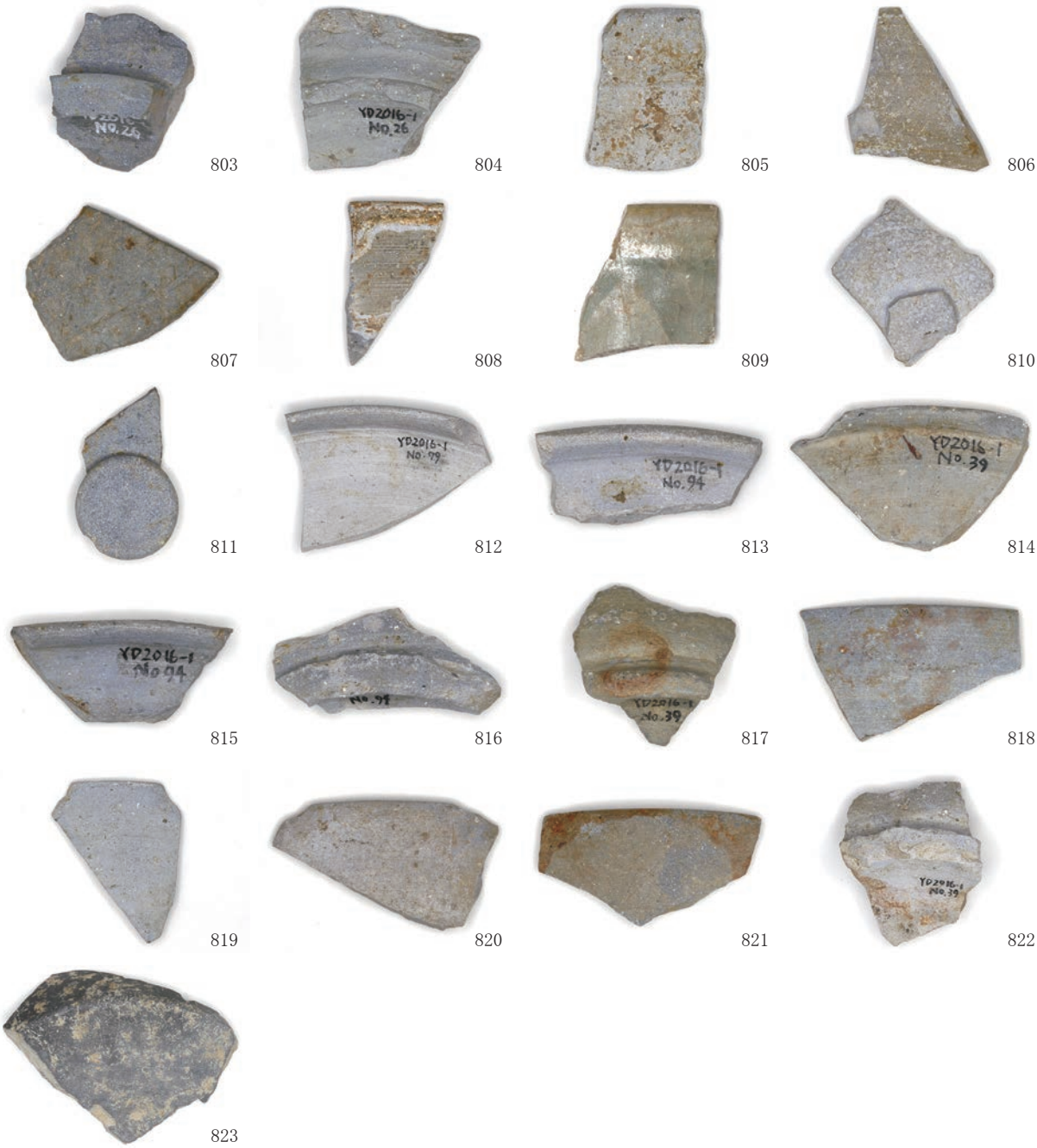


写真 156　出土遺物（土器）㉗

写真 157　出土遺物（土製品・金属器）

831-1

831-2

832

833-1

833-2

834-1

834-2

835-1

835-2

836-1

836-2

837-1

837-2

838-1

838-2

839-1

839-2

840-1

840-2

写真 158　出土遺物（石器）①

841-1

841-2

842-1

842-2

843-1

843-2

844-1

844-2

845-1

845-2

846-1

846-2

847-1

847-2

848-1

848-2

849-1

849-2

850-1

850-2

写真 159　出土遺物（石器）②

写真 160　出土遺物（木製品）

表5 出土遺物(土器)観察表

法量( )は復元値

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量(cm) ①口径②底径③器高	色調 ①外面 ②内面	胎土	備考
1	南区 包含層	須恵器 坏蓋	天井部 ～口縁部	③残高1.1	①灰白色(N7/) ②灰色(N6/)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石など)多く混ざる	
2	南区 包含層	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.05	①②灰白色(N8/)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(角閃石)極少量混ざる	
3	南区 包含層	須恵器 坏	口縁部	③残高2.9	①②灰色(7.5Y6/1)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
4	南区 包含層	須恵器 坏	口縁部	③残高2.2	①②灰白色(N7/)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
5	南区 包含層	須恵器 坏	口縁部	③残高2.1	①灰白色(N7/)～灰色(N5/) ②灰白色(N8/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石)極少量混ざる	口縁部外面重ね焼き痕
6	南区 包含層	須恵器 高台付坏	底部	③残高1.5	①②灰白色(N7/)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
7	南区 包含層	須恵器 壺か	底部	③残高1.5	①灰白色(N7/)	密:0.2㎜φの砂粒(角閃石など)極少量混ざる	
8	南区 包含層	須恵器 坏	底部	②(8.4) ③残高1.3	①灰色(N6/～5/) ②灰色(N6/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
9	南区 包含層	須恵器 皿	口縁部 ～底部	③残高1.25	①灰色(N6/) ②灰白色(5Y7/1)～灰色(5Y5/1)	密:0.2㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
10	南区 包含層	須恵器 皿か	口縁部	③残高1.55	①灰白色(2.5Y7/1) ②灰黄色(2.5Y7/2)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)やや多く混ざる	
11	南区 包含層	土師器 甕	口縁部	③残高2.05	①明黄褐色(10YR6/6) ②明黄褐色(10YR7/6)	やや粗:0.2～1㎜φの砂粒(長石・石英など)多量に混ざる	
12	南区 包含層	土師器 坏	底部	②(5.8) ③残高1.3	①②浅黄色(2.5Y8/3)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石・石英など)少量混ざる	
13	南区 包含層	青磁 碗	体部	③残高4.1	釉:灰オリーブ色(7.5Y5/2) 素地:灰白色(N8/)	精緻	龍泉窯系鎬蓮弁文
14	南区 遺構 検出層	須恵器 坏	底部	②(10.0) ③残高0.8	①②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
15	南区 遺構 検出層	須恵器 壺か	口縁部	③残高2.3	①灰白色(N7/) ②にぶい黄色(2.5Y6/3)	密:0.2㎜φの砂粒(長石)極少量混ざる	内面全面に灰被る
16	南区 旧耕土	須恵器 坏	底部	②(6.0) ③残高1.2	①②灰白色(7.5Y7/1)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)やや多く混ざる	
17	南区 旧耕土	製塩土器	体部		①浅黄橙色(7.5YR8/4) ②灰白色(2.5Y8/2)	密:0.2～1.5㎜φの粗砂粒少量混ざる	六連式
18	南区 攪乱	須恵器 坏蓋	天井部	③残高1.25	①灰白色(N7/) ②灰色(N6/)	密:0.2～1.5㎜φの粗砂粒少量混ざる	
19	南区 攪乱	須恵器 高台付坏	底部	③残高1.95	①灰白色(N7/～8/) ②灰白色(2.5Y7/1)	密:0.2～1.5㎜φの粗砂粒(角閃石など)少量混ざる	
20	南区 攪乱	須恵器 高台付坏	底部	②(5.6) ③残高1.4	①②灰色(N6/)	密:0.2～1㎜φの粗砂粒少量混ざる	
21	南区 攪乱	土師器 埦	底部	②6.5 ②残高1.6	①浅黄色(2.5Y8/4)～黄褐色(10YR5/6) ②にぶい黄褐色(10YR5/4)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(黒雲母・長石など)少量まざる	底部外面回転糸切り痕
22	北区 南東側 谷埋土2	須恵器 坏蓋	天井部 ～口縁部	①(16.4) ③2.35	①②灰白色(N7/)	0.5～3㎜φの長石含む	外面墨書
23	北区 南東側 谷埋土2	須恵器 坏蓋	天井部	③残高1.6	①②灰白色(N7/)	0.5～4㎜φの長石含む	
24	北区 谷埋土2	須恵器 坏蓋	天井部	③1.25	①灰白色(N7/) ②青灰色(5PB6/1)	0.5～1㎜φの長石・石英含む	
25	北区 南東側 谷埋土2	須恵器 坏蓋	天井部	③残高1.15	①明青灰色(5PB7/1) ②灰色(N6/)	0.5～1㎜φの長石含む	
26	北区 谷埋土2	須恵器 坏蓋	口縁部	①(17.8) ③残高2.4	①灰白色(7.5Y7/1) 灰白色(N7/) ②灰白色(N7/)	0.5～1㎜φの長石含む	
27	北区 東西アゼ 谷埋土2	須恵器 坏蓋	天井部 ～口縁部	①(17.0) ③残高1.15	①②明青灰色(5B7/1)	0.5～2㎜φの長石・石英含む	
28	北区 南東側 谷埋土2	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.4	①灰白色(N7/) ②灰色(N5/)	0.5～2㎜φの長石含む	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
29	北区 南東側 谷埋土2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.2	①灰白色（N7/） ②灰白色（N7/）灰色（N4/）	0.5～1㎜φの長石含む	
30	北区 谷埋土2（東流路東肩側）	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.6	①灰色（7.5Y6/1） ②灰色（N6/）	0.5～1㎜φの長石含む	
31	北区 北東側 谷埋土2	須恵器　坏蓋	天井部～口縁部	③残高1.2	①②灰白色（N7/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
32	北区 谷埋土2	須恵器　高台付坏	口縁部～底部	①（14.4） ②7.8 ③4.85	①②灰白色（N7/）	0.5～2㎜φの長石含む	
33	北区 中央東壁 谷埋土2	須恵器　高台付坏	体部～底部	②（8.4） ③残高3.6	①②明青灰色（5PB7/1）～青灰色（5PB5/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）極少量混ざる	北区谷埋土1と接合
34	北区 南東側 谷埋土2	須恵器　高台付坏	底部	②（8.0） ③残高3.0	①灰色（N6/）灰白色（N7/） ②灰白色（N7/）	0.5～3㎜φの長石含む	
35	北区 谷埋土2（東流路東肩側）	須恵器　高台付坏	体部～底部	②（8.0） ③残高3.0	①②灰色（N5/）	0.5～2㎜φの長石・石英含む	
36	北区 谷埋土2	須恵器　高台付坏	底部	②（8.0） ③残高2.25	①灰白色（5Y7/2） ②灰黄色（2.5Y7/2）	0.5～1㎜φの長石含む	
37	北区 谷埋土2	須恵器　高台付坏	底部	②（6.9） ③残高2.1	①②灰白色（N7/）	0.5～1㎜φの長石含む	
38	北区 谷埋土2	須恵器　高台付坏	底部	②（7.8） ③残高1.6	①青灰色（5PB5/1） ②明青灰色（5PB7/1）	0.3㎜φの砂粒含む	
39	北区 東西アゼ 谷埋土2	須恵器　坏	口縁部～底部	①（14.4） ②（6.0） ③5.0	①②灰色（N6/）～灰白色（N7/）	密：0.2～3㎜φの粗砂粒（長石など）少量混ざる	
40	北区 谷埋土2	須恵器　坏	底部	②（8.0） ③残高2.15	①灰白色（N8/）灰色（N5/） ②灰白色（N7/）	0.5～1㎜φの長石含む	
41	北区 谷埋土2	須恵器　坏	底部	③残高1.6	①灰白色（10Y8/1） ②灰白色（5Y8/2）	0.5～1㎜φ長石含む	
42	北区 谷埋土2（東流路東肩側）	須恵器　坏	天井部	③残高1.4	①淡黄色（2.5Y8/3） ②灰白色（5Y8/1）	0.5～1㎜φの長石含む	坏蓋の可能性あり 外面ヘラ記号
43	北区 谷埋土2	須恵器　坏	口縁部	①（15.8） ③残高3.15	①灰白色（N7/） ②灰色（N6/）	0.5㎜φの長石含む	
44	北区 谷埋土2	須恵器　坏	口縁部	①（10.4） ③残高2.95	①②灰白色（N7/）	0.5～1㎜φの長石含む	
45	北区 東西アゼ 南側 谷埋土2	須恵器　坏	口縁部	③残高3.4	①灰白色（N7.5/） 重ね焼き部：灰白色（N8/） ②灰白色（N8/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	口縁端部外面重ね焼き痕
46	北区 谷埋土2（東流路東肩側）	須恵器　坏	口縁部	③残高3.25	①②灰白色（N8/）	0.5～2㎜φの長石含む	
47	北区 谷埋土2（東流路東肩側）	須恵器　坏	口縁部	③残高2.55	①灰色（N5/） 灰白色（5Y8/2） ②灰白色（N7/）	1～2㎜φの長石含む	
48	北区 東西アゼ 谷埋土2	須恵器　皿	口縁部	③残高2.4	①②灰白色（N7/）	密：0.2～2.5㎜φの粗砂粒（長石・くさり礫など）極少量混ざる	
49	北区 谷埋土2（東流路東肩側）	須恵器　坏	口縁部	③残高2.35	①灰白色（N6/） ②灰白色（N7/）	1㎜φの長石含む	
50	北区 東西アゼ 南側 谷埋土2	須恵器　坏	口縁部	③残高4.3	①灰白色（N7/） ②灰白色（5Y7/1）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
51	北区 北側 谷埋土2	須恵器　坏	口縁部	③残高2.6	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面 ②内面	胎土	備考
52	北区 谷埋土2	須恵器 坏	口縁部	③残高1.85	①②灰白色（N7/）	砂粒をほとんど含まない	
53	北区 谷埋土2	須恵器 高台付皿	底部	②6.7 ③残高1.8	①②灰白色（N7/）	0.5～2㎜φの長石含む	
54	北区 谷埋土2	須恵器 高台付皿	底部	②（7.6） ③残高2.6	①灰色（N6/） ②暗灰黄色（2.5Y4/2）	0.5～1㎜φの長石含む	
55	北区 東西アゼ 南側 谷埋土2	須恵器 高台付皿	口縁部 ～底部	①（15.9） ②（9.0） ③5.0	①灰白色（2.5Y8/2～7/1） ②灰白色（2.5Y8/2）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石・石英など）少量混ざる	
56	北区 東西アゼ 南側 谷埋土2	須恵器 高坏	口縁部 ～底部	①（9.0） ②7.0 ③7.1	①②灰白色（N7.5/） 灰色（N4/）	精緻：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	坏部内面ヘラ記号
57	北区 谷埋土2（東流路東肩側）	須恵器 高坏	坏底部 ～脚部	②（9.6） ③残高6.85	①②灰白色（N7/）	0.5～3㎜φの長石含む	
58	北区 南東側 谷埋土2	須恵器 高坏	脚部	②（9.0） ③残高5.9	①②灰白色（N7/）	0.5～1㎜φの長石含む	
59	北区 谷埋土2	須恵器 高坏	坏底部 ～脚部	③3.35	①②灰白色（N7/）	1～2㎜φの長石含む	
60	北区 南東側 谷埋土2	須恵器 高坏	坏部	①（16.2） ③残高3.95	①暗灰色（N4/） 灰黄色（2.5Y7/2） ②灰色（N5/） 灰白色（5Y8/1）	0.5～3㎜φの長石含む	
61	北区 南東側 谷埋土2	須恵器 高坏	坏部	①（12.8） ③残高3.4	①灰白色（N7/） 灰色（N6/） ②灰白色（N7/） 灰色（N5/）	0.5～2㎜φの長石含む	
62	北区 南東側 谷埋土2	須恵器 高坏	坏底部	③残高1.3	①灰白色（N7/） ②灰白色（N8/）	0.5～1㎜φの長石含む	
63	北区 谷埋土2（東流路東肩側）	須恵器 高坏	坏底部	③残高1.9	①②明青灰色（5B7/1）	0.5～1㎜φの長石含む	
64	北区 東西アゼ 南側 谷埋土2	須恵器 高坏	坏部	③残高2.8	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
65	北区 東西アゼ 南側 谷埋土2	須恵器 高坏	坏部	①（12.8） ③残高2.5	①灰白色（N7/） 暗灰色（N3/） ②灰白色（N7/） 灰色（N5/）	精緻：0.1～0.2㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
66	北区 谷埋土2	須恵器 高坏	口縁部	③残高3.6	①②灰白色（N7/）	0.5～2㎜φの長石含む	
67	北区 谷埋土2（東流路西肩側）	須恵器 高坏	口縁部	③残高2.7	①②灰色（N7/）	1㎜φの長石含む	
68	北区 谷埋土2	須恵器 高坏	口縁部	③残高2.6	①②灰白色（N7/）	1～7㎜φの長石含む	
69	北区 谷埋土2（東流路東肩側）	須恵器 高坏	口縁部	③残高2.55	①②灰色（N6/）	0.1～0.3㎜φの砂粒含む	
70	北区 谷埋土2	須恵器 高坏	口縁部	③残高2.1	①②灰白色（N7/）	1㎜φの長石含む	
71	北区 南東側 谷埋土2	須恵器 高坏	口縁部	③残高3.1	①灰白色（7.5Y8/1） ②灰白色（7.5Y7/1）	0.5～1㎜φの長石含む	
72	北区 南東側 谷埋土2	須恵器 高坏	口縁部	③残高3.15	①オリーブ黒色（10Y3/1） 灰白色（N7/） ②灰色（N6/）	0.3㎜φの砂粒含む	
73	北区 谷埋土2	須恵器 高坏	脚部	②（6.0） ③残高2.55	①②灰白色（N7/）	0.5～1㎜φの長石含む	
74	北区 谷埋土2	須恵器 不明脚部	脚部	②4.3 ③残高2.8	①②灰白色（N7/）	1㎜φの長石含む	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
75	北区谷埋土2（東流路東肩側）	須恵器　壺蓋	口縁部	③残高1.3	①②灰白色（N7/）	1㎜φの長石含む	
76	北区谷埋土2	須恵器　平瓶	体部	③残高12.0	①②灰色（N6/）	0.5～3㎜φの長石含む	北区包含層1と接合
77	北区谷埋土2（東流路東肩側）	須恵器　横瓶	口縁部～肩部	①11.8 ③残高5.5	①②灰白色（N7/）	1～3㎜φの長石含む	
78	北区中央東壁谷埋土2	須恵器　甕	口縁部～肩部	①（20.2） ③残高7.6	①灰白色（N7/）～黄灰色（2.5Y6/1） ②灰白色（N7/～8/）～黄灰色（2.5Y6/1）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石・くさり礫など）少量混ざる	
79	北区南東側谷埋土2	須恵器　円面硯	海～脚部	②（15.6）	①灰色 ②明青灰色	0.5～1.5㎜φの砂粒を含む	総合研究棟出土品（年報ＸＸ fig.18-56）と接合 北区谷埋土1から同一個体出土
80	北区東西アゼ南側谷埋土2	土師器　坏	口縁部～底部	①（14.0） ②（10.8） ③残高4.9	①灰色（N4/） ②灰白色（2.5Y8/2）	密：0.2～2.5㎜φの粗砂粒（石英など）少量混ざる	
81	北区谷埋土2	土師器　坏	口縁部	③残高3.7	①灰白色（5Y8/1） ②灰白色（5Y8/2）	1㎜φの長石含む	
82	北区谷埋土2	土師器　坏	底部	③残高1.7	①灰白色（2.5Y7/1） ②灰白色（2.5Y8/2）	0.5～2㎜φの長石・石英含む	須恵器模倣土師器
83	北区谷埋土2	土師器　坏	体部～底部	②（10.0） ③残高4.05	①灰白色（2.5Y7/1） 淡黄色（2.5Y8/3） ②淡黄色（2.5Y8/3）	0.5～2㎜φの長石含む	
84	北区東西アゼ南側谷埋土2	土師器　高坏	脚部	③残高5.9	①灰色（N5/～6/） ②灰白色（5Y8/2）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
85	北区谷埋土2	土師器　甕	口縁部	③残高3.7	①浅黄橙色（10YR8/3） ②淡黄色（2.5Y8/3）	0.5～3㎜φの長石・石英含む	
86	北区南東側谷埋土2	土師器　甕	口縁部	③残高2.3	①にぶい橙色（7.5YR7/4） ②灰褐色（10YR6/2）	0.5～1㎜φの長石・石英含む	
87	北区東西アゼ南側谷埋土2	土師器　甕	口縁部	③残高3.6	①橙色（7.5YR6/6） ②褐灰色（10YR5/1）	密：0.2～4㎜φの砂粒（石英など）多量に混ざる	
88	北区南東側谷埋土2	土師器　甕	口縁部	③残高2.7	①②橙色（7.5YR6/8）	0.5～1㎜φの長石・石英・くさり礫含む	
89	北区南東側谷埋土2	土師器　甕	口縁部	③残高2.1	①にぶい橙色（7.5YR7/4） ②灰褐色（7.5YR5/2） 黒褐色（7.5YR3/1）	0.5～3㎜φの長石・石英・くさり礫含む	
90	北区東西アゼ南側谷埋土2	土師器　甕	口縁部	③残高2.2	①明黄褐色（10YR6/6） ②明黄褐色（10YR6/6）～にぶい黄褐色（10YR7/2）	やや粗：0.2～2㎜φの粗砂粒（石英など）やや多く混ざる	
91	北区東西アゼ南側谷埋土2	弥生土器　甕	底部	②（6.6） ③残高1.5	①灰白色（2.5Y8/2）～明黄褐色（10YR7/6） ②灰白色（2.5Y7/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
92	北区南東谷埋土1	須恵器　坏蓋	天井部～口縁部	①（11.6） ③残高3.6	①明青灰色（5PB7/1） ②灰白色（N8/～7/）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（長石・石英など）少量混ざる	
93	北区中央谷埋土1	須恵器　坏蓋	天井部～口縁部	①（17.0） ③残高3.1	①灰白色（N7/） ②灰色（N6/）	0.5～1㎜φの長石含む	北区谷埋土2と接合
94	北区中央谷埋土1	須恵器　坏蓋	天井部～口縁部	①（13.3） ③1.9	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面 ②内面	胎土	備考
95	北区 東側 谷埋土1	須恵器 坏蓋	天井部～口縁部	①（12.4）③残高2.95	①灰色（N6/）②灰白色（N7/）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
96	北区 中央 谷埋土1	須恵器 坏蓋	口縁部	①（13.0）③残高1.7	①②青灰色（5PB6/1）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
97	北区 中央 谷埋土1	須恵器 坏蓋	天井部	③残高2.1	①②灰白色（2.5Y8/2）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
98	北区 中央 谷埋土1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.7	①灰白色（N8/）②灰白色（N7/）	0.5～1㎜φの長石含む	
99	北区 南東 谷埋土1	須恵器 坏蓋	天井部	③残高1.5	①灰白色（N7/）～灰色（N5/）②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
100	北区 北壁 谷埋土1	須恵器 坏蓋	天井部	③残高1.15	①②灰白色（N7/）	密：0.2～4.5㎜φの粗砂粒（長石など）少量混ざる	
101	北区 東側 谷埋土1	須恵器 坏蓋	天井部	③残高1.15	①灰白色（N7/）②灰白色（N8/）	0.5～2㎜φの長石含む	
102	北区 中央 谷埋土1	須恵器 坏蓋	天井部～口縁部	①（14.2）③1.9	①②灰色（N5/）	密：0.2～4㎜φの粗砂粒（くさり礫・長石など）多く混ざる	北区包含層2と接合
103	北区 東側 谷埋土1	須恵器 坏蓋	天井部～口縁部	①（14.0）③1.6	①②灰白色（N7/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒少量混ざる	
104	北区 北西側 谷埋土1	須恵器 坏蓋	天井部	③残高1.5	①明青灰色（5PB7/1）灰：灰色（10Y6/1）②灰白色（N7/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（くさり礫など）やや多く混ざる	
105	北区 中央 谷埋土1	須恵器 坏蓋（転用硯）	天井部	③残高1.25	①灰白色（N8/）②灰白色（N7/）	精緻：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	わずかに墨痕残る
106	北区 東西アゼ 谷埋土1	須恵器 坏蓋（転用硯）	天井部	③残高0.65	①灰白色（N8/）灰：灰白色（N7/）②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（角閃石など）極少量混ざる	
107	北区 東側 谷埋土1	須恵器 坏蓋	口縁部	①（14.2）③残高0.9	①灰白色（N7/）②灰白色（N8/）	精緻	
108	北区 谷埋土1（東流路東肩側）	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.5	①②灰白色（N7/）	0.5～1㎜φの長石含む	
109	北区 南東 谷埋土1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.1	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
110	北区 東側 谷埋土1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.2	①②灰白色（N7/）外面灰：灰色（7.5Y6/1）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	外面灰被る
111	北区 中央 谷埋土1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.1	①②灰白色（N7/）外面灰：明オリーブ灰色（2.5GY7/1）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	外面灰被る
112	北区 中央 谷埋土1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.35	①②灰白色（N7/）	0.5～1㎜φの長石含む	
113	北区 中央 谷埋土1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高0.85	①②青灰色（5PB5/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
114	北区 中央 谷埋土1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高0.8	①②灰白色（N7/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（角閃石・長石など）極少量混ざる	
115	北区 東側 谷埋土1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.85	①灰白色（N7.5/）重ね焼き部：灰白色（N7/）②灰白色（10Y7/1）重ね焼き部：灰白色（10Y8/1）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
116	北区 中央 谷埋土1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高2.15	①灰白色（N8/）オリーブ灰色（2.5GY5/1）②灰白色（N7/）	0.5～1㎜φの長石含む	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量(cm) ①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
117	北区 東西アゼ 谷埋土1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.6	①明青灰色(5B7/1) ②青灰色(5PB6/1)	0.5～1㎜φの長石含む	
118	北区 谷埋土1 (東流路 東肩側)	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.75	①②灰白色(N7/)	0.5～2㎜φの長石・石英含む	
119	北区 東側 谷埋土1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.1	①②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
120	北区 東西アゼ 谷埋土1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.4	①灰白色(N8/) ②灰白色(N8/)～灰色(7.5Y6/1)	密:0.1～0.2㎜φの砂粒(角閃石など)極少量混ざる	
121	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.3	①②灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)やや多く混ざる	
122	北区 東側 谷埋土1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.2	①灰白色(2.5Y7/1) ②灰白色(N7/)～灰色(N4/)	密:0.1～0.2㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
123	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏蓋	天井部 ～口縁部	③残高1.2	①②灰色(N7/) 外面灰:浅黄色(5Y7/3)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	外面灰被る
124	北区 東側 谷埋土1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.3	①②明青灰色(5PB7/1)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
125	北区 南東 谷埋土1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.3	①②青灰色(5PB6/1)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)やや多く混ざる	
126	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高0.9	①②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)やや多く混ざる	
127	北区 東西アゼ 谷埋土1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.95	①②灰色(N6/～4/)	1～2㎜φの長石含む	
128	北区 南東 谷埋土1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.6	①②灰白色(N7/)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
129	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.45	①②灰白色(N8/)	やや粗:0.2～2㎜φの粗砂粒(長石・石英など)多く混ざる	
130	北区 谷埋土1 (東流路 西肩側)	須恵器　坏蓋	天井部	③2.3	①灰白色 ②灰白色(7.5Y8/1)	0.5～1㎜φの長石含む	輪状つまみ
131	北区 中央 谷埋土1	須恵器　高台付坏	底部	②(6.4) ③残高2.35	①灰白色(N7/) 灰白色(7.5Y8/1) ②灰色(N6/)	0.5～1㎜φの長石含む	
132	北区 東西アゼ 南側 谷埋土1	須恵器　高台付坏	底部	②(8.4) ③残高2.2	①②明青灰色(5PB7/1)	密:0.2～1㎜φの砂粒(角閃石・長石など)少量混ざる	
133	北区 南東側 谷埋土1	須恵器　高台付坏	体部 ～底部	②7.6 ③残高2.25	①②灰白色(N7.5/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
134	北区 南東 谷埋土1	須恵器　高台付坏	体部 ～底部	②(7.2) ③残高2.7	①②灰白色(N7/)	密:0.2～2.5㎜φの粗砂粒(石英・長石など)少量混ざる	
135	北区 中央 谷埋土1	須恵器　高台付坏	底部	②(7.5) ③残高2.2	①②灰白色(N8/)	0.5～2㎜φの長石含む	
136	北区 中央 谷埋土1	須恵器　高台付坏	底部	②(7.6) ③残高2.6	①明青灰色(5PB7/1)～灰色(5Y5/1) ②灰白色(N7/)	密:0.2～0.3㎜φの砂粒(角閃石など)極少量混ざる	
137	北区 中央 谷埋土1	須恵器　高台付坏	底部	②(7.2) ③残高1.7	①②灰白色(2.5Y8/1)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
138	北区 北西側 谷埋土1	須恵器　高台付坏	体部 ～底部	②(8.4) ③残高2.2	①明青灰色(5PB7/1) ②灰白色(N7/)N7/)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
139	北区 南東 谷埋土1	須恵器　高台付坏	底部	②（7.1） ③残高1.6	①②明青灰色（5PB7/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
140	北区 南東側 谷埋土1	須恵器　高台付坏	底部	②（9.6） ③残高2.5	①灰色（N5/～6/） ②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（角閃石など）少量混ざる	
141	北区 中央 谷埋土1	須恵器　高台付坏	口縁部～底部	①（11.4） ②（8.8） ③5.3	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）多く混ざる	
142	北区 中央 谷埋土1	須恵器　高台付坏	高台部	③残高1.25	①灰色（N4/）～灰白色（N7/） ②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
143	北区 東西アゼ 谷埋土1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.75	①②灰白色（N7/）	0.5～1㎜φの長石含む	
144	北区 南東側 谷埋土1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.0	①②青灰色（5PB6/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
145	北区 中央 谷埋土1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.2	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
146	北区 中央 谷埋土1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.7	①②青灰色（5B5/1）	0.5～4㎜φの長石・0.5～2㎜φの石英含む	
147	北区 東西アゼ 谷埋土1	須恵器　坏	底部	②（10.7） ③残高1.9	①②灰白色（10Y7/1）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石など）多く混ざる	
148	北区 南東 谷埋土1	須恵器　坏	底部	③残高1.9	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
149	北区 南東側 谷埋土1	須恵器　坏	底部	②（6.8） ③1.8	①青灰色（5PB5/1～6/1） ②灰白色（N8/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
150	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏	底部	②（6.2） ③残高0.7	①②青灰色（5PB6/1）	密：0.2～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
151	北区 北西側 谷埋土1	須恵器　坏	底部	②（6.9） ③残高0.9	①灰白色（5Y7/2） ②灰白色（N7/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（角閃石など）極少量混ざる	
152	北区 東側 谷埋土1	須恵器　坏	体部～底部	②（7.6） ③残高4.15	①②灰白色（5Y8/1）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（長石・角閃石・石英など）やや多く混ざる	
153	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏	体部～底部	②（5.6） ③残高2.7	①②灰白色（N8/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
154	北区 東西アゼ 谷埋土1	須恵器　坏	底部	③残高2.0	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	0.5～2㎜φの長石含む	
155	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	①（10.2） ③残高2.05	①②灰白色（N7/）	1㎜φの長石含む	
156	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.8	①②明青灰色（5PB7/1） 内面灰：明オリーブ灰色（2.5GY7/1）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
157	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.0	①灰色（5Y6/1） 重ね焼き部：灰白色（N7/） ②灰白色（N7/）	密：0.1～0.2㎜φの砂粒（角閃石・長石など）極少量混ざる	
158	北区 東側 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部～底部	③残高3.3	①②灰白色（N7/）	0.5㎜φの砂粒含む	
159	北区 東西アゼ 南側 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.75	①灰白色（N8/） ②灰白色（N7/）	0.1～0.3㎜φの砂粒含む	
160	北区 東側 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高3.2	①灰色（N6/）～灰白色（N7/） ②灰白色（N7.5/）	密：0.2～3㎜φの粗砂粒（長石など）やや多く混ざる	
161	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高1.8	①②灰白色（N7/）	密：0.2～0.7㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
162	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.4	①②明青灰色（5PB7/1）	密：0.1～0.2㎜φの砂粒（長石・角閃石など）極少量混ざる	
163	北区 谷埋土1（東流路東肩側）	須恵器　坏	口縁部	③残高2.7	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	1㎜φの長石含む	
164	北区 東側 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.35	①灰色（5Y6/1） 重ね焼き部：灰白色（N7.5/） ②灰白色（N7.5/）	密：0.1～0.2㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	口縁部重ね焼き痕
165	北区 東端部 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.6	①灰白色（N7/） ②灰白色（N8/）	1㎜φの長石含む	
166	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部～底部	③残高3.1	①灰白色（N7/） ②灰白色（N8/）	精緻：0.1～0.2㎜φの角閃石極少量混ざる	
167	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.0	①灰白色（N7/） ②灰白色（N8/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	内面灰被る
168	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.2	①②灰白色（N7/） 内面灰：オリーブ灰（5Y6/3）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（角閃石など）極少量混ざる	内面灰被る
169	北区 南東 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.6	①②青灰色（5PB6/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（くさり礫・長石など）やや多く混ざる	
170	北区 東側 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.9	①②灰白色（N7/）	密：0.2～4㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
171	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高3.5	①灰白色（N7/） ②灰黄色（2.5Y7/2）	0.5～1㎜φの長石含む	
172	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.1	①②灰色（N6/）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（長石・石英など）やや多く混ざる	
173	北区 東側 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.7	①灰白色（N7.5/） 重ね焼き部：灰白色（N7/） ②灰白色（N7.5）	密：0.2～4㎜φの粗砂粒（長石など）少量混ざる	口縁部重ね焼き痕
174	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.6	①灰白色（7.5Y8/1）～灰色（N5/） ②灰白色（N7/）	密：0.2～0.3㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
175	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.2	①②灰色（N6/）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（くさり礫など）やや多く混ざる	
176	北区 北西側 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.5	①②灰白色（N7/）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（くさり礫など）やや多く混ざる	
177	北区 東西アゼ 南側 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高1.9	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
178	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.2	①②明青灰色（5PB7/1）	密：0.2～0.4㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
179	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.4	①②灰白色（N7/）	0.1～0.3㎜φの砂粒含む	
180	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.6	①灰白色（N7/）～灰色（N6/） ②灰白色（N8/～7/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（石英・長石など）やや多く混ざる	
181	北区 中央 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.9	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
182	北区 南東側 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高3.2	①②灰白色（10Y7/1）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（くさり礫など）少量混ざる	
183	北区 南東 谷埋土1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.3	①灰白色（N8/～7/） ②灰白色（N8/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面 ②内面	胎土	備考
184	北区 中央 谷埋土1	須恵器 坏	口縁部	③残高2.2	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	密：0.2～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
185	北区 中央 谷埋土1	須恵器 坏	口縁部	③残高3.0	①②灰白色（N7/）	0.5～1㎜φの長石含む	
186	北区 中央 谷埋土1	須恵器 坏	口縁部	③残高2.4	①灰白色（N7/） ②灰白色（N8/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
187	北区 中央 谷埋土1	須恵器 坏	口縁部	③残高2.1	①②明青灰色（5PB7/1） 内面灰：灰オリーブ色（5Y5/3）	精緻：0.1～0.2㎜φの長石極少量混ざる	内面灰被る
188	北区 中央 谷埋土1	須恵器 高台付皿	底部	②（9.6） ③残高2.1	①②灰白色（N8/）	密：0.1～2㎜φの粗砂粒（長石など）少量混ざる	
189	北区 南東 谷埋土1	須恵器 高台付皿	底部	②（7.6） ③残高1.8	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
190	北区 南東側 谷埋土1	須恵器 高台付皿	底部	③残高1.1	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
191	北区 東側 谷埋土1	須恵器 高台付皿	口縁部	①（17.8） ③残高2.7	①灰白色（N7/）～灰色（N6/） ②灰色（N5/～6/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
192	北区 中央 谷埋土1	須恵器 皿	口縁部	③残高2.2	①②灰白色（N7/）～灰色（N5/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
193	北区 中央 谷埋土1	須恵器 皿	口縁部～底部	③2.0	①②灰白色（N7/）	砂粒をほとんど含まない	
194	北区 中央 谷埋土1	須恵器 皿	口縁部	③残高2.0	①灰白色（N7/） ②灰白色（N8/） 灰：灰オリーブ色（7.5Y6/2）	精緻：0.2～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	内面灰被る
195	北区 南東 谷埋土1	須恵器 皿	口縁部～底部	③残高1.55	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
196	北区 東側 谷埋土1	須恵器 高坏	坏底部～脚部	③残高6.95	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	北区包含層2と接合
197	北区 東端部 谷埋土1	須恵器 高坏	脚部	③残高4.0	①②青灰色（5B6/1）	1㎜φの長石含む	
198	北区 中央 谷埋土1	須恵器 高坏	坏部～脚部	③残高2.4	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
199	北区 中央 谷埋土1	須恵器 高坏	坏底部	③残高1.95	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
200	北区 中央 谷埋土1	須恵器 高坏	脚裾部	②（9.2） ③残高0.7	①②灰白色（N8/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
201	北区 中央 谷埋土1	須恵器 高坏	脚裾部	②（9.8） ③残高1.7	①②灰白色（N8/）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（長石など）少量混ざる	
202	北区 谷埋土1	須恵器 高坏	坏部	③残高2.5	①②灰白色（N7.5/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
203	北区 東側 谷埋土1	須恵器 高坏	口縁部	③残高2.2	①②灰白色（N7/）	0.5～1㎜φの長石含む	
204	北区 東西アゼ 谷埋土1	須恵器 高坏	口縁部	③残高2.3	①灰白色（N7/） ②灰白色（N8/）	0.5～2㎜φの長石含む	
205	北区 中央 谷埋土1	須恵器 高坏	口縁部	③残高1.7	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
206	北区 中央 谷埋土1	須恵器 高坏	口縁部	③残高1.6	①灰白色（N7/） ②灰色（N6/）	0.1～0.5㎜φの砂粒含む	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
207	北区 中央 谷埋土1	須恵器　高坏	口縁部	③残高2.2	①灰白色（N7/） ②灰白色（N7/）～灰色（N6/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
208	北区 東側 谷埋土1	須恵器　高坏	口縁部	③残高2.7	①②明青灰色（5PB7/1）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（長石など）少量混ざる	
209	北区 中央 谷埋土1	須恵器　高坏	口縁部	③残高2.1	①灰白色（N8/） ②灰白色（N7/）	0.1～0.3㎜φの砂粒含む	
210	北区 中央 谷埋土1	須恵器　高坏	口縁部	③残高1.7	①②灰色（7.5Y6/1） 内面灰：浅黄色（2.5Y7/3）	精緻：0.2～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	内面灰被る
211	北区 中央 谷埋土1	須恵器　長頸壺	口縁部	③残高3.5	①②灰色（N6/）	0.5～1㎜φの長石含む	
212	北区 東西アゼ 谷埋土1	須恵器　壺	口縁部	③残高1.7	①②明青灰色（5PB7/1）	密：0.2～2.5㎜φの粗砂粒（長石など）少量混ざる	
213	北区 中央 谷埋土1	須恵器　長頸壺	口縁部	③残高1.3	①②明青灰色（5PB7/1）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石・くさり礫など）やや多く混ざる	
214	北区 南東側 谷埋土1	須恵器　平瓶か	頸部	③残高2.85	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
215	北区 中央 谷埋土1	須恵器　壺	口縁部	③残高3.45	①灰色（7.5Y5/1） ②灰色（6N/）	0.5～1㎜φの長石含む	
216	北区 南東 谷埋土1	須恵器　壺蓋	天井部～口縁部	③残高0.8	①②明青灰色（5PB7/1）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）極少量混ざる	
217	北区 中央 谷埋土1	須恵器　ハソウ	口縁部	①（8.2） ③残高2.3	①灰白色（7.5Y7/1） 灰白色（N7/） ②灰白色（5Y7/1）	0.5～1㎜φの長石含む	
218	北区 南東側 谷埋土1	須恵器　器台	脚部	③残高2.95	①灰色（N5/～6/） ②灰色（N5/）	1㎜φの長石含む	
219	北区 東端部 谷埋土1	須恵器　平瓶	頸部～底部	②（7.3） ③残高12.0	①②灰白色（N7/）	1㎜φの長石含む	北区包含層2・北区谷埋土2・北区地山直上と接合
220	北区 中央 谷埋土1	須恵器　平瓶	肩部	③残高4.0	①灰色（7.5Y6/1） 明青灰色（5B7/1） ②灰白色（N7/）	0.5～1㎜φの長石含む	外面重ね焼き痕・北区谷埋土2に接点ない同一個体あり
221	北区 中央 谷埋土1	須恵器　平瓶	体部	③残高7.0	①②灰白色（N7/）	1㎜φの長石含む	
222	北区 中央 谷埋土1	須恵器　平瓶	体部	③残高8.55	①灰白色（N7/） ②灰白色（N8/）	0.5～2㎜φの長石含む	
223	北区 中央 谷埋土1	須恵器　甕	口縁部～肩部	①（21.6） ③残高14.2	①②灰白色（N7/）	0.5～1㎜φの長石含む	
224	北区 東側 谷埋土1	須恵器　甕	肩部	③残高3.3	①②灰白色（N8/） 外面灰：浅黄色（2.5Y7/3）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	外面灰被る
225	北区 中央 谷埋土1	須恵器　甕	頸部～肩部	③残高3.45	①②明青灰色（5PB7/1）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
226	北区 北西側 谷埋土1	須恵器　甕	口縁部	③残高7.2	①灰白色（10Y8/1） ②灰白色（N7/）	0.5～1㎜φの長石含む	
227	北区 東端部 谷埋土1	須恵器　甕	口縁部	③残高5.45	①②灰白色（N7/）	0.5～1㎜φ長石含む	
228	北区 中央 谷埋土1	須恵器　甕	坏部	③残高3.25	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	0.1～0.3㎜φの砂粒含む	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面 ②内面	胎土	備考
229	北区 南東 谷埋土1	土師器 坏蓋	口縁部	③残高0.85	①②淡黄色（2.5Y8/4）～浅黄色（2.5Y7/4）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	須恵器模倣
230	北区 南東側 谷埋土1	土師器 坏蓋	口縁部	③残高0.9	①②浅黄色（2.5Y7/4）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	須恵器模倣
231	北区 東西アゼ 南側 谷埋土1	土師器 坏	底部	①（14.4）②（10.0）③残高3.6	①灰色（5Y5/1）②灰白色（5Y8/1）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
232	北区 東側 谷埋土1	土師器 坏	底部	②（11.5）③残高1.4	①②灰白色（2.5Y8/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
233	北区 中央 谷埋土1	土師器 坏	底部	③残高2.4	①灰白色（5Y8/1）②灰白色（10Y7/1）	0.5～4㎜φの長石含む	
234	北区 中央 谷埋土1	土師器 坏	底部	②（6.2）③残高2.1	①②灰色（5Y4/1）	密：0.2～3㎜φの粗砂粒（くさり礫など）多く混ざる	
235	北区 中央 谷埋土1	土師器 坏	口縁部	③残高3.3	①灰色（N4/）②灰白色（5Y8/1）～灰色（N6/）	やや粗：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
236	北区 南東 谷埋土1	土師器 坏	口縁部	③残高2.0	①灰色（N4/）②灰色（N5/）	やや粗：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
237	北区 東西アゼ 谷埋土1	土師器 坏	口縁部	③残高1.7	①②暗灰色（N3/）	やや粗：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	内外面炭素吸着
238	北区 東側 谷埋土1	土師器 埦	底部	②（6.0）③残高1.4	①②浅黄橙色（10YR8/4）～橙色（5YR7/6）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
239	北区 東西アゼ 谷埋土1	土師器 高台付皿	底部	③残高1.7	①②にぶい黄橙色（10YR7/4）～橙色（5YR6/6）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
240	北区 中央 谷埋土1	土師器 高台付皿	底部	②（12.0）③残高2.4	①②灰白色（5Y8/2）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石・石英など）少量混ざる	高台付盤か
241	北区 中央 谷埋土1	土師器 皿	口縁部	③残高2.1	①②暗灰色（N3/）	0.5～1㎜φの長石含む	
242	北区 中央 谷埋土1	土師器 甕	口縁部	③残高2.8	①浅黄橙色（7.5YR8/4）②にぶい黄橙色（10YR6/3）～浅黄色（2.5Y8/4）	やや粗：0.2～1.5㎜φの砂粒（石英など）少量混ざる	
243	北区 中央 谷埋土1	土師器 甕	口縁部	③残高2.0	①②にぶい橙色（7.5yr7/3）	密：0.2～4㎜φの粗砂粒（石英など）少量混ざる	
244	北区 南東 谷埋土1	土師器 甕	口縁部	③残高2.9	①淡黄色（2.5Y8/3）②明黄褐色（2.5Y7/6）	密：0.2～3㎜φの粗砂粒（石英・くさり礫など）少量混ざる	
245	北区 東側 谷埋土1	土師器 甕	口縁部	③残高3.5	①黄灰色（2.5Y4/1）～暗灰黄色（2.5Y4/2）②にぶい黄橙色（10YR7/3）	やや粗：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石・石英など）少量混ざる	
246	北区 南東 谷埋土1	土師器 甕	口縁部	③残高2.5	①にぶい黄橙色（10YR7/4）②にぶい黄橙色（10YR6/4）	やや粗：0.2～5㎜φの粗砂粒（くさり礫・石英など）多量に混ざる	
247	北区 谷埋土1（東流路西肩側）	土師器	把手	③残高5.35	①浅黄色（2.5Y7/4）②灰黄色（2.5Y6/2）	0.5～3㎜φの長石・石英・チャート・くさり礫含む	
248	北区 東側 谷埋土1	弥生土器 甕	頸部	③残高3.3	①②灰黄色（2.5Y7/2）～黒色（2.5Y2/1）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（石英・長石など）少量混ざる	
249	北区 Pit57	須恵器 甕・器台	坏部	③残高9.55	①②灰白色（N7/）	1～5㎜φの長石含む	北区包含層1・北区包含層2と接合
250	北区 Pit71	須恵器 坏蓋	口縁部	①（13.8）③残高1.3	①灰白色（N7/）②青灰色（5PB6/1）	0.5～2㎜φの長石含む	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量(cm) ①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
251	北区 中央 遺構 検出層	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.15	①明青灰色(5PB7/1)～青灰色(5PB6/1) ②灰白色(10Y7/1)	密:0.2～2㎜φの粗砂粒(長石・石英など)多く混ざる	
252	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　坏蓋	天井部	③残高0.9	①②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
253	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.2	①灰白色(N7/～8/)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
254	北区 中央 遺構 検出層	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.3	①灰白色(N7/) ②灰白色(N8/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
255	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.6	①灰白色(N8/) ②灰白色(N7/)	0.5～3㎜φの長石含む	
256	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高0.95	①②灰白色(N7/)	精緻:0.1～0.2㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
257	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高0.95	①②明青灰色(5PB7/1)	1～2㎜φの長石含む	
258	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　坏蓋	天井部 ～口縁部	③残高2.2	①②灰白色(N7/～8/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
259	北区 中央 遺構 検出層	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.6	①灰白色(10Y7/1) ②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
260	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.5	①②灰白色(N7/)	密:0.2～2㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
261	北区 中央 遺構 検出層	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.65	①灰色(N6/) ②灰白色(N7/)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	外面灰被る
262	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.2	①②明青灰色(5PB7/1)	密:0.1～0.2㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
263	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.35	①②灰白色(N7/)	0.1～0.3㎜φの砂粒含む	
264	北区 中央 遺構 検出層	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.7	①②灰白色(N8/)	精緻:0.1～0.2㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
265	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　坏蓋	天井部 ～口縁部	③残高1.85	①灰白色(N7/) 重ね焼き部:灰色(N4/) ②灰白色(N7/)～灰色(N6/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(角閃石・長石など)極少量混ざる	口縁外面重ね焼き痕
266	北区 中央 遺構 検出層	須恵器　坏蓋	天井部 ～口縁部	③残高1.3	①灰白色(N7/)～灰色(N6/) ②灰色(N6/～5/)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石など)やや多く混ざる	
267	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　高台付坏	底部	②(5.8) ③残高2.15	①②灰白色(N7/)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
268	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　高台付坏	底部	②（8.7） ③残高2.1	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	皿か
269	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　高台付坏	底部	②（7.4） ③残高2.2	①②灰白色（N7.5/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	皿か
270	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　高台付坏	底部	②（6.9） ③残高1.8	①灰白色（N7/） ②灰白色（7.5Y7/1）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	皿か
271	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　高台付坏	底部	②（7.8） ③残高1.85	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
272	北区 北西側 遺構 検出層	須恵器　高台付坏	底部	②（8.4） ③残高1.5	①②青灰色（5PB6/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（角閃石など）少量混ざる	皿か
273	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　高台付坏	底部	②（6.6） ③残高1.25	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
274	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　高台付坏	底部	②（6.8） ③残高1.8	①②灰白色（10Y7/1）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
275	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　高台付坏	底部	②（5.8） ③残高1.0	①灰色（N5/）～灰白色（N8/） ②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石・石英など）少量混ざる	
276	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　高台付坏	底部	②（7.1） ③残高1.4	①灰白色（N7/） ②灰白色（5Y7/1）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
277	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　高台付坏	底部	②（7.2） ③残高1.85	①灰白色（N7/）～灰色（5Y5/1） ②灰白色（N7/）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（長石など）極少量混ざる	
278	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.45	①②灰白色（N7/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（角閃石・長石など）	
279	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.8	①青灰色（5PB5/1～6/1） ②明青灰色（5PB7/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
280	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　坏	口縁部	③残高2.7	①黄灰色（2.5Y6/1） 口縁部重ね焼き部：灰白色（N7/） ②灰白色（N7/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	口縁部外面重ね焼き痕
281	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　坏	口縁部	③残高2.6	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
282	北区 中央 遺構 検出層	須恵器　坏	底部	②（11.2） ③残高2.1	①②灰白色（N7/）	密：0.2～2.5㎜φの粗砂粒（くさり礫・長石など）やや多く混ざる	
283	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　坏	底部	③残高1.1	①②灰色（7.5Y6/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）多量に混ざる	
284	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　坏	底部	③残高1.75	①灰白色（N8/） ②灰白色（N7/）	0.5～1㎜φ長石含む	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量(cm) ①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
285	北区 中央 遺構 検出層	須恵器　坏	底部	③残高0.8	①②灰白色(N7/)	密:0.2～0㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	底部外面ヘラ記号
286	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　坏	口縁部	③残高2.6	①灰色(N6/)～灰白色(5Y8/1) ②灰白色(2.5Y7/1)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
287	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　坏	口縁部	③残高2.7	①②明青灰色(5PB7/1)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
288	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　坏	口縁部	③残高2.1	①②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(角閃石など)少量混ざる	
289	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　坏	口縁部	③残高2.7	①②灰白色(N7/) 重ね焼き部:灰色(N6/)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	口縁端部内外面重ね焼き痕
290	北区 中央 遺構 検出層	須恵器　坏	口縁部	③残高2.7	①②灰白色(N7/)	密:0.2～0.3㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
291	北区 中央 遺構 検出層	須恵器　坏	口縁部	③残高2.9	①灰白色(N7/) ②灰白色(N8/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)極少量混ざる	
292	北区 中央 遺構 検出層	須恵器　高台付皿	底部	②(9.0) ③残高1.5	①②灰白色(N7/) 外面重ね焼き部:灰色(5Y6/1)	密:0.2～2㎜φの粗砂粒(長石など)少量混ざる	北区谷埋土1と接合
293	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　高台付皿	底部	②(8.8) ③残高2.05	①青灰色(5PB6/1)～明青灰色(5PB7/1) ②明青灰色(5PB7/1)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
294	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　高台付皿	底部	③残高1.45	①②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	北区包含層1と接合
295	北区 遺構 検出層	須恵器　皿	口縁部	③残高1.4	①②明青灰色(5B7/1)	0.5～1㎜φの長石含む	
296	北区 北西側 遺構 検出層	須恵器　皿	口縁部 ～底部	③0.9	①②灰白色(N7/) 内面剥離面灰:オリーブ黄色(5Y6/3)	密:0.2～3㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	内面剥離面に自然釉被る
297	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　高坏	脚部	③残高3.8	①灰色(10Y6/1)～灰白色(N8/) ②灰白色(N7.5/)	精緻:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざるみ	
298	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　高坏	脚裾部	②(10.4) ③残高2.1	①②灰白色(N7.5/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
299	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　高坏	口縁部	③残高2.5	①②灰白色(N7/)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
300	北区 中央 遺構 検出層	須恵器　高坏	口縁部	③残高2.2	①②灰白色(N8/)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
301	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　壺	体部 ～底部	②(9.0) ③残高7.3	①②明青灰色(5PB7/1)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	北区谷埋土1と接合

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量(cm) ①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
302	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　壺	底部	②(11.7) ③残高3.7	①明青灰色(5PB7/1) ②灰白色(N7.5/)	密:0.2～2㎜φの粗砂粒(長石など)少量混ざる	
303	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　壺蓋	口縁部	③残高1.2	①②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
304	北区 遺構 検出層	須恵器　短頸壺	口縁部	①(9.4) ③残高3.7	①②灰白色(N7/)	1㎜φの長石含む	
305	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　壺	口縁部	③残高2.0	①灰白色(5Y7/1)～灰色(5Y6/1) ②灰白色(N8/)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
306	北区 東側 遺構 検出層	須恵器　甕	口縁部	③残高3.25	①②灰白色(N7/)	0.5～1㎜φ長石含む	
307	北区 東側 遺構 検出層	青磁　碗	体部	③残高1.65	釉:灰オリーブ色(5Y6/3) 素地:灰白色(2.5Y8/1)	精緻	龍泉窯系 劃花文
308	北区 東側 遺構 検出層	白磁　碗	口縁部	③残高3.3	釉:灰白色(5Y7/2) 素地:灰白色(5Y8/1)	精緻	
309	北区 東側 遺構 検出層	土師器　坏	底部	③残高1.2	①②浅黄橙色(10YR8/4)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
310	北区 中央 遺構 検出層	弥生土器　甕	口縁部	③残高2.5	①②明褐色(7.5YR5/6)	やや粗:0.2～3㎜φの粗砂粒(石英・くさり礫など)多量に混ざる	
311	北区 東側 遺構 検出層	土師器　甕	口縁部	③残高2.9	①②橙色(5YR6/6)～にぶい黄橙色(10YR6/3)	密:0.2～5㎜φの砂粒(石英・くさり礫など)少量混ざる	
312	北区 東側 遺構 検出層	土師器　甕	口縁部	③残高1.8	①②浅黄橙色(10YR8/3)	やや粗:0.2～1㎜φの砂粒(長石・石英など)多量に混ざる石英など)やや多く混ざる	
313	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	天井部 ～口縁部	①(12.8) ③1.7	①②灰白色(N7/)	密:0.1～1.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	北区谷埋土1と接合
314	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	①(11.8) ③残高0.8	①②灰白色(N7/)	精緻	
315	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.0	①灰白色(5Y8/1)～(N7/) ②灰白色(5Y8/1)	密:0.1～2.5㎜φの粗砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
316	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.6	①②灰白色(N7/)	密:0.2～2㎜φの粗砂粒(くさり礫・長石など)やや多く混ざる)	北区遺構検出層と接合
317	北区 中央 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	①(10.4) ③残高1.4	①②灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)やや多く混ざる	
318	北区 中央 包含層2	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.3	①灰白色(10Y7/1) ②灰色(10Y6/1)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石など)多く混ざる	
319	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	天井部 ～口縁部	③残高2.15	①②灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(角閃石・長石など)少量混ざる	
320	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	天井部	③残高0.85	①灰白色(N7/) 重ね焼き部:灰白色(N8/) ②灰白色(N8/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
321	北区 中央 包含層2	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.2	①灰白色(N7/) ②灰白色(2.5Y7/1)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量(cm) ①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
322	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	天井部	③残高0.85	①②灰白色(N7/)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒少量ままある	
323	北区 中央部 包含層2	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.2	①青灰色(5PB5/1) ②灰色(N6/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
324	北区 中央 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高0.95	①②灰白色(N7/)	密:0.2～2㎜φの粗砂粒(長石など)少量混ざる	
325	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.3	①②灰白色(N8/)～灰色(N4/)	精緻	
326	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.55	①②灰白色(N7/)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
327	北区 東側 包含層	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.65	①②灰白色(N7/)	密:0.1～1.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
328	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.9	①灰白色(N7/) 灰:浅黄色(5Y7/3) ②灰色(N6/)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	外面灰被る
329	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.3	①②灰白色(N7/)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
330	北区 西側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.6	①②灰色(N6/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
331	北区 中央 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.4	①②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
332	北区 拡張 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高0.95	①②灰白色(N7/)	0.5～2㎜φの長石含む	
333	北区 中央 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.5	①②灰白色(N7/)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
334	北区 中央 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高0.9	①②灰色(N6/) 外面灰:灰白色(5Y7/2)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	外面灰被る
335	北区 中央 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.2	①②灰白色(N7/)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石・角閃石など)極少量混ざる	
336	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.5	①②青灰色(5PB6/1)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)やや多く混ざる	
337	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.25	①明青灰色(5PB7/1) ②青灰色(5PB6/1)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)やや多く混ざる	
338	北区 中央 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.8	①②灰色(N6/)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
339	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.3	①灰白色(5Y7/1) ②灰白色(N7/)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
340	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.4	①灰白色(N7/)～灰色(5Y7/1) ②灰白色(N7/)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
341	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.6	①②灰色(N6/)	密:0.1～1.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
342	北区 中央 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.4	①②明青灰色(5PB7/1)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
343	北区 中央 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.2	①灰白色(N8/) ②青灰色(5PB6/1) 重ね焼き部:灰白色(N8/)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	口縁部内面重ね焼き痕
344	北区 中央 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.5	①②灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
345	北区 西側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.15	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
346	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.1	①灰白色（N7/） 端部：灰色（N5/） ②灰色（N6/）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
347	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.1	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
348	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	天井部～口縁部	③残高1.7	①②灰白色（N7/） 外面灰：灰白色（N8/）～（5Y7/2）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
349	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.4	①②灰白色（N8/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
350	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高0.9	①②灰色（N6/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
351	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.55	①②灰白色（N7/） 外面灰：灰オリーブ色（5Y6/2）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	外面灰被る
352	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	天井部～口縁部	③残高1.4	①②明青灰色（5PB7/1）	密：0.2～5㎜φの粗砂粒（長石など）少量混ざる	
353	北区 北側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.1	①灰白色（N7/） ②灰白色（N8/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）極少量混ざる	
354	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.6	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）極少量混ざる	
355	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.3	①灰白色（N7/） 灰：浅黄色（5Y7/3） ②明青灰色（5PB7/1）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
356	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.5	①灰色（N6/）～灰白色（N7/） ②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	皿の可能性もあり
357	北区 西側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.0	①灰白色（N7/） ②灰色（N6/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
358	北区 中央 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.4	①暗灰色（N4/） ②灰白色（N7/） 内面から口縁部の灰：オリーブ灰色（2.5GY5/1）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	内面と口縁部内外面に灰被る
359	北区 中央 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.5	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（角閃石・長石など）極少量混ざる	
360	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.55	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
361	北区 東西アゼ 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.2	①②灰白色（N7/）	0.5～1㎜φの長石含む	
362	北区 中央 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.5	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
363	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.5	①灰色（7.5Y6/1） ②灰白色（5Y7/1）～灰色（N6/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
364	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.5	①②灰色（N6/）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石など）多く混ざる	
365	北区 中央 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.4	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
366	北区 東側 包含層2	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高0.85	①明青灰色（5PB7/1） 灰：灰白色（5Y7/2） ②青灰色（5PB6/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（角閃石など）やや多く混ざる	外面灰被る
367	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	②（9.4） ③残存2.2	①灰白色（N7/） ②灰色（N6/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石・石英など）少量混ざる	皿か・北区谷埋土2と接合

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量(cm) ①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
368	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	②(8.4) ③残高2.35	①②灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	皿か
369	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	②(8.2) ③残高2.55	①②灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
370	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	②(9.6) ③残高1.6	①②灰白色(N7/)	精緻	
371	北区 中央 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	②(7.6) ③残高1.75	①②灰白色(N7/)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
372	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.7	①②灰白色(N7/)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
373	北区 西側 包含層2	須恵器　高台	高台部	②(7.4) ③残高1.6	①②灰白色(N7/) 外面灰:灰白色(5Y8/1)～灰オリーブ色(5Y5/2)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石・角閃石など)極少量混ざる	外面灰被る
374	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	②(10.4) ③残高1.6	①②灰白色(N7/)	密:0.1～2.5㎜φの粗砂粒(長石など)少量混ざる	
375	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	②(8.0) ③残高1.4	①②灰色(N6/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)やや多く混ざる	
376	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	②(11.2) ③残高1.45	①②灰色(N6/)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石など)多く混ざる	
377	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	②(7.9) ③残高1.3	①灰白色(N7/) ②灰色(N6/)	密:0.1～1.5㎜φの砂粒(長石など)やや多く混ざる	
378	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	②(7.7) ③残高1.4	①②明青灰色(5PB7/1)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
379	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	②(7.8) ③残高1.65	①②灰白色(N7/)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
380	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	②(8.6) ③残高1.4	①灰白色(10YR8/1) ②灰白色(N8/～7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)極少量混ざる	
381	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	②(5.8) ③残高1.1	①②灰色(N6/)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石など)やや多く混ざる	
382	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	②(6.4) ③残高1.55	①灰色(N5/～6/) ②灰色(N6/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
383	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	②(7.3) ③残高1.3	①②青灰色(5PB6/1)	密:0.1～1.5㎜φの砂粒(長石・角閃石など)多く混ざる	
384	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	②(8.2) ③残高1.2	①②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
385	北区 北側 包含層2	須恵器　高台付坏	体部 ～底部	②(10.0) ③残高2.8	①②灰白色(N7/)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
386	北区 中央 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	②(7.8) ③残高3.0	①②灰白色(N7/)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
387	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	③残高2.2	①灰白色(N8/～7/) ②灰白色(N8/)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
388	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.2	①②灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
389	北区 中央 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.4	①灰色(N6/) ②灰白色(N7/)	密:0.1～1.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
390	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.55	①②灰色(N6/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)多く混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
391	北区 拡張 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.9	①②明青灰色（5PB7/1）	0.3～1㎜φの長石含む	
392	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.65	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
393	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.35	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
394	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.35	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
395	北区 中央 包含層2	須恵器　坏	底部	②（6.8） ③残高1.5	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
396	北区 中央 包含層2	須恵器　坏	底部	②（6.8） ③残高1.35	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
397	北区 中央 包含層2	須恵器　坏	底部	②（6.2） ③残高0.95	①灰白色（2.5Y7/1） ②灰白色（N7/）N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
398	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	口縁部～底部	①（13.0） ②（11.0） ③3.8	①②灰白色（N7/） 外面底部重ね焼き部：灰白色（2.5Y8/1）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	底部外面重ね焼き痕
399	北区 東南壁面 包含層2	須恵器　坏	底部	②（11.6） ③残高1.5	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
400	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	底部	②（6.6） ③残高1.85	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
401	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	底部	②（7.0） ③残高0.9	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
402	北区 北側 包含層2	須恵器　坏	底部	②（8.2） ③残高1.3	①明青灰色（5PB7/1）～灰色（5Y6/1） ②明青灰色（5PB7/1）	密：0.2～3㎜φの粗砂粒（石英・長石など）少量混ざる	
403	北区 西側 包含層2	須恵器　坏	底部	②（6.2） ③残高2.9	①②灰白色（7.5Y7/1）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
404	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	底部	③残高3.8	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
405	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	底部	③残高1.4	①②灰白色（2.5Y7/1）	密：0.1～0.2㎜φの砂粒（長石など）多く混ざる	
406	北区 西側 包含層2	須恵器　坏	口縁部	①（12.7） ③残高2.1	①青灰色（5PB6/1） ②明青灰色（5PB7/1）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
407	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	口縁部～体部	①（12.4） ③残高2.75	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（角閃石・長石など）少量混ざる	
408	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高2.6	①灰白色（N7/） 灰色（7.5Y4/1） ②灰白色（N7/）	密：0.1～2㎜φの粗砂粒（長石など）少量混ざる	
409	北区 中央 包含層2	須恵器　坏	口縁部	①（7.6） ③残高2.0	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
410	北区 中央 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高3.1	①②灰白色（N7/） 外面灰：灰オリーブ色（7.5Y5/2）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
411	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高2.7	①②灰白色（N7/）	精緻	
412	北区 北側 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高2.2	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（角閃石など）極少量混ざる	
413	北区 中央 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高2.6	①灰色（N5/） ②灰色（N6/）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
414	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高2.6	①②灰白色（N7/） 外面重ね焼き部：灰色（N6/）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
415	北区 中央 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高1.8	①明青灰色（5PB7/1） 灰：浅黄色（5Y7/3） ②青灰色（5PB6/1）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	外面灰被る
416	北区 中央 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高3.0	①②灰色（N6/）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石・石英など）少量混ざる	
417	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高3.3	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
418	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高2.2	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
419	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高2.7	①②灰白色（5Y7/1）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
420	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高3.5	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
421	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高2.35	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
422	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高1.6	①②灰白色（N8/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
423	北区 南西側 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高2.3	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
424	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高2.6	①灰白色（N7/） ②灰白色（N8/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
425	北区 中央 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高2.7	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
426	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高2.7	①青灰色（5PB6/1） ②明青灰色（5PB7/1）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（角閃石・長石など）極少量混ざる	
427	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高2.4	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
428	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高2.7	①灰白色（N7/） ②灰白色（N8/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
429	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高2.2	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
430	北区 中央 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高3.0	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
431	北区 東側 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高1.6	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
432	北区 中央 包含層2	須恵器　坏	口縁部	③残高4.05	①灰白色（N7/） ②明青灰色（5PB7/1）	密：0.1～1㎜φの砂粒（角閃石など）少量混ざる	
433	北区 中央 包含層2	須恵器　高台付皿	底部	②（10.1） ③残高1.65	①②灰白色（7.5Y7/1）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
434	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付皿	底部	②（10.8） ③残高2.05	①②灰白色（N7/）	精緻	
435	北区 西側 包含層2	須恵器　高台付皿	底部	②（8.4） ③残高3.3	①②灰白色（N7/） 高台外面灰：灰白色（2.5Y8/1）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	高台灰被る
436	北区 西側 包含層2	須恵器　高台付皿	底部	②（7.0） ③残高2.2	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
437	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付皿	底部	②（7.2） ③残高1.4	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（角閃石など）極少量混ざる	
438	北区 西側 包含層2	須恵器　皿	底部	②（5.2） ③残高0.9	①②灰白色（N7/）	精緻	
439	北区 西側 包含層2	須恵器　高台付皿か	高台部	②（10.0） ③残存1.7	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
440	北区 東側 包含層2	須恵器　高台付皿か	底部	③残高0.75	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	外面ヘラ記号
441	北区 東側 包含層2	須恵器　皿蓋	口縁部	③残高3.2	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
442	北区 東側 包含層2	須恵器　皿蓋	口縁部	③残高1.9	①灰白色（N7/） ②灰白色（N8/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒極少量混ざる	
443	北区 東側 包含層2	須恵器　高坏	坏部～脚部	③残高6.5	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
444	北区 東側 包含層2	須恵器　高坏	坏部～脚部	③残高5.45	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/） 灰：灰白色（2.5Y7/1）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	坏部内面灰被る 北区遺構検出層と接合
445	北区 東側 包含層2	須恵器　高坏	坏部～脚部	③残高5.65	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
446	北区 東側 包含層2	須恵器　高坏	坏底部～脚部	③残高6.05	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
447	北区 東側 包含層2	須恵器　高坏	脚部	②（9.5） ③残高2.9	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
448	北区 東側 包含層2	須恵器　高坏	脚部	③残高1.75	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
449	北区 東側 包含層2	須恵器　高坏	脚裾部	②（9.2） ③残高1.15	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
450	北区 中央 包含層2	須恵器　高坏	脚裾部	②（8.8） ③残高0.9	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
451	北区 東側 包含層2	須恵器　高坏	脚裾部	②（8.4） ③残高1.0	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
452	北区 中央 包含層2	須恵器　高坏	脚裾部	②（8.2） ③残高0.8	①②灰白色（N7/）～灰色（N6/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
453	北区 東側 包含層2	須恵器　高坏	坏底部	③残高1.45	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
454	北区 東側 包含層2	須恵器　高坏	坏部	③残高1.7	①灰黄色（2.5Y7/2） ②灰白色（N8/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（角閃石・長石など）極少量混ざる	
455	北区 東側 包含層2	須恵器　高坏	坏底部	③残高1.3	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
456	北区 東側 包含層2	須恵器　高坏	口縁部	③残高2.9	①黄灰色（2.5Y6/1） 重ね焼き部：灰白色（N7/） ②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）極少量混ざる	口縁部外面重ね焼き痕
457	北区 中央 包含層2	須恵器　高坏	口縁部	③残高3.2	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
458	北区 東側 包含層2	須恵器　高坏	口縁部	③残高1.8	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石）極少量混ざる	
459	北区 中央 包含層2	須恵器　高坏	口縁部	③残高2.1	①灰白色（N7/～8/） ②灰白色（N8/）	精緻	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
460	北区 東側 包含層2	須恵器　高坏	口縁部	③残高2.1	①②灰白色（N8/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
461	北区 東側 包含層2	須恵器　高坏	口縁部	③残高2.4	①暗灰色（N3/）～灰白色（N7/） ②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
462	北区 中央 包含層2	須恵器　高坏	口縁部	③残高2.25	①②明青灰色（5PB7/1）	精緻	
463	北区 中央 包含層2	須恵器　不明脚部	高台部	③残高1.9	①灰白色（N7/）～灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
464	北区 東西アゼ 包含層2	須恵器　長頸壺	肩部	③残高3.5	①②灰白色（N7/）	0.5～2㎜φの長石含む	北区SD1・北区包含層1・北区谷埋土1と接合
465	北区 東側 包含層2	須恵器　長頸壺	体部	③残高5.6	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
466	北区 中央 包含層2	須恵器　壺	口縁部	③残高1.8	①②灰白色（N7/）	精緻	
467	北区 東側 包含層2	須恵器　長頸壺	口縁部	①（13.4） ③残高7.8	①灰白色（5Y8/1） ②灰白色（N8/）	やや粗：0.2～3㎜φの粗砂粒（長石など）少量混ざる	
468	北区 東側 包含層2	須恵器　長頸壺	頸部	③残高3.7	①②灰白色（N8/）	1～3㎜φの長石含む	
469	北区 中央 包含層2	須恵器　壺	底部	②（11.2） ③残高3.2	①②灰白色（N8/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（角閃石・長石など）少量混ざる	
470	北区 東側 包含層2	須恵器　壺	底部	②（10.2） ③残高3.7	①明青灰色（5PB7/1） ②灰白色（N7/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（角閃石など）少量混ざる	
471	北区 北側 包含層2	須恵器　壺	底部	③残高3.1	①②灰白色（N7/）	密：0.2～3㎜φの粗砂粒（長石など）やや多く混ざる	北区谷埋土1・北区谷埋土2と接合
472	北区 東側 包含層2	須恵器　壺	体部～底部	②（11.5） ③残高4.8	①体部：にぶい橙色（7.5YR7/3） 底部：にぶい黄橙色（10YR7/2） ②にぶい橙色（5YR6/3）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	焼成不良
473	北区 東側 包含層2	須恵器　平瓶	頸部～肩部	③残高4.5	①②灰白色（N8/～7/） 外面自然釉：暗オリーブ灰色（5GY4/1）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石・角閃石など）極少量混ざる	肩部に窯体溶着 北区谷埋土1と接合
474	北区 西側 包含層2	須恵器　長頸壺か	口縁部	③残高3.0	①②灰白色（N7/） 内面灰：浅黄色（2.5Y7/3）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	内面灰被る
475	北区 東側 包含層2	須恵器　ハソウ	口縁部	③残高2.4	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
476	北区 東側 包含層2	須恵器　甕	口縁部	③残高4.8	①灰白色（N7/）～灰色（N6/） ②灰白色（N8/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（角閃石・長石など）少量混ざる	外面ヘラ記号か
477	北区 東側 包含層2	須恵器　甕	口縁部	③残高7.0	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（角閃石など）少量混ざる	
478	北区 西側 包含層2	須恵器　甕	口縁部	③残高5.35	①②灰白色（N8/）	0.5～1㎜φの長石含む	
479	北区 東側 包含層2	須恵器　甕	口縁部	③残高4.4	①灰色（7.5Y5/1）～灰白色（N7/） ②灰白色（N7/） 灰：オリーブ黄色（5Y6/3）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（角閃石など）極少量混ざる	内面灰被る
480	北区 中央 包含層2	須恵器　甕	口縁部	③残高2.2	①灰白色（N7/） ②灰白色（N8/）	やや粗：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石・角閃石など）極少量混ざる	口縁端部灰被る

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面 ②内面	胎土	備考
481	北区 西側 包含層2	須恵器 横瓶	腹部	③残高2.1	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
482	北区 東側 包含層2	須恵器 甕	肩部	③残高3.0	①灰白色（N8/） ②灰白色（N7/）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（長石など）少量混ざる	
483	北区 東側 包含層2	須恵器 甑か	口縁部	③残高4.75	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
484	北区 東側 包含層2	須恵器 器台	脚部	③残高9.0	①灰色（7.5Y6/1） ②灰白色（N8/）	0.1～0.3㎜φの砂粒含む	
485	北区 中央 包含層2	土師器 坏	口縁部	③残高2.3	①②黄灰色（2.5Y6/1）	やや粗：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）多く混ざる	
486	北区 西側 包含層2	土師器 坏	口縁部	③残高2.5	①灰白色（2.5Y8/2） ②灰白色（2.5Y8/1）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
487	北区 東側 包含層2	土師器 坏	底部	③残高1.65	①灰白色（2.5Y8/1）～灰色（N5/） ②灰白色（2.5Y8/1）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
488	北区 東西アゼ 包含層2	土師器 坏	底部	③残高1.45	①橙色（7.5YR6/6） ②褐灰色（10YR4/1）	0.1～0.3㎜φの砂粒含む	底部糸切り痕
489	北区 中央 包含層2	土師器 坏	底部	②（7.8） ③残高1.2	①灰白色（2.5Y8/1） ②灰白色（2.5Y8/2）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
490	北区 北側 包含層2	土師器 埦	底部	③残高1.9	①灰白色（2.5Y8/1～8/2） ②灰白色（2.5Y7/1）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
491	北区 東側 包含層2	土師器 埦	底部	③残高1.25	①灰白色（5Y8/1） ②淡黄色（2.5Y8/3）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石・石英など）少量混ざる	
492	北区 東側 包含層2	土師器 埦	底部	③残高1.5	①淡黄色（2.5Y8/4） ②灰白色（2.5Y8/1）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
493	北区 東側 包含層2	土師器 埦	底部	③残高1.5	①灰白色（5Y7/2） ②浅黄色（2.5Y8/3）	密：0.1～0.2㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
494	北区 中央 包含層2	土師器 甕	口縁部	③残高3.75	①浅黄橙色（10YR8/3） ②灰白色（2.5Y8/2）	やや粗：0.2～3㎜φの粗砂粒（石英など）多く混ざる	
495	北区 東側 包含層2	土師器 甕	口縁部	③残高3.5	①にぶい橙色（7.5YR6/4） ②灰褐色（7.5YR4/2）～煤：黒色（7.5YR2/1）	やや粗：0.2～2㎜φの粗砂粒（長石・石英など）多量に混ざる	
496	北区 中央 包含層2	土師器 甕	口縁部	③残高2.4	①橙色（2.5Y6/6） ②にぶい橙色（7.5YR7/3）～灰黄褐色（10YR6/2）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
497	北区 東側 包含層2	土師器 甕	口縁部	③残高1.7	①②浅黄色（2.5Y7/4）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（長石・石英など）やや多く混ざる	
498	北区 東側 包含層2	土師器 甕	口縁部	③残高2.9	①灰色（5Y6/1） ②灰白色（5Y8/1～7/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）極少量混ざる	
499	北区 中央 包含層2	土師器 甕	口縁部	③残高2.85	①明黄褐色（10YR7/8） ②浅黄色（2.5Y8/6）	密：0.1～2㎜φの粗砂粒（石英など）少量混ざる	
500	北区 南西側 包含層1 包含層2	須恵器 坏蓋	天井部	③残高0.85	①青灰色（5PB6/1） ②明青灰色（5PB7/1）	密：0.2～3㎜φの粗砂粒（長石など）少量混ざる	
501	北区 南西側 包含層1 包含層2	須恵器 坏蓋	天井部	③残高1.7	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（角閃石など）極少量混ざる	輪状つまみ
502	北区 南西側 包含層1 包含層2	須恵器 壺か	口縁部	③残高2.2	①②灰白色（N7/） 灰：灰オリーブ色（5Y5/2）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	内外面灰被る

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
503	北区 南西側 包含層1 包含層2	須恵器　高坏	坏底部	③残高2.5	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
504	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.1	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
505	北区 南西側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部 ～口縁部	①（14.6） ③2.6	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	北区包含層2と接合
506	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.05	①灰白色（2.5Y8/1～7/1） ②灰黄色（2.5Y6/2）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
507	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部 ～口縁部	①（13.9） ③残高1.6	①②灰白色（N7/） 外面灰：灰オリーブ色（5Y6/2）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	外面灰被る
508	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.9	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
509	北区 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部	③残高0.9	①灰白色（N7/） 灰：灰オリーブ色（5Y6/2） ②青灰色（5PB6/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	外面灰被る 内面ヘラ記号
510	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部 ～口縁部	③残高1.2	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）極少量混ざる	
511	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部 ～口縁部	③残高0.9	①②灰白色（N7/） 外面灰：灰白色（7.5Y7/2）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（長石など）やや多く混ざる	外面灰被る
512	北区 南西側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.1	①灰白色（N7/） ②灰白色（N8/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（角閃石・長石など）少量混ざる	
513	北区 西側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.25	①②明青灰色（5PB7/1）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
514	北区 西側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.1	①青灰色（5PB6/1） ②明青灰色（5PB7/1）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（長石など）少量混ざる	
515	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	撮部	③残高1.8	①灰色（N4/） 灰：灰オリーブ色（7.5Y6/2） ②灰色（N6/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	撮部上面灰被る
516	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.25	①②灰白色（N7/） 外面灰：浅黄色（2.5Y7/3）～オリーブ黄色（5Y6/3）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	外面灰被る
517	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.05	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
518	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.0	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
519	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.0	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
520	北区 中央 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.05	①②灰色（N6/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
521	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部	③残高0.7	①灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（角閃石など）極少量混ざる	
522	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.25	①②灰白色（N7/） 外面灰：浅黄色（2.5Y7/3）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	外面灰被る
523	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	撮部	③残高0.95	①灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
524	北区 拡張 包含層1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.35	①②灰白色（N7/）	1㎜φの長石含む	
525	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高0.9	①②灰白色（N7/） 外面灰：灰オリーブ色（7.5Y6/2）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（角閃石など）極少量混ざる	外面灰被る

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面 ②内面	胎土	備考
526	北区 南側 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高0.9	①②灰白色（N7/） 外面灰：にぶい黄色（2.5Y6/3）	密：0.1～0.2㎜φの砂粒（長石）極少量混ざる	外面灰被る
527	北区 中央 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高0.8	①②灰白色（N7/～8/）	精緻	
528	北区 南側 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.1	①灰白色（2.5Y5/1） 灰：浅黄色（2.5Y7/3） ②灰白色（N7/）	密：0.1～0.2㎜φの砂粒（長石・角閃石など）極少量混ざる	外面灰被る
529	北区 西側 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.05	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
530	北区 東側 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高0.9	①灰白色（N7/） ②灰白色（N8/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
531	北区 西側 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高0.9	①②灰白色（N7/）	密：0.1～2㎜φの粗砂粒（長石・くさり礫など）極少量混ざる	
532	北区 東側 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.5	①②明青灰色（5PB7/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）多量に混ざる	
533	北区 中央 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.35	①②青灰色（5PB6/1） 外面灰：明オリーブ灰色（2.5GY7/1） 内面重ね焼き部：灰白色（2.5Y7/1）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	外面灰被る 内面重ね焼き痕
534	北区 南側 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.2	①灰白色（N7/） ②灰白色（N7/） 重ね焼き部：灰白色（2.5Y7/1）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	口縁部内面重ね焼き痕
535	北区 中央 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.15	①②灰白色（N7/） 重ね焼き部：灰色（5Y5/1） 灰：灰オリーブ色（7.5Y5/2）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	口縁端部内外面重ね焼き痕
536	北区 南側 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.6	①②明青灰色（5PB7/1）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
537	北区 東側 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.15	①②灰白色（N8/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
538	北区 東側 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.2	①②灰白色（N7/）	密：0.1～2㎜φの粗砂粒（長石など）少量混ざる	
539	北区 西側 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.2	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/）～灰色（N6/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる）	
540	北区 東側 包含層1	須恵器 坏蓋	天井部～口縁部	③残高1.9	①灰色（N6/）～灰白色（N7/） ②灰白色（5Y7/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（角閃石・長石など）少量混ざる	
541	北区 東側 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.25	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
542	北区 中央 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.2	①灰白色（N7/） ②灰色（N6/）	密：0.1～0.2㎜φの砂粒（長石）少量混ざる	
543	北区 東側 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.0	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石・角閃石）少量混ざる極少量混ざる	
544	北区 東側 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.1	①②灰白色（N8/）	密：0.1～0.2㎜φの砂粒（長石・角閃石）極少々混ざる	
545	北区 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.1	①②灰色（N6/）	密：0.2～05㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
546	北区 南西側 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高0.9	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
547	北区 東側 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁部	③残高1.1	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
548	北区 西側 包含層1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.3	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
549	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部～口縁部	③残高1.05	①②灰白色（N7/）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（長石など）やや多く混ざる	
550	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.3	①②明青灰色（5PB7/1） 外面灰：にぶい黄色（2.5Y6/3）	密：0.1～0.2㎜φの砂粒（長石・角閃石）極少々混ざる	外面灰被る
551	北区 南西側 包含層1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.0	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
552	北区 西側 包含層1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.1	①灰白色（N8/） 灰：浅黄色（2.5Y7/4） ②灰白色（N7/）	精緻	外面灰被る 壺蓋か
553	北区 西側 包含層1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.1	①②灰色（N6/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
554	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部～口縁部	③残高1.6	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
555	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.4	①青灰色（5PB6/1） ②明青灰色（5PB7/1）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（長石など）やや多く混ざる	
556	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.1	①②灰白色（N7/）	密：0.1～2㎜φの粗砂粒（長石など）やや多く混ざる	
557	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	天井部～口縁部	③残高1.05	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）極少量混ざる	
558	北区 西側 包含層1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.05	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
559	北区 西側 包含層1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.6	①灰白色（N8/） 灰：浅黄色（2.5Y7/3） ②灰色（N5/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	外面灰被る
560	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.1	①②明青灰色（5PB7/1） 外面灰：にぶい黄色（2.5Y6/3）	密：0.1～0.2㎜φ砂粒（角閃石など）極少量まざる	
561	北区 東側 包含層1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.4	①灰色（N6/） ②灰色（N5/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
562	北区 中央 包含層1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高0.95	①青灰色（5PB6/1） ②青灰色（5PB6/1）～明青灰色（5PB7/1）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石・角閃石など）極少量混ざる	
563	北区 南西側 包含層1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高0.5	①②灰白色（N7/）	密：0.1～2.5㎜φの粗砂粒（長石・石英など）極少量混ざる	
564	北区 中央 包含層1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高0.8	①②灰白色（N7/） 灰：浅黄色（5Y7/3）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	内外面灰被る
565	北区 中央 包含層1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.2	①灰白色（N7/）～灰色（N5/） ②灰白色（N7/） 灰：オリーブ黄色（5Y6/3）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	外面重ね焼き痕 内面灰被る
566	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②（7.6） ③残高2.7	①灰色（N5/）～灰白色（N7/） ②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
567	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②（6.3） ③残高3.2	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（角閃石・長石など）極少量混ざる	
568	北区 南側 包含層1	須恵器　高台付坏	高台部	②（9.4） ③残高1.3	①灰白色（2.5Y8/1～7/1） ②灰白色（2.5Y7/1）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
569	北区 北側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②（8.2） ③残高1.3	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	皿か
570	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②（8.0） ③残高2.25	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
571	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(9.0) ③残高1.6	①灰白色(10Y8/1) ②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)やや多く混ざる	
572	北区 西側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(7.1) ③残高1.15	①②灰白色(N7/)	密:0.2～2㎜φの粗砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
573	北区 北側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(8.6) ③残高1.25	①灰色(N6/)～灰白色(N7/) ②灰白色(N7/)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
574	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(9.4) ③残高1.75	①灰色(N6/) ②灰白色(N7/)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
575	北区 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(9.0) ③残高1.7	①②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(角閃石など)少量混ざる	
576	北区 南西側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(7.8) ③残高1.35	①②灰白色(N7/)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(角閃石など)少量混ざる	
577	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(9.4) ③残高1.8	①灰白色(N7/) ②青灰色(5PB6/1)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
578	北区 拡張 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(10.0) ③残高1.65	①青灰色(5B6/1) ②明青灰色(5B7/1)	0.5～1㎜φ長石含む	
579	北区 西側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(7.2) ③残高1.05	①②灰白色(N8/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)やや多く混ざる	
580	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(6.6) ③残高1.6	①灰白色(2.5Y7/1)～灰黄色(2.5Y7/2) ②灰色(N6/)	密:0.1～2㎜φの粗砂粒(長石・石英など)やや多く混じる	
581	北区 中央 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(9.4) ③残高1.3	①青灰色(5PB6/1) ②明青灰色(5PB7/1)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
582	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(5.8) ③残高1.7	①②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの粗砂粒(長石など)やや多く混じる	
583	北区 中央 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(8.2) ③残高2.1	①②灰白色(N7/)	密:0.2～2㎜φの粗砂粒(長石・角閃石など)やや多く混ざる	
584	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(6.8) ③残高1.9	①灰色(N6/) 灰白色(N7/)～浅黄色(2.5Y7/3) ②灰色(N6/) 重ね焼き部:灰色(10Y6/1)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	内面見込み重ね焼き痕 底部外面板圧痕
585	北区 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(8.6) ③残高1.8	①②青灰色(5PB5/1)	密:0.2～2㎜φの粗砂粒(長石など)多く混ざる	
586	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(8.8) ③残高1.25	①②灰色(N5/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(角閃石など)少量混ざる	
587	北区 中央 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(6.7) ③残高1.9	①灰白色(N7/)～灰色(N6/) ②灰白色(N7/)	密:0.2～3㎜φの粗砂粒(長石など)多く混ざる	
588	北区 中央 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(6.4) ③残高1.75	①②灰白色(N7/) 外面灰:オリーブ灰色(5GY5/1)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(角閃石など)少量混ざる	外面灰被る
589	北区 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	②(7.0) ③残高1.1	①②灰白色(5Y7/1)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石)少量混ざる	
590	北区 西側 包含層1	須恵器　高台付坏か	高台部	②(4.8) ③残高1.0	①②灰白色(N8/)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石・角閃石など)極少量混ざる	
591	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏か	高台部	②(7.2) ③残高0.9	①②灰白色	精緻	
592	北区 西側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.7	①②灰白色(N7/)	精緻	
593	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.4	①青灰色(5PB5/1) ②青灰色(5PB6/1)	密:0.2～2㎜φの粗砂粒(長石など)やや多く混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量(cm) ①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
594	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.7	①②灰色(N6/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)やや多く混ざる	
595	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.6	①②青灰色(5PB6/1)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石など)やや多く混ざる	
596	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.4	①②灰白色(N7/)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石)少量混ざる	
597	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.5	①灰白色(N7/) ②灰白色(N7/)～(2.5Y8/1)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
598	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.05	①灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
599	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.2	①灰色(N6/) ②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	底部外面ヘラ記号
600	北区 東西アゼ 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.4	①青灰色(5B6/1) ②灰色(N6/)	0.5～1㎜φの長石含む	
601	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.25	①②明青灰色(5PB7/1	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
602	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.1	①②灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
603	北区 西側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.3	①②灰白色(N7/) 外面灰:オリーブ灰色(5GY6/1)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	外面灰被る
604	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.9	①灰色(N6/) ②灰白色(N7/)	密:0.1～1.5㎜φの砂粒(角閃石・長石など)少量混ざる	
605	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.5	①青灰色(5PB5/1) ②青灰色(5PB6/1)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)やや多く混ざる	
606	北区 北側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.8	①灰色(N6/)～灰白色(N7/) ②灰白色(N7/)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石・角閃石など)極少量混ざる	
607	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.5	①②灰色(N6/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石・石英など)多く混ざる	
608	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.5	①②灰色(N6/)	密:0.2～4㎜φの粗砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
609	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.85	①灰色(N6/) ②灰白色(N7/)	密:0.2～1.5㎜φの粗砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
610	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.25	①②明青灰色(5PB7/1)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
611	北区 中央 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.95	①灰色(N6/)～灰白色(N7/) ②灰色(N6/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)やや多く混ざる	
612	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.5	①②明青灰色(5PB7/1)	密:0.2～1㎜φの砂粒(角閃石・長石など)やや多く混ざる	
613	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.2	①灰色(N6/)～灰白色(N7/) ②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
614	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.3	①灰白色(N7/) ②灰白色(N8/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)やや多く混ざる	
615	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.1	①灰色(N4/) ②灰色(N5/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
616	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高0.9	①②青灰色(5PB6/1)	密:0.1～0.2㎜φの砂粒(長石)極少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量(cm) ①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
617	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.2	①②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
618	北区 東側 包含層1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.3	①②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)やや多く混ざる	
619	北区 南西側 包含層1	須恵器　坏	底部	②(5.5) ③残高1.4	①②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
620	北区 南西側 包含層1	須恵器　坏	底部	②(6.0) ③残高1.3	①②灰白色(5Y8/1)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石・石英など)少量混ざる	
621	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	底部	②(6.2) ③残高1.45	①灰白色(5Y8/1) ②灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
622	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	底部	②(5.7) ③残高1.45	①②灰白色(2.5Y7/1)	密:0.2～1㎜φの砂粒(角閃石など)少量混ざる	
623	北区 中央 包含層1	須恵器　坏	底部	②(4.2) ③残高1.65	①②灰白色(5Y7/1)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)やや多く混ざる	底部外面板目圧痕
624	北区 中央 包含層1	須恵器　坏	底部	②(7.2) ③残高1.15	①灰色(N5/～6/) ②灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	底部外面ヘラ切り未調整
625	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	底部	②(9.2) ③残高0.8	①②灰色(N6/)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石・雲母など)少量混ざる	底部に高台を剥いだ痕跡
626	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	底部	②(7.3) ③残高0.95	①②灰白色(N8/)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石・角閃石)少量混ざる	
627	北区 東西アゼ 包含層1	須恵器　坏	底部	②(9.0) ③残高0.85	①②灰白色(N7/)	0.5～3㎜φの長石含む	
628	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	底部	②(10.0) ③残高1.0	①灰白色(N7/) ②明青灰色(5PB7/1)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
629	北区 西側 包含層1	須恵器　坏	口縁部 ～底部	①(11.9) ②(8.8) ③3.1	①②灰白色(N7/) 外面重ね焼き部:灰白色(N8/)　灰色(N5/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石・角閃石)少量混ざる	口縁部外面重ね焼き痕
630	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	底部	②(9.6) ③残高1.3	①②灰白色(N7/)	密:0.1～2㎜φの粗砂粒(角閃石・チャートなど)少量混ざる	No.651と同一個体の可能性あり
631	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	底部	②(7.7) ③残高2.0	①②灰白色(5Y7/1)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
632	北区 西側 包含層1	須恵器　坏	底部	②(7.7) ③残高1.2	①②灰色(5Y6/1)	密:0.2～2㎜φの粗砂粒(くさり礫など)やや多く混ざる	
633	北区 中央 包含層1	須恵器　坏	底部	③残高2.0	①②灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(角閃石・長石など)多く混ざる	
634	北区 西側 包含層1	須恵器　坏	底部	③残高1.1	①②灰白色(N8/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石・石英など)少量混ざる	
635	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	①(13.1) ③残高1.6	①灰色(N6/～5/) ②青灰色(5PB6/1)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
636	北区 包含層1	須恵器　坏	口縁部	①(10.8) ③残高2.0	①灰色(N5/) ②灰色(N6/)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
637	北区 南西側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.6	①灰色(N6/) 重ね焼き部:灰白色(N7/) ②灰白色(N7/)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石・角閃石など)極少量混ざる	
638	北区 中央 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.5	①②灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
639	北区 中央 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.5	①②明青灰色(5PB7/1)	密:0.1～0.2㎜φの砂粒(角閃石・長石)極少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量(cm) ①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
640	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高1.9	①灰白色(2.5Y7/1) ②灰白色(N8/)	密:0.1～0.2㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
641	北区 南側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.7	①②灰白色(N7/)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石・角閃石)少量混ざる	
642	北区 西側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.45	①②灰白色(N7/) 重ね焼き部:灰色(N6/)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	口縁部内外面重ね焼き痕
643	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.85	①灰色(N5/) ②灰白色(N7/) 重ね焼き部:灰色(N5/)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(長石・角閃石など)やや多く混ざる	口縁部内端重ね焼き痕
644	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.6	①②明青灰色(5PB7/1)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
645	北区 西側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高3.0	①灰白色(N8/) ②灰白色(N7/) 重ね焼き部:灰色(N6/)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	口縁部内端重ね焼き痕
646	北区 西側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.1	①灰白色(2.5Y7/1) 灰:オリーブ黄色(5Y6/3) 重ね焼き部:暗灰色(N3/)～灰白色(N7/) ②灰白色(N7/)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(角閃石など)少量混ざる	外面灰被る 口縁部外面重ね焼き痕
647	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高1.5	①②明青灰色(5PB7/1)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
648	北区 西側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.2	①②灰白色(N7/)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(角閃石など)極少量混ざる	
649	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.2	①灰色(5Y5/1) 重ね焼き部:灰白色(N7/) ②灰白色(N7/)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	口縁部重ね焼き痕
650	北区 西側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.1	①②灰白色(2.5Y7/1)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
651	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.7	①②灰色(N6/)	密:0.1～2㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	No.630と同一個体の可能性あり
652	北区 南西側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高1.5	①②灰白色(N7/)	密:0.1～2㎜φの粗砂粒(長石など)少量混ざる	
653	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高3.6	①青灰色(5PB6/1) ②明青灰色(5PB7/1)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
654	北区 中央 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高3.1	①②明青灰色(5PB7/1)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
655	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高3.3	①②灰白色(N7/)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
656	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高3.5	①②灰白色(N7/)	密:0.1～0.2㎜φの砂粒(長石)極少量混ざる	
657	北区 西側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高3.3	①②灰白色(N7/)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
658	北区 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.5	①灰白色(N7/) ②灰白色(2.5Y7/1)	密:0.1～0.2㎜φの砂粒(長石)極少量混ざる	
659	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高1.6	①②灰白色(N8/)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
660	北区 中央 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.1	①灰色(N6/)～灰白色(N7/) ②灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
661	北区 西側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高1.8	①灰白色(N7/)　灰色(N4/) ②灰色(N4/)　灰白色(N7/)	精緻	内外面重ね焼き痕
662	北区 東側 包含層1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.5	①灰白色(N7/) ②灰白色(N8/)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石・角閃石など)極少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面 ②内面	胎土	備考
663	北区 西側 包含層1	須恵器 坏	口縁部	③残高1.9	①灰色（N6/）～灰白色（N7/） ②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
664	北区 東側 包含層1	須恵器 坏	口縁部	③残高2.75	①②灰白色（N7/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（角閃石・長石など）少量混ざる	高坏坏部か
665	北区 東側 包含層1	須恵器 坏	口縁部	③残高2.3	①暗灰色（N3/） ②灰色（N5/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
666	北区 東側 包含層1	須恵器 坏	口縁部	③残高3.15	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
667	北区 東側 包含層1	須恵器 坏	口縁部	③残高1.6	①②青灰色（5PB5/1）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
668	北区 西側 包含層1	須恵器 坏	口縁部	③残高1.5	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
669	北区 中央 包含層1	須恵器 坏	口縁部	③残高2.7	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石）少量混ざる	
670	北区 東側 包含層1	須恵器 坏	口縁部	③残高2.6	①②灰色（N5/～6/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	口縁部に重ね焼き痕
671	北区 西側 包含層1	須恵器 坏	口縁部	③残高2.3	①②明青灰色（5PB7/1）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
672	北区 東側 包含層1	須恵器 坏	口縁部	③残高1.8	①②青灰色（5PB6/1）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
673	北区 東側 包含層1	須恵器 坏	口縁部	③残高2.3	①灰白色（2.5Y7/1） ②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
674	北区 西側 包含層1	須恵器 坏	口縁部	③残高2.2	①灰白色（N7/） 重ね焼き部：灰色（N5/） ②灰白色（5Y7/1） 重ね焼き部：灰白色（N7/）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石・石英など）少量混ざる	口縁部内外面重ね焼き痕
675	北区 中央 包含層1	須恵器 坏	口縁部	③残高1.8	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
676	北区 東側 包含層1	須恵器 坏	口縁部	③残高2.6	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
677	北区 西側 包含層1	須恵器 坏	口縁部	③残高2.2	①②灰白色（N7/）	精緻	
678	北区 中央 包含層1	須恵器 坏	口縁部	③残高1.7	①灰色（N5/）～灰白色（N7/） ②灰色（N6/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
679	北区 中央 包含層1	須恵器 坏	口縁部	③残高2.75	①②灰白色（N7/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
680	北区 包含層1	須恵器 高台付皿	底部	②（10.2） ③残高1.6	①②灰白色（N7/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
681	北区 中央 包含層1	須恵器 高台付皿	底部	②（9.0） ③残高1.95	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
682	北区 西側 包含層1	須恵器 皿	底部	②（8.4） ③残高1.4	①灰白色（N7/）～灰色（N6/） ②灰白色（5Y7/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
683	北区 東側 包含層1	須恵器 皿	口縁部～底部	③2.0	①②灰白色（N8/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
684	北区 東側 包含層1	須恵器 皿	口縁部～底部	③残高1.3	①灰白色（N7/） ②灰白色（5Y7/1）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
685	北区 西側 包含層1	須恵器 皿	口縁部	③残高1.3	①②灰白色（N8/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量(cm) ①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
686	北区 東側 包含層1	須恵器　皿	口縁部 ～底部	③0.7	①②青灰色(5PB6/1)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
687	北区 西側 包含層1	須恵器　皿	口縁部	③残高2.3	①②灰白色(N8/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
688	北区 東側 包含層1	須恵器　皿	口縁部	③残高2.3	①②灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
689	北区 東側 包含層1	須恵器　高坏	坏底部 ～脚部	③残高6.6	①灰白色(N8/)～灰色(N6/) ②灰白色(N8/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
690	北区 東側 包含層1	須恵器　高坏	坏部 ～脚部	③残高6.3	①灰白色(N7/～8/) ②灰白色(N8/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(角閃石・長石など)少量混ざる	
691	北区 西側 包含層1	須恵器　高坏	坏部 ～脚部	③残高5.5	①明青灰色(5PB7/1)　灰色(7.5Y6/1) ②明青灰色(5PB7/1)	密:0.2～2㎜φの粗砂粒(長石など)少量混ざる	
692	北区 東側 包含層1	須恵器　高坏	脚部	③残高4.75	①②灰白色(N7/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
693	北区 東側 包含層1	須恵器　高坏	脚部	③残高2.55	①②灰白色(N7/)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	壺頸部の可能性あり 内面少量灰被る
694	北区 東側 包含層1	須恵器　高坏	坏底部 ～脚部	②(9.0) ③残高6.25	①②灰白色(N7/)	密:0.2～2㎜φの粗砂粒(角閃石など)少量混ざる	
695	北区 東側 包含層1	須恵器　高坏	脚部	③残高2.9	①②灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(角閃石・長石など)極少量混ざる	
696	北区 西側 包含層1	須恵器　高坏	脚部	②(9.2) ③残高2.4	①②灰白色(N7/)	密:0.1～1.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
697	北区 東側 包含層1	須恵器　高坏	脚裾部	②(15.4) ③残高0.8	①②灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(角閃石など)少量混ざる	
698	北区 東側 包含層1	須恵器　高坏	脚裾部	②(10.6) ③残高1.0	①②灰白色(N7/) 外面灰:にぶい黄色(2.5Y6/3)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	外面灰被る
699	北区 西側 包含層1	須恵器　高坏	脚裾部	③残高1.4	①②灰白色(N7/) 外面灰:灰黄色(2.5Y7/2)	密:0.1～0.2㎜φの砂粒(長石)極少量混ざる	外面灰被る
700	北区 中央 包含層1	須恵器　高坏	脚裾部	③残高0.9	①②灰白色(N8/) 外面灰:浅黄色(2.5Y7/3)	精緻	
701	北区 南側 包含層1	須恵器　高坏	脚裾部	③残高1.3	①②灰白色(2.5Y7/1)	密:0.1～0.2㎜φの砂粒(長石)極少量混ざる	
702	北区 包含層1	須恵器　高坏	脚裾部か	③残高1.0	①灰白色(N7/) 灰:オリーブ黄色(5Y6/3) ②灰白色(N7/)	精緻:0.1㎜φの砂粒(長石)極少量混ざる	外面灰被る
703	北区 東側 包含層1	須恵器　高坏	脚裾部	③残高0.8	①②灰白色(N7/)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(角閃石・長石)極少量混ざる	
704	北区 西側 包含層1	須恵器　高坏	脚裾部	③残高1.2	①灰色(N6/) ②灰白色(5Y7/2) 灰:にぶい黄色(2.5Y6/3)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	内面灰被る
705	北区 東西アゼ 包含層1	須恵器　高坏	口縁部	③残高2.3	①②灰白色(N7/)	1㎜φの長石含む	
706	北区 西側 包含層1	須恵器　高坏	口縁部	③残高2.7	①②灰白色(N8/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
707	北区 東側 包含層1	須恵器　高坏	口縁部	③残高2.1	①②灰白色(N7/)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
708	北区 東側 包含層1	須恵器　高坏	口縁部	③残高2.0	①②灰白色(N8/)	密:0.1～2㎜φの粗砂粒(角閃石など)少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面 ②内面	胎土	備考
709	北区 中央 包含層1	須恵器 高坏	口縁部	③残高2.7	①灰白色（N8/）～灰色（7.5Y5/1） ②灰白色（N7/） 灰：灰オリーブ色（7.5Y6/2）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	内面灰被る
710	北区 東側 包含層1	須恵器 高坏	坏部～脚部	③残高3.3	①②灰白色（N7/）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（角閃石など）少量混ざる	
711	北区 東側 包含層1	須恵器 高坏	坏部	③残高1.95	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
712	北区 東側 包含層1	須恵器 高坏	坏部	③残高1.1	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/） 灰：灰オリーブ色（5Y6/2）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）極少量混ざる	内面灰被る 北区谷埋土1と接合
713	北区 西側 包含層1	須恵器 不明脚部	脚部	②（3.6） ③残高3.2	①灰白色（N7/） ②灰白色（N8/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
714	北区 包含層1	須恵器 不明脚部	高台	②接地部（4.8） ③残高1.4	①②灰白色（N7/）	密：0.2㎜φの砂粒（長石）極少量混ざる	
715	北区 中央 包含層1	須恵器 ミニチュア高坏か	坏底部～脚部	③残高1.6	①灰白色（N7/） ②灰白色（2.5Y7/1）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（長石など）少量混ざる	
716	北区 東側 包含層1	須恵器 壺	口縁部	③残高2.35	①②灰白色（N7/） 内面灰：浅黄色（2.5Y7/3）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	内面灰被る
717	北区 東側 包含層1	須恵器 壺	肩部	③残高2.35	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（角閃石など）極少量混ざる	腹部下位に「く」字状櫛目圧痕
718	北区 東側 包含層1	須恵器 長頸壺	肩部	③残高1.85	①灰黄色（2.5Y7/2） 自然釉：オリーブ灰色（2.5GY5/1） ②灰白色（N7/）	密：0.1～0.2㎜φの砂粒（長石）極少量混ざる	外面灰・自然釉被る
719	北区 中央 包含層1	須恵器 壺	底部	③残高2.0	①灰白色（N7/） ②灰白色（N8/） 灰：にぶい黄色（2.5Y6/3） 黄灰色（2.5Y5/1）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
720	北区 東側 包含層1	須恵器 壺	底部	③残高2.1	①②青灰色（5PB5/1）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石・角閃石）極少量混ざる	
721	北区 東側 包含層1	須恵器 壺	底部	②（14.0） ③残高4.6	①②青灰色（5PB6/1）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
722	北区 東側 包含層1	須恵器 壺	底部	③残高1.9	①②灰白色（N7/） 内面灰：灰色（7.5Y6/1）～灰白色（7.5Y8/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（角閃石など）極少量混ざる	内面灰被る
723	北区 東側 包含層1	須恵器 器台脚部か	脚部	③残高3.5	①黄灰色（2.5Y6/1） ②灰色（N7/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
724	北区 中央 包含層1	須恵器 器種不明	体部～底部	②（5.2） ③残高4.0	①②灰色（N6/）～灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
725	北区 西側 包含層1	須恵器 把手か	脚部か	③残高2.0	①灰色（N5/）～灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
726	北区 南西側 包含層1	須恵器 甕	口縁部	③残高2.0	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
727	北区 包含層1	須恵器 甕	口縁部	③残高2.2	①灰白色（N7/） ②灰白色（N8/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	鉢か
728	北区 東側 包含層1	須恵器 甕	口縁部	③残高3.3	①②灰白色（2.5Y8/1～7/1）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
729	北区 東側 包含層1	須恵器 甕	口縁部	③残高4.95	①②灰白色（N7/）	密：0.2～2.5㎜φの粗砂粒（長石など）やや多く混ざる	
730	北区 東側 包含層1	須恵器 甕	口縁部	③残高6.95	①灰色（7.5Y5/1）～灰白色（7.5Y7/1） ②灰白色（7.5Y7/1）	密：0.1～1㎜φの砂粒（角閃石・長石など）少量混ざる	年報12 図15-106 同一個体か
731	北区 西側 包含層1	須恵器 甕	頸部	③残高5.5	①青灰色（5PB6/1） ②青灰色（5PB6/1）～明青灰色（5PB7/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量(cm) ①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
732	北区 包含層1	須恵器　甕	体部	③残高2.7	①②灰白色(N7/)	密:0.2㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
733	北区 包含層1	須恵器　甕	体部	③残高1.65	①灰白色(N7/) ②灰白色(N8/)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石)極少量混ざる	
734	北区 南西側 包含層1	緑釉陶器　埦	体部	③残高1.35	釉:にぶい赤褐色(5YR4/3) 素地:灰白色(5Y8/1)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
735	北区 西側 包含層1	白磁　碗	体部	③残高2.5	釉:灰黄色(2.5Y7/2) 素地:灰白色(2.5Y8/1)	精緻	皿か
736	北区 南側 包含層1	白磁　碗	底部	②(6.4) ③残高1.8	素地:灰白色(5Y8/1) 釉:灰白色(5Y7/2)	精緻:角閃石含む	
737	北区 東側 包含層1	白磁　皿か	底部	②5.6 ③残高0.9	釉:灰白色(2.5GY8/1) 素地:灰白色(2.5Y8/2)	精緻	
738	北区 中央 包含層1	磁器　染付皿	底部	②(4.8) ③残高1.9	素地:灰白色(2.5Y7/1) 染付:オリーブ灰色(2.5GY6/1)～黒色(2.5GY2/1)	精緻	蔓草文
739	北区 南側 包含層1	陶器　鉢	口縁部	③残高4.05	①②にぶい黄橙色(10YR6/3)	密:0.1～0.2㎜φの砂粒少量混ざる	
740	北区 南側 包含層1	陶器　碗	底部	②(4.8) ③残高1.3	①露体:灰白色(10Y8/1) ②釉:黒色(N1.5/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
741	北区 東側 包含層1	土師器　坏	底部	②(6.4) ③残高1.5	①②灰白色(2.5Y8/1～8/2)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	No.756と同一個体か
742	北区 中央 包含層1	土師器　坏	底部	②(6.7) ③残高1.1	①②灰白色(2.5Y8/1～8/2)	密:0.2～1.5㎜φの砂粒(くさり礫など)少量混ざる	
743	北区 東側 包含層1	土師器　坏	底部	②(6.2) ③残高1.1	①②浅黄橙色(10YR8/3)	密:0.1～0.2㎜φの砂粒(石英など)極少量混ざる	
744	北区 東側 包含層1	土師器　坏	底部	②(6.0) ③残高0.75	①にぶい黄橙色(10YR7/3) ②橙色(2.5YR6/6～5YR7/6)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
745	北区 東側 包含層1	土師器　坏	底部	②(8.0) ③残高1.4	①②灰白色(2.5Y8/1)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる	
746	北区 東側 包含層1	土師器　坏	底部	③残高2.05	①にぶい黄橙色(10YR7/3)～灰黄色(2.5Y7/2) ②にぶい黄色(2.5Y6/3)～にぶい褐色(7.5YR5/4)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
747	北区 東西アゼ 包含層1	土師器　坏	底部	③残高1.6	①にぶい黄色(2.5Y6/3) ②黒褐色(2.5Y3/1) 黄褐色(10YR5/8)	1㎜φの長石含む	
748	北区 東側 包含層1	土師器　埦	底部	②(6.0) ③残高1.5	①灰白色(7.5YR8/2)～淡黄色(2.5Y8/4) ②淡黄色(2.5Y8/3)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石・金雲母など)極少量混ざる	
749	北区 東側 包含層1	土師器　埦	底部	②(6.0) ③残高1.9	①にぶい黄褐色(10YR5/3)～灰白色(10YR8/2) ②灰白色(2.5Y8/2)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石・角閃石など)少量混ざる 石英など)極少量混ざる	
750	北区 中央 包含層1	土師器　埦	底部	②(6.2) ③残高6.6	①浅黄色(2.5Y8/4) ②暗灰色(N3/)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
751	北区 東側 包含層1	土師器　埦	底部	③残高2.0	①灰白色(10YR8/2) ②灰白色(2.5Y7/1)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
752	北区 東側 包含層1	土師器　埦	底部	③残高1.25	①②灰白色(5Y8/1)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
753	北区 西側 包含層1	土師器　埦	底部	③残高1.1	①②淡黄色(2.5Y8/4)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
754	北区 西側 包含層1	土師器　埦	口縁部	③残高1.5	①灰白色(5Y8/2) ②灰白色(5Y8/1)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面 ②内面	胎土	備考
755	北区 西側 包含層1	土師器 埦	口縁部	③残高2.0	①②灰白色（2.5Y8/2）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石・角閃石など）極少量混ざる	
756	北区 東側 包含層1	土師器 埦	口縁部	③残高2.3	①②灰白色（2.5Y7/1～8/2）	密：0.1～2㎜φの粗砂粒（長石など）少量混ざる	No.741と同一個体か
757	北区 西側 包含層1	土師器 埦	口縁部	③残高2.2	①明黄褐色（2.5Y7/6） ②灰白色（2.5YR8/2）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
758	北区 北側 包含層1	土師器 埦	口縁部	③残高2.3	①灰白色（2.5Y8/2～7/1） ②灰白色（2.5Y8/2）～灰色（N4/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
759	北区 東側 包含層1	土師器 高台付皿	底部	②（5.4） ③残高1.0	①灰白色（5Y8/2） ②灰白色（N7/～8/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	内面須恵質
760	北区 東側 包含層1	土師器 高台付皿	底部	②（7.0） ③残高1.3	①②灰白色（2.5Y8/1）	密：0.2～1㎜φ砂粒（長石など）少量混ざる	
761	北区 西側 包含層1	土師器 皿	底部	②（7.2） ③残高1.25	①灰白色（2.5Y8/2） ②灰白色（5Y8/1）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（くさり礫・長石など）少量混ざる	
762	北区 東側 包含層1	土師器 皿	底部	②（7.2） ③残高0.75	①灰白色（7.5Y8/1） ②灰白色（5Y8/2）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
763	北区 東側 包含層1	土師器 甕	口縁部	③残高2.5	①②にぶい黄橙色（7.5YR5/4）	粗：0.2～2㎜φの粗砂粒（くさり礫など）多量に混ざる	
764	北区 中央 包含層1	土師器 甕	口縁部	③残高1.7	①②灰白色（2.5Y8/2）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（石英など）少量混ざる	
765	北区 南西側 包含層1	土師器 羽釜か	口縁部	③残高3.75	①にぶい黄橙色（10YR7/4） ②浅黄橙色（2.5Y7/3）	やや粗：0.1～3㎜φの粗砂粒（長石など）多く混ざる	
766	北区 東側 包含層1	土師器 甕・甑	把手	③残高1.9	①淡黄色（2.5Y8/3）～浅黄色（2.5Y7/3）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（くさり礫など）多量に混ざる	
767	北区 東側 包含層1	土師器 甕・甑	把手	③残高2.35	①橙色（7.5YR7/6）～にぶい橙色（7.5YR7/4）	密：0.2～1.5㎜φの粗砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる石英など）多く混ざる	
768	北区 東側 包含層1	土師器 甕・甑	把手	③残高3.4	①②淡黄色（2.5Y8/3）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（くさり礫など）少量混ざる	
769	北区 南西側 包含層1	土師器 甕・甑	把手	③残高2.85	①浅黄橙色（10YR8/3）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
770	北区 包含層1	製塩土器	脚部	③残高2.8	①にぶい黄橙色（10YR7/4）～橙色（5YR7/6）	密：0.1～1.5㎜φの砂粒（石英など）少量混ざる	美濃ヶ浜式
771	北区 東側 包含層1	製塩土器	体部	③残高4.9	①にぶい黄橙色（10YR7/3） ②橙色（7.5R7/6）	密：0.2～4㎜φの粗砂粒（長石・石英など）多く混ざる	六連式
772	北区 東側 包含層1	製塩土器	体部	③残高1.7	①橙色（5YR7/6） ②にぶい橙色（7.5YR7/3）	密：0.2～1.5㎜φの粗砂粒（石英など）多量に混ざる	六連式
773	北区 東側 包含層1	製塩土器	体部	③残高2.3	①灰色（5Y6/1） ②にぶい橙色（5YR6/4）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	六連式 須恵質焼成
774	北区 南側 包含層1	製塩土器	体部	③残高2.15	①②橙色（5YR6/6）	やや粗：0.5～3㎜φの粗砂粒（石英など）多く混ざる	六連式
775	北区 中央 包含層1	製塩土器	体部	③残高1.4	①浅黄橙色（7.5YR8/3） ②橙色（7.5YR7/6）	密：0.2～1㎜φの砂粒（石英など）少量混ざる	六連式
776	北区 中央 包含層1	製塩土器	体部	③残高2.45	①灰白色（2.5Y7/1） ②にぶい橙色（5YR7/4）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	六連式 須恵質焼成
777	北区 東側 包含層1	製塩土器	体部	③残高0.65	①灰黄色（2.5Y7/2） ②橙色（5YR6/6）	やや粗：0.2～2㎜φの粗砂粒（石英など）多く混ざる	六連式

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
778	北区 西側 包含層1	瓦質土器　足鍋	脚部	③残高8.2		密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石・角閃石など）やや多く混ざる	全面に煤付着
779	北区 SD1	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.6	①②灰白色（N8/） 外面灰：浅黄色（5Y7/3）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
780	北区 SD1	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.4	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	密：0.2～1.5㎜φの砂粒（長石など）多く混ざる	
781	北区 SD1	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.1	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（角閃石など）少量混ざる	
782	北区 SD1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.25	①②灰白色（N7/） 内面重ね焼き部：灰色（N5/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	口縁部内面重ね焼き痕
783	北区 SD1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.1	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
784	北区 SD1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高0.9	①②灰色（N6/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
785	北区 SD1	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.0	①灰白色（N8/） 灰：灰黄色（2.5Y7/2） ②青灰色（5PB6/1）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	外面灰被る壺蓋か
786	北区 SD1	須恵器　高台付坏	底部	②（7.6） ③残高1.3	①灰色（N5/）～灰白色（N7/） ②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石・角閃石など）極少量混ざる	
787	北区 SD1	須恵器　高台付坏	底部	②（8.3） ③残高1.4	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（角閃石など）極少量混ざる	
788	北区 SD1	須恵器　高台付坏	底部	②（4.2） ③残高2.7	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	北区包含層1と接合
789	北区 SD1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.6	①灰色（N5/）～灰白色（N7/） ②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（角閃石・長石など）少量混ざる	
790	北区 SD1	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.2	①②灰白色（N7/）	密：0.1～0.5㎜φの砂粒（角閃石など）少量混ざる	
791	北区 SD1	須恵器　坏	底部	②（9.2） ③残高1.95	①②灰白色（N8/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	
792	北区 SD1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.4	①青灰色（5PB6/1） ②明青灰色（5PB7/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石・角閃石など）少量混ざる	
793	北区 SD1	須恵器　坏	口縁部	③残高2.4	①灰色（N5/～6/） ②灰白色（N7/）	密：0.1～0.3㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
794	北区 SD1	須恵器　坏	口縁部	③残高3.05	①明青灰色（5PB7/1） ②青灰色（5PB6/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
795	北区 SD1	須恵器　坏	底部	②（8.0） ③残高1.0	①灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	北区包含層2と接合 北区包含層1に接点ない同一個体あり
796	北区 SD1	須恵器　有透高坏	脚部	③残高4.1	①②灰白色（N7/）	密：0.1～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	
797	北区 SD1	土師器　坏蓋	口縁部	③残高0.8	①灰黄色（2.5Y6/2） ②灰色（5Y6/1）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	須恵器模倣
798	北区 東壁面	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.3	①灰白色（N7/） 灰：浅黄色（5Y7/3） ②灰白色（N7/）	密：0.2㎜φの砂粒（長石）極少量混ざる極少量混ざる	外面灰被る
799	北区 旧耕土	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.0	①青灰色（5PB5/1） 灰色（N6/）～暗灰色（N3/） ②明青灰色（5B7/1）～青灰色（5PB5/1）	密：0.2～2㎜φの粗砂粒（長石など）少量混ざる	口縁部上面に重ね焼き痕
800	北区 東壁面	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.1	①灰白色（N7/） 重ね焼き部：灰色（N6/） ②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）少量混ざる	口縁部外面重ね焼き痕
801	北区 旧耕土	須恵器　高台付坏	底部	②（7.0） ③残高2.05	①体部：灰白色（N8/） 底部：灰白色（5Y8/1） ②灰白色（N8/）	精緻：0.2～0.5㎜φの長石極少量混ざる	皿か
802	北区 旧耕土	須恵器　高台付坏	底部	②（8.0） ③残高1.35	①②灰白色（N7/）	密：0.2～0.5㎜φの砂粒（長石など）極少量混ざる	
803	北区 旧耕土	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.3	①灰色（N6/）	密：0.2㎜φの砂粒（長石）極少量混ざる	
804	北区 旧耕土	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.55	①②灰白色（N7/）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石）やや多く混ざる	
805	北区 旧耕土	須恵器　坏	口縁部	③残高2.1	①②灰白色（5Y7/1）	密：0.2～1㎜φの砂粒（長石など）やや多く混ざる	

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量(cm) ①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
806	北区 旧耕土	須恵器　坏	口縁部 ～底部	①(15.8) ③残高3.0	①明黄褐色(10YR6/6) ②灰白色(N7/)	密:0.1～0.2㎜φの砂粒(長石)極少量混ざる	
807	北区 旧床土	須恵器　坏か	底部	③残高0.45	①②灰色(N6/)	密:0.2㎜φの砂粒(長石)少量混ざる	底部外面ヘラ記号
808	北区 壁面	須恵器　甕	口縁部	③残高3.4	①②灰白色(5Y7/1) 灰:浅黄色(10YR8/4)～にぶい黄橙色(10YR7/4)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	内外面灰被る
809	北区 旧耕土	青磁　皿	口縁部	③残高1.7	釉:オリーブ灰色(2.5GY6/1) 灰白色(7.5Y7/2) 素地:灰白色(N8/)	精緻	龍泉窯系 鎬蓮弁文
810	北区 排土中	須恵器　坏蓋	天井部	③残高0.9	①②灰白色(N7/)	密:0.1～0.2㎜φの砂粒(長石)極少量混ざる	
811	北区 排土中	須恵器　坏蓋	天井部	③残高1.15	①②青灰色(5B6/1)	0.5～2㎜φの長石含む	
812	北区 排土中	須恵器　坏蓋	天井部 ～口縁部	③残高1.7	①②灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(角閃石・長石など)極少量混ざる	壺蓋か
813	北区 排土中	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高1.2	①黄灰色(2.5Y6/1) 灰:灰白色(N8/) ②灰白色(N7/)	精緻	外面灰被る
814	北区 排土中	須恵器　坏蓋	口縁部	③残高0.9	①②灰白色(7.5Y7/1)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
815	北区 排土中	須恵器　壺蓋	口縁部	③残高1.25	①明青灰色(5PB7/1)～灰色(5Y5/1) ②明青灰色(5PB7/1)	密:0.1～0.3㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
816	北区 排土中	須恵器　高台付坏	底部	③残高1.5	①灰色(N6/) ②灰白色(N7/)	密:0.1～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
817	北区 排土中	須恵器　高台付坏	底部	③残高2.05	①②灰色(N6/)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
818	北区 排土中	須恵器　坏	口縁部	①(11.8) ③残高2.0	①②明青灰色(5PB7/1)	密:0.2㎜φの砂粒(長石)極少量混ざる	
819	北区 排土中	須恵器　坏	口縁部	③残高3.2	①②灰白色(N7/)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
820	北区 排土中	須恵器　坏	口縁部	③残高1.6	①灰白色(N8/) ②灰白色(N7/)	密:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	
821	北区 排土中	須恵器　坏	口縁部	③残高1.6	①②灰白色(N7/)	密:0.1㎜φの砂粒(長石)極少量混ざる	
822	北区 排土中	須恵器　壺	底部	③残高3.4	①灰白色(N7/)～灰色(N6/) ②灰白色(N7/)～浅黄色(2.5Y7/3)	密:0.2～1.5㎜φの粗砂粒(長石など)少量混ざる	内面灰被る
823	北区 排土中	瓦質土器　鉢か	底部	②(15.0) ③残高2.1	①②暗灰色(N3/)	密:0.1～0.2㎜φの砂粒(長石)極少量混ざる	

表6　出土遺物(土製品)観察表

法量(　)は残存値

遺物番号	遺構・層位	器種	法量(cm) ①長さ②幅③厚④重量(g)	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
824	北区 中央 包含層1	鞴　羽口	①(4.0)　②(2.8) ③(0.9)　④(10.63)	①灰色(N6/)～灰白色(N7/) ②灰白色(10YR8/2)～浅黄橙色(10YR8/3)	密:0.2～1㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
825	北区 中央 包含層1	鞴　羽口	①(2.7)　②(3.1) ③(1.6)　④(13.01)	①淡黄色(2.5Y8/3) ②橙色(5YR6/6)	密:0.2～3㎜φの粗砂粒(石英など)少量混ざる)	
826	北区 南西側 包含層1	鞴　羽口	①(1.9)　②(3.0) ③(1.9)　④(8.61)	①暗灰色(N3/)～灰色(N4/) ②赤橙色(10YR6/6)～にぶい褐色(7.5YR6/3)	密:0.1～1㎜φの砂粒(石英など)少量混ざる	二次焼成
827	北区 中央 包含層2	鞴　羽口	①(2.1)　②(4.0) ③(1.9)　④(11.05)	①褐灰色(5YR6/1)～にぶい橙色(5YR7/4)	粗:0.2～0.5㎜φの砂粒(長石など)少量混ざる	
828	北区 南東 谷埋土1	鞴　羽口	①(2.95)　②(1.8) ③(2.55)　④(11.54)	①②にぶい橙色(7.5YR7/4)	0.5～3㎜φの長石・チャート含む	
829	北区 中央 包含層1	鋳造関連遺物か	①(1.85)　②(1.7) ③(0.95)　④(2.05)	①紫灰色(5P6/1)～にぶい橙色(2.5YR7/4) ②淡橙色(5YR8/3)～橙色(2.5YR7/6)	密:0.1～1㎜φの砂粒(長石など)極少量混ざる	

表7　出土遺物（金属器）観察表

法量（　）は残存値

遺物番号	遺構・層位	器種	法量（cm）①長さ②幅③厚④重量(g)	備考
830	北区　東西アゼ包含層1	責金具か	①2.0　②2.95　③0.2　④1.99	

表8　出土遺物（石器）観察表

法量（　）は残存値

遺物番号	遺構・層位	器種	法量（cm）①長さ②幅③厚④重量(g)	石材	備考
831	北区　谷埋土3	板石	①13.4　②12.2　③2.95　④849.9	流紋岩質凝灰岩	
832	北区　谷埋土3	作業台	①28.05　②20.8　③11.9　④6690	石英斑岩	
833	北区　谷埋土2	凹石	①11.65　②8.05　③5.7　④627.9	黒雲母花崗岩	
834	北区　谷埋土2	石斧	①(7.15)　②3.7　③3.6　④133.25	石英斑岩	
835	北区　谷埋土2	剥片	①2.5　②2.0　③0.85　④3.32	安山岩	
836	北区　谷埋土1	磨石か	①9.9　②7.6　③3.05　④355.08	安山岩質凝灰岩	
837	北区　中央　谷埋土1	打製石鏃	①1.75　②1.30　③0.36　④0.54	安山岩	
838	北区　北西側　谷埋土1	石核	①5.4　②1.6　③1.7　④15.44	黒曜石	
839	北区　中央　谷埋土1	剥片	①3.45　②1.75　③1.15　④6.39	黒曜石	
840	北区　南東　谷埋土1	剥片	①2.55　②1.65　③0.7　④2.49	黒曜石	
841	北区　SX6	磨石か	①7.1　②7.0　③4.3　④294.26	花崗閃緑岩	
842	北区　東側遺構検出層	砥石	①9.45　②5.65　③4.3　④267.65	斜長斑岩	
843	北区　遺構検出層	縦長剥片	①2.4　②1.1　③0.3　④1.02	黒曜石	
844	北区　中央　包含層2	敲石	①5.9　②4.6　③3.4　④136.25	花崗閃緑岩	
845	北区　東側　包含層2	砥石	①(9.8)　②(6.0)　③(3.8)　④308.67	石英斑岩	
846	北区　東側　包含層2	不明	①1.4　②1.1　③0.4　④0.90	瑪瑙	
847	北区　中央　包含層2	作業台か	①13.6　②12.2　③8.4　④1919.1	斜長斑岩	
848	北区　東側　包含層2	板石　作業台か	①(20.8)　②(12.15)　③(5.45)　④1825	石英斑岩	
849	北区　包含層1	剥片	①4.6　②3.35　③0.85　④11.34	石英	
850	北区　排土中	砥石	①17.0　②9.2　③5.4　④1204.2	石英斑岩	

表9　出土遺物（木製品）観察表

法量（　）は残存値

遺物番号	遺構	器種	法量（cm）①長さ②最大幅③最大厚	備考
851	北区　東西アゼ南側谷埋土2	角端材	①8.2　②7.25　③3.1	
852	北区　南東側　谷埋土2	板状端材	①11.4　②2.0　③1.0	
853	北区　谷埋土2	板状端材	①8.65　②2.25　③0.7	
854	北区　谷埋土2	棒状製品	①25.05　②2.25　③0.95	
855	北区　谷埋土2（東流路　東肩側）	火付け木	①11.45　②1.6　③0.6	
856	北区　谷埋土2（東流路　東肩側）	火付け木	①14.8　②1.45　③1.1	
857	北区　谷埋土2（東流路　東肩側）	火付け木	①15.5　②1.0　③0.55	
858	北区　谷埋土2	火付け木	①18.2　②2.0　③0.9	
859	北区　谷埋土2	火付け木	①27.5　②4.4　③2.1	
860	北区　包含層2	杭頭か	①9.8　②3.5　③1.75	頭部炭化

（6）小結

当調査では、遺物包含層（既往調査の谷埋土上層）および谷埋土から夥しい数の遺物が出土した。その反面、北区谷右岸（北区東端部）に建物の柱穴と推定されるピットの並びを検出したほか、顕著な遺構群が確認できなかった。ここでは埋没谷と遺物包含層の様相に関し言及しておくことで小結としたい。

当調査の北区において、南南東－北北西方向に走る埋没谷[註1]を確認した。既往調査の成果とあわせ、官衙域の南西部はこの谷筋により区画される可能性が高い（図48）。谷筋の方向をみると、南東部に位置する平成18年度調査区[註2]（YD2006－2）では、ほぼ南から北に走っているようであるが、直角気味に西折して平成27年度調査区[註3]（YD2015DIC2）から平成14年度農学部解剖実習棟調査区[註4]にかけては南東－北西に走る。農学部解剖実習棟調査区の南西端部および当調査の南区が大きく攪乱を受けているため、北区との間がやや不明確であるが、北折→西折と蛇行するようで、北区中央から平成12年度総合研究棟調査区[註5]の南半部まで北北西に直線的に走り、北半部でやや西に向きを変えるようである。古代官衙に関連する施設と推定される平成18年度調査区の掘立柱建物跡1～3、農学部解剖実習棟調査区のSB8・9はなどは、谷筋の北東を南東－北西方向に延びる丘陵の南西傾斜地端部（図48の青破線部・既往調査の谷埋土上層堆積地）に立地しており、施設の選地として注目すべきであろう。

一方、谷床に目を向けると、平成27年度調査区（YD2015DIC2）の東南端部と平成12年度総合研究棟調査区にて谷床を確認した最北西端部の距離はおよそ115mで、谷床高がそれぞれ約26.0mと約23.5mを測ることから、2.2％弱の勾配であることがわかる。当調査において確認した谷埋土3・4や既往調査（総合研究棟調査区）の縄文～弥生時代谷埋土1・2、既往調査（YD2014-1、YD2015DIC2）の谷埋土5は掃流状集合流動による堆積層である可能性が高く、弥生時代以前遺物を含む堆積層、または無遺物層と認識されている。古代に所属する遺物はその上位に堆積する。

当調査における谷埋土2、既往調査（YD2014-1、YD2015DIC2）谷埋土3上層[註6]の堆積時期は8世紀代と推定される。この時期に谷筋への遺物の投棄が本格化することは共通するものの、木製品の含有量において大きな差を見いだせる。既往調査区では多量の木製品の投棄が見られたが（図48の赤線範囲[註7]）、当調査区においてそのような状況は見られなかった[註8]。また堆積する土質も大きく異なることから、両者を安易に同一視すべきではなかろう。

前述したように、本稿での「遺物包含層」は谷最深部に向かう緩傾斜地に堆積した層を示す。掲載した土器の総数は823点であり、そのうち遺物包含層出土資料が479点と半数以上を占める[註9]。ここでは北区を対象に、層別の土器出土地点に注目したい（表10）。

下位に堆積する遺物包含層2では、総数187点中115点（61.5％）が「東側」（谷右岸）から出土しており、谷筋にほぼ重複する「中央」も46点（24.6％）存在するのに対し、谷左岸にあたる「西側（拡張区を含む）」「南側」「南西側」は合わせても17点（9.1％）に過ぎない。一方、上位に堆積する遺物包含層1では、総数275点中「東側」が142点（51.6％）、中央が36点（13.1％）と比率を下げ、谷左岸にあたる「西側」「南側」「南西」が合計75点（27.3％）と増加する。この変化に関しては、谷筋の左岸側（南西側）を南東－北西方向に延びる丘陵の様相が示唆を与えてくれる。現在農学部附属農場牧草地となっている当丘陵上では、昭和41年（1966）に発掘調査が実施され、溝1条とピット278基が検出された。弥生時代および古墳時代の土地活用が一部認められるものの、出土した遺物から8世紀後半から中世前期にかけ集落が営まれたと推定される[註10]。遺物包含層2堆積時期は未だこの集落が存続している期間で、集落廃絶後の中世後期に丘陵頂部から土が流失し、堆積したのが遺物包含層1である可能性を指摘できる。

明確な遺構が限定される構内南東部においては、今後も詳細な遺物の検討が必要となろう。（横山）

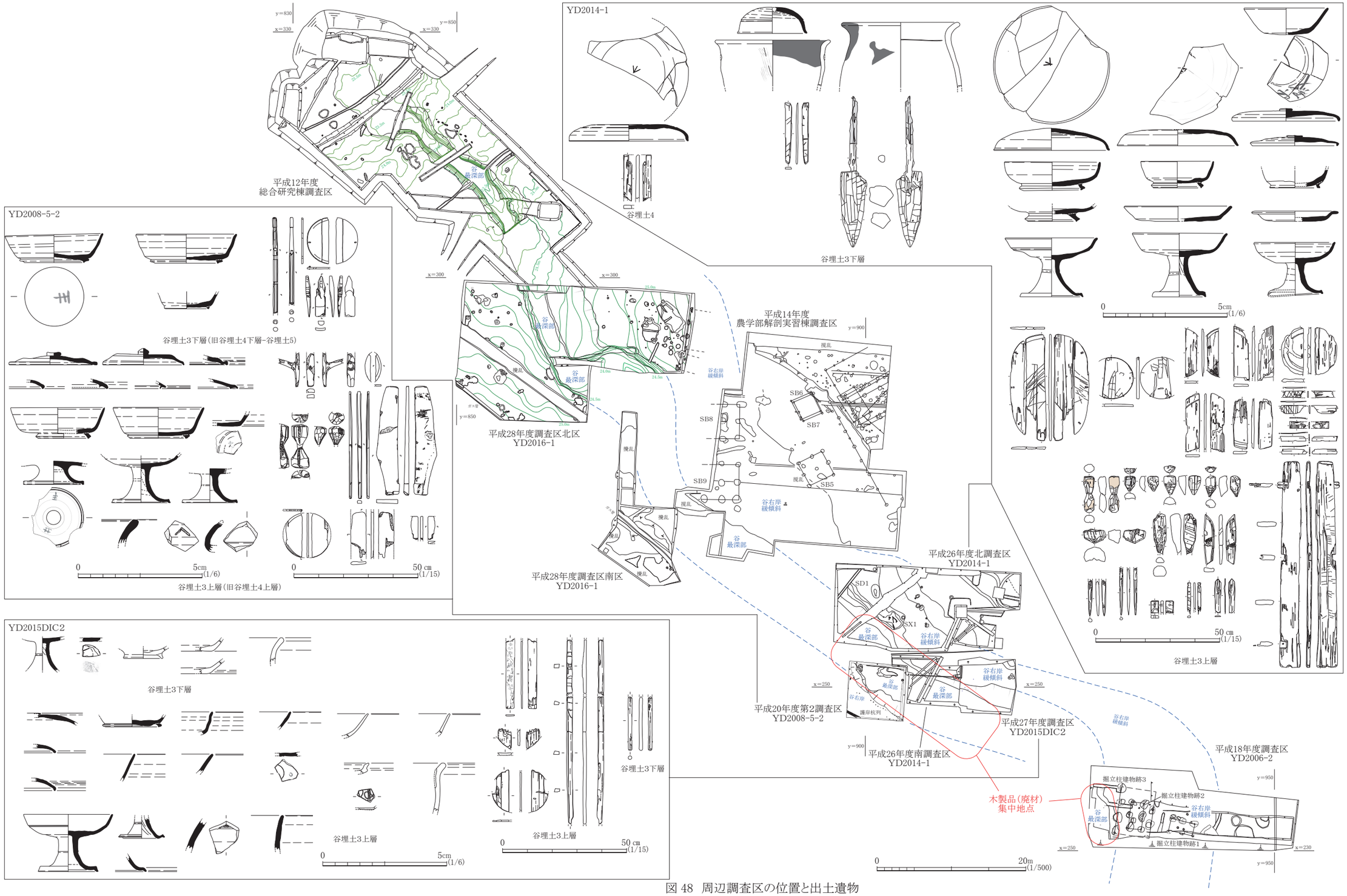


図 48　周辺調査区の位置と出土遺物

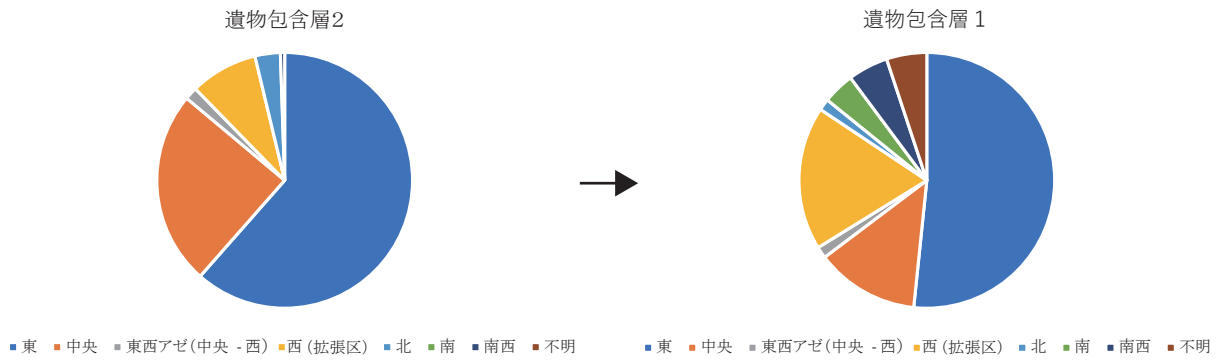
表10　遺物包含層出土土器の地点別点数

［遺物包含層2］

出土地点	東	中央	東西アゼ（中央–西）	西（拡張区）	北	南	南西	不明	総数
点数	115	46	3	16	6		1		187
%	61.5	24.6	1.6	8.6	3.2		0.5		100

［遺物包含層1］

出土地点	東	中央	東西アゼ（中央–西）	西（拡張区）	北	南	南西	不明	総数
点数	142	36	4	50	4	11	14	14	275
%	51.6	13.1	1.5	18.2	1.5	4	5.1	5.1	100.1



【註】

1）ここでは「埋没谷」を「谷最深部」に限定して使用する。

2）横山成己（2010）「農学部附属家畜病院改修Ⅰ期工事に伴う本発掘調査」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学埋蔵文化財資料館年報－平成18年度－』，山口

3）横山成己（2020）「動物医療センター（リニアック室等）新営その他工事（プレハブ撤去）に伴う立会調査」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学埋蔵文化財資料館年報－平成27年度－』，山口

4）田畑直彦（2004）「平成14年度山口大学構内遺跡調査の概要」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学構内遺跡調査研究年報ＸⅥ・ＸⅦ』，山口

5）田畑直彦（2017）「吉田構内総合研究棟新営に伴う発掘調査」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学構内遺跡調査研究年報ＸＸ』，山口

6）平成20年度第2調査区（YD2008－５－２）のNR4L4も同一層である（横山成己（2012）「農学部附属動物医療センター改修Ⅲ期工事に伴う本発掘調査」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学埋蔵文化財資料館年報－平成20年度－』，山口）。また、当調査の谷埋土2は平成14年度総合研究棟調査区の谷埋土2と同一層であろうが、調査担当者によると報告（註5）では主な出土資料のみ掲載したとのことで、筆者も出土資料を実見していないことから、当該調査の遺物相に関する言及は控えたい。

7）紙面の制限があり図48には掲載できなかったが、平成18年度調査区（YD2006－２）の木製品と共伴した土器は7世紀後半に所属するものが主体であり（註2）、堆積由来に大きな差があるものと思われる。

8）調査担当者によると、平成14年度農学部解剖実習棟調査区の埋没谷においても木製品は少量であったとのことである。

9）各層出土土器の総重量を量っていないことから正確な比率は提示できない。あくまで図化可能であった土器の比率である。また北区で「遺物包含層1・2」として取り上げられた土器4点と、南区で「包含層」として取り上げられた13点は対象から除外する。

10）横山成己（2007）「吉田遺跡第Ⅱ地区の調査」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学埋蔵文化財資料館年報－平成17年度』，山口

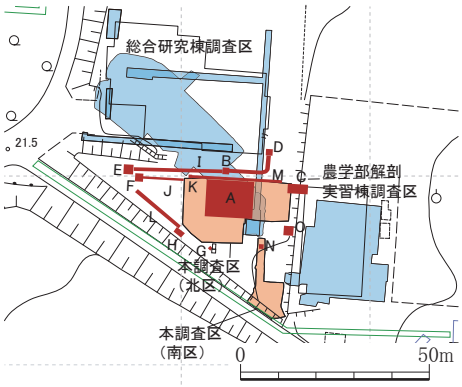


図 49　調査区位置図

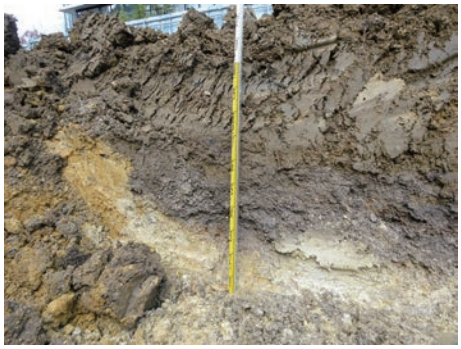


写真 161　A地点（南東から）

写真 162　B地点（ハンドホール 1）
（南から）

写真 163　B地点（ハンドホール東側管路）
（西から）

2. 実習棟（動物病理解剖実習施設）新営その他工事に伴う立会調査

調査地区　吉田構内Q・R-18・19区

調査面積　約233㎡

調査期間　平成28年11月１日～平成29年１月23日

調査担当　川島尚宗　田畑直彦　山田圭子

調査結果

実習棟（動物病理解剖棟施設）新営に伴い、建屋部分に関しては予備発掘調査・本発掘調査をおこなった。建屋部分建設開始後の設備工事に関しては立会調査にて対応した。調査箇所は図1に示すとおりA～N地点として報告する。

建屋の地盤改良工事（A地点）に際しては、谷埋土4より弥生土器とみられる小破片を4点採集している（写真161）。

建屋北側では電気設備工事にかかわる掘削が数度にわたっておこなわれた（B・D・I地点）。B地点およびB地点東側の管路において、遺物包含層より須恵器・土師器が採集された（図173、表11）。ハンドホール1設置工事では（B地点）、北壁にて遺物包含層を確認できた（写真162、図50）。当該地点は、北壁付近以外の大部分が現地表面から最大115cmの深さまで撹乱を受けていた。B地点東側管路からハンドホール2設置箇所（D地点）での掘削時には、現地表下約30～40cmで複数の遺構が検出された（写真163～165、図51）。ハンドホール2の掘削は数度にわたっておこなわれたため、一部しか作図することができなかった。遺構の掘削深度はいずれも8～20cm程度であった。遺物は確認されず遺構の性格は不明であるが、予備発掘調査・本発掘調査で検出されたような遺構群が総合研究棟東側にも残されていることが明らかとなった。

渡り廊下設置工事（C地点）では、解剖実習棟西側法面の掘削がおこなわれたが、造成土の範囲内であった（写真166）。

排水管路（M地点）設置時の掘削において、遺物包含層を調査時地表下より約50cmで確認した（写真167・168）。遺物包含層は、建屋西側のJ地点でも現

写真 164　D地点遺構検出状況（西から）

写真 165　D地点遺構検出状況（南西から）

写真 166　C地点（西から）

写真 167　M地点（東から）

写真 168　M地点（北東から）

写真 169　L地点（西から）

写真 170　O地点（西から）

写真 171　G地点（北から）

写真 172　N地点（南から）

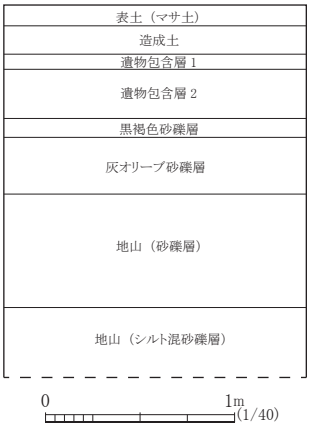


図 50　B地点北壁西端土層柱状模式図

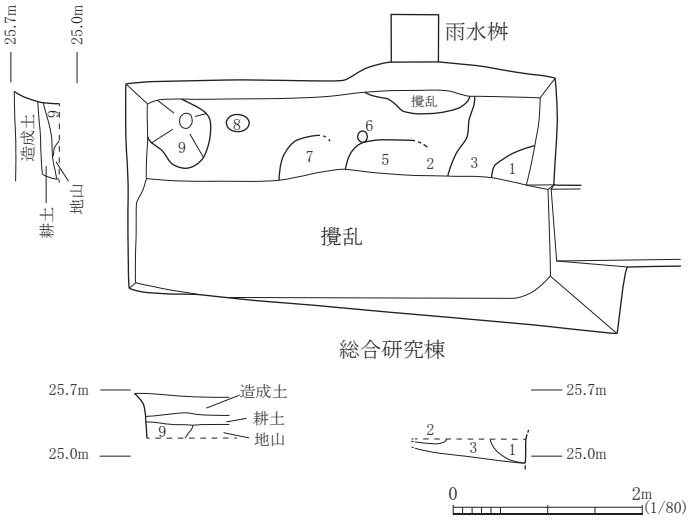


図 51　D地点平面図・断面図

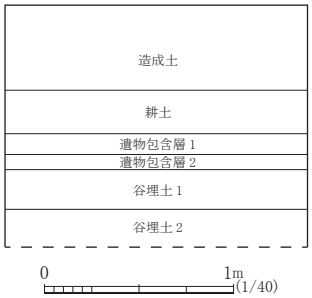


図 52　O地点東壁土層柱状模式図

地表下42cmより下で確認されている。遺物包含層は、建屋東側C地点南側のオイルタンク設置箇所（O地点）でも確認できた（写真170、図52）。本調査調査区に隣接する部分と考えられる。

建屋西側の滅菌槽設置箇所（E地点）では、地山が標高24.5mの高さで確認できた。E地点では、矢板を利用して掘削がおこなわれたため、断面を観察できなかった。建屋西側の実験排水管路（L地点）掘削工事では、現地表面から深さ約30cmで地山面を確認した。ここでは2基の遺構を確認したが、掘り込みはどちらも5cm程度で、遺物は確認できなかった（写真169）。建屋南側のハンドホール3（G地点）の掘削時には、現地表下50cmで地山を確認した（写真171）。排水桝（N地点）の掘削では、現地表下65cmにて厚さ8cmの遺物包含層1が、その下部に遺物包含層2の上面を確認できた（写真172）。

建屋本体部分の発掘調査によって、谷の東側に遺構が密に分布する状況が確認されたが、一連の立会調査によって総合研究棟東側にも遺構が残存している可能性が示された。当該地点の遺物包含層からは、数点ではあるが、遺物が採集されている。建屋南側には遺物包含層が確認され、今回の工事で掘削が及ばなかった地点にも遺物包含層が広がっていることが判明した。建屋西側では、明確な遺構は検出されていないものの、撹乱を受けていない旧地形が残存している可能性がある。動物病理解剖棟施設周辺部では、これまでにも重要な発見が続いており、今後の開発に際してはより一層慎重に対応する必要がある。

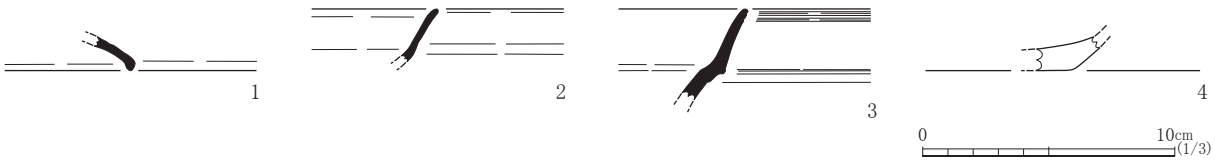


図 53　出土土器実測図

写真 173　出土遺物（土器）

表 11 出土遺物（土器）観察表

法量（ ）は復元値

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
1	B地点 包含層1	須恵器 坏蓋	口縁ー天井部	③残高1.35	①②断面 青灰色(5B6/1)	0.5～1mmφの長石含む	
2	I地点 包含層2	須恵器 坏	口縁部	③残高2.1	①②断面 灰白色(N7/)	0.5～1mmφの長石含む	
3	B地点 包含層2	須恵器 ハソウ	口縁部	③残高2.6	①灰白色（2.5Y7/1～N7/）②断面　灰白色（N7/）	0.5mmφの長石含む	
4	I地点 包含層2	土師質器 坏	底部	③残高1.35	①②断面 橙色（5YR7/6）	0.5～1mmφの長石含む	

３．総合研究等（国際総合科学部）改修工事に伴う立会調査

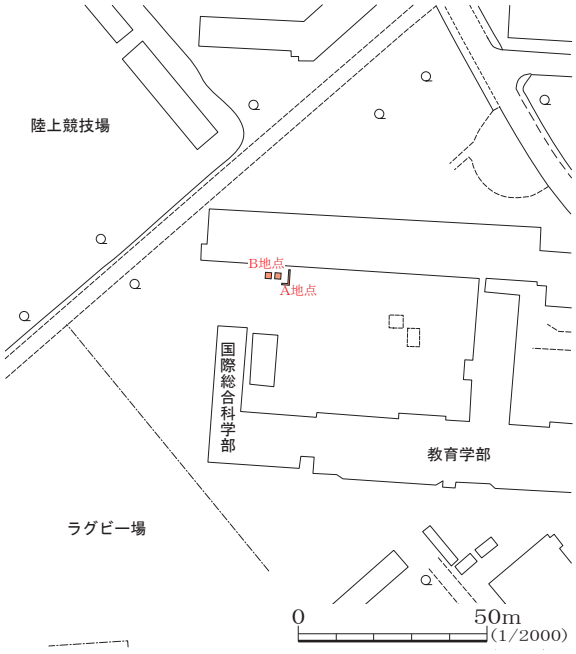


図 54　調査区位置図

調査地区　吉田構内Ｈ－18区

調査面積　160㎡

調査期間　平成28年7月20・26日

調査担当　横山成己

調査結果

平成27年4月に設置された国際総合科学部の校舎である国際総合科学部本館と、その北に位置する教育学部Ａ棟の間に渡り廊下が新設される計画を受け、地下深く掘削される渡り廊下基礎部と生活・実験排水管切替部の立会調査を実施した。

現地表下140㎝の掘削が行われる配管切替部（Ａ地点）では、地表下130㎝にて明黄褐色シルトの地山が部分的に遺存することを確認したが、遺構は検出されなかった（図55左、写真174）。

渡り廊下基礎部分（Ｂ地点）は、掘削深度が75㎝であったため、造成土内に止まった（図55右、写真175）。

国際総合科学部本館敷地では、弥生時代中期から後期にかけての集落が確認されていることから今後も慎重な対応が必要である。

写真 174　Ａ地点掘削状況（東から）

写真 175　Ｂ地点土層断面（南から）

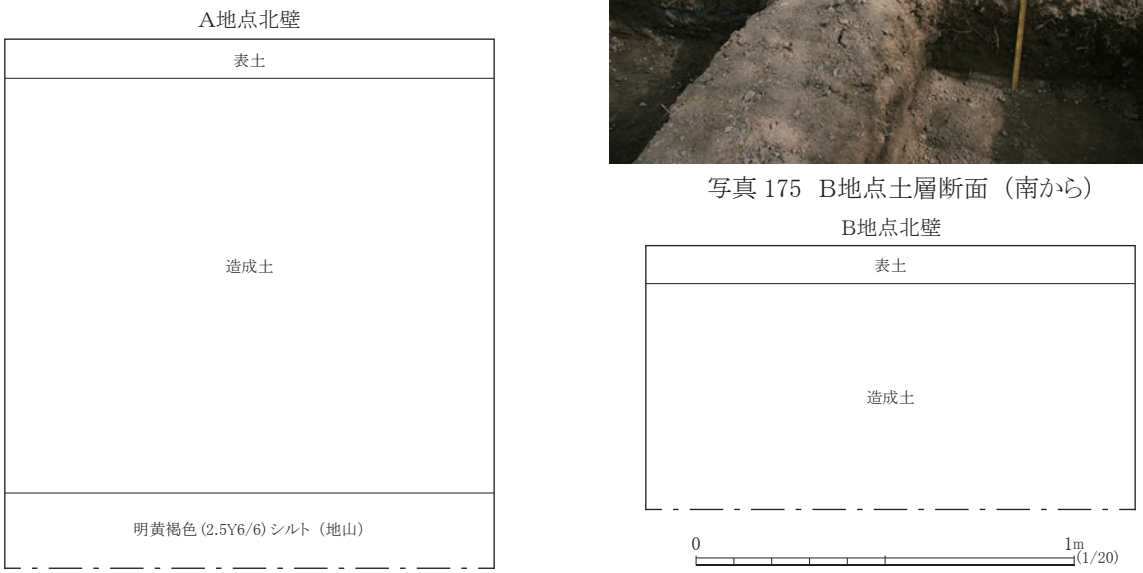


図 55　Ａ･Ｂ地点土層断面柱状図

４．農学部果樹園排水工事に伴う立会調査

調査地区　吉田構内Ｏ－15区

調査面積　9㎡

調査期間　平成28年11月１日

調査担当　横山成己　山田圭子

調査結果

平成28年度に入り、農学部より第2学生食堂東側農耕地にて排水工事を行いたいとの相談を受けたため、8月３日より第2回埋蔵文化財資料館専門委員会（メール審議）を開催し、工事立会にて埋蔵文化財保護対応を行うことが承認された。

開発予定地は北から南にのびる丘陵（共育の丘）の縁辺部に位置しており（図56）、周域における既往の調査成果を見ると、第2学生食堂敷地では、昭和41年（1971）および平成10年（1998）の調査[註1]により、弥生時代の土器溜まりや古墳時代の竪穴式住居跡6棟、平安時代の大溝や古代から中世にかけての掘立柱建物跡が確認されているなど、第2学生食堂の西に位置する遺跡保存地区を含め、構内でも埋蔵文化財が密に分布する地域である。そのため、工事においては機械掘削時より立ち会いを行い、埋蔵文化財の有無を確認することになった。

掘削は南北排水溝の東端ルートから開始したが、耕土直下が地山であった（写真176・177）。地山上面を精査したところ、調査区南部では後世の攪乱を受けているものの竪穴式住居跡の可能性がある大型遺構が検出され、調査区北部ではピットや切り合いの見られる土壙群が検出された。また、遺構埋土には褐色のものと灰褐色のものがあり、前者は古代以前、後者は中世の遺構と推察された（図57、写真178・179）。耕土からは古代の須恵器片などが出土した（図58、写真180、表12）。

遺構が検出された地山までの深度は、現地表下10（北部）～30㎝（南部）であり、未掘削のルートを含め予定深度まで排水溝を掘削すると、遺構群が破壊されることが確実視されたため、農学部事務と果樹園担当教員、工事担当業者と現地にて協議を行うこととなった。その結果、開発予定地の排水溝間

図 56　調査区位置図

写真 176　作業風景（北東から）

写真 177　調査区土層断面（南西から）

写真 178　調査区全景（北から）

写真 179　調査区全景（南から）

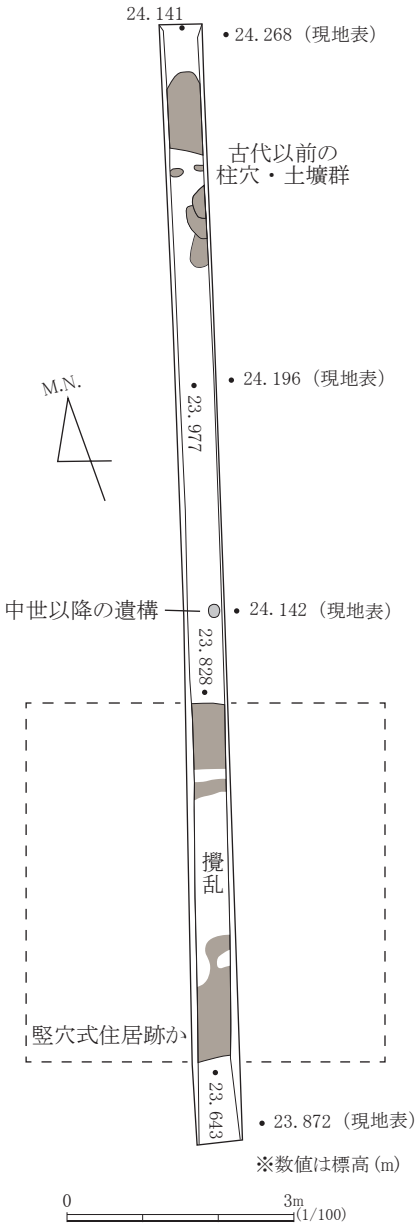


図 57　調査区平面図

図 58　出土土器実測図

写真 180　出土遺物（土器）

表 12 出土遺物（土器）観察表

法量（ ）は復元値

遺物番号	遺構・層位	器種	部位	法量（cm）①口径②底径③器高	色調 ①外面　②内面	胎土	備考
1	耕土	須恵器 高台付坏	底部	③残高1.2	①②明オリーブ色（5GY7/1）断面 オリーブ灰色（5GY6/1）	0.5～1mmφの長石含む	
2	耕土	須恵器 高台付坏	底部	③残高1.4	①灰黄色（2.5Y7/2）②断面　灰白色（2.5Y7/1）	0.5～1mmφの長石含む	焼成やや不良
3	耕土	土師質土器 鉢	口縁部	③残高3.7	①②断面 にぶい橙色（7.5YR6/4）	0.5～1mmφの長石・石英含む	

に植える果樹は約20本で、果樹の根は地表下60㎝まで伸びることが明らかとなり、現状設計のまま開発を進めると、開発予定地全域において埋蔵文化財が破壊される可能性が高いと判断された。

当館からは、開発を進める場合には、遺跡を保護するため予定地全域での発掘調査が必要となることを説明し、協議の結果、地山面に果樹の根が及ばない高さ（現地表＋80㎝）まで盛土を施し、排水溝を設置することが決定された。

農学部附属農場敷地は構内でも密に埋蔵文化財が分布する地域である。今回、迅速な対応および埋蔵文化財保護に理解と協力いただいた農学部各氏や工事業者に感謝すると同時に、今後もさらに慎重な対応を心がけたい。

【註】

1）豆谷和之（1994）「吉田遺跡第Ⅰ地区E区の調査」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学構内遺跡調査研究年報ⅩⅡ』，山口

田畑直彦（2004）「平成7・10～14年度山口大学構内遺跡調査の概要」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学構内遺跡調査研究年報ⅩⅥ・ⅩⅦ』，山口

5．人文学部駐輪場屋根新設工事に伴う立会調査

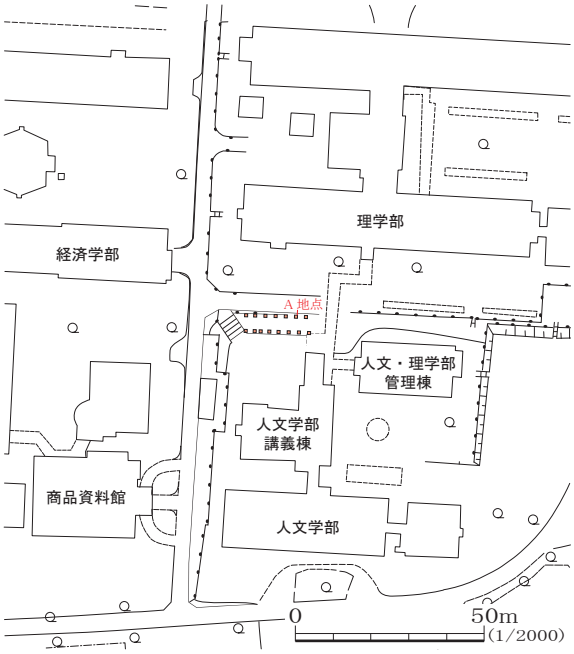


図 59　調査区位置図

調査地区　吉田構内M－20区

調査面積　26㎡

調査期間　平成29年3月14日

調査担当　横山成己

調査結果

当工事については、前年度末に人文学部校舎（研究棟）北側駐輪場に新設する計画で工事立会が承認されていたが、平成28年度の後半に至り、人文・理学部管理棟の西側駐輪場に予定地が変更となった（図59）ため、再度12月15日より埋蔵文化財資料館専門委員会（メール審議）が開催され、工事立会にて埋蔵文化財保護対応を行うことが承認された。

工事予定地周域では、近年小規模な改修工事等が実施されており、そのつど立会調査にて地山までの深度の確認を試みているが、未だ果たせていない[註1]。

工事掘削は、駐輪場屋根の基礎部15箇所に対し、80㎝×150㎝の範囲に深さ80㎝の規模で行われたが、造成土下位の層位が確認されたのは工事地の東端部（A地点）のみであった。A地点では、現地表下69㎝にて旧耕土と見られる灰褐色粘質土が確認された（図60、写真181）。

人文学部敷地は、周辺地に比して地下の情報が著しく少ないことから、小規模開発に対しても、今後とも工事立会を実施する必要がある。関係各位には引き続きご協力いただきたい。

写真 181　A地点土層断面（北西から）

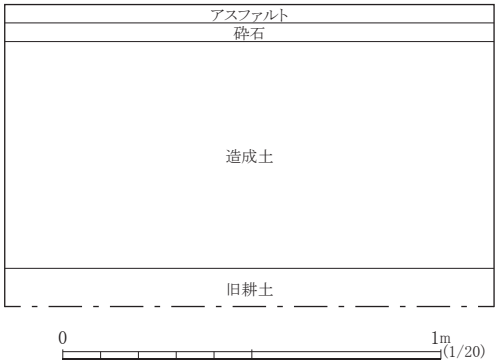


図 60　A地点土層断面柱状図

【註】

1）横山成己（2013）「人文学部西側アプローチ改修工事に伴う立会調査」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学埋蔵文化財資料館年報－平成21年度－』，山口
横山成己（2016）「人文・理学部管理棟EV設置工事に伴う立会調査」，山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学埋蔵文化財資料館年報－平成24年度－』，山口

６．共通教育等周辺駐輪場整備工事に伴う立会調査

調査地区　吉田構内J･K･L－16区　J･L－17区

調査面積　53㎡

調査期間　平成28年9月2･3･8日

10月19日　11月7日

調査担当　田畑直彦　横山成己

調査結果

共通教育棟周辺において、駐輪場整備工事が計画され、工事内容の確定を受けて、第3回埋蔵文化財専門委員会（メール審議･9月1日開催）で審議した結果、立会調査を実施することになった。

工事では現地表下60～70㎝まで掘削が行われたが、ＡＩ工区では、一部で地山もしくは河川埋土と考えられる土層を確認するにとどまり、大半は造成土の範囲内であった。ＢＩ工区はすべて造成土の範囲内であった。ＣＩ工区の北部では、一部で河川埋土と考えられる土層を確認した。一方、南部の一部では、現地表下約13㎝以下で遺物包含層を検出した。同層はシルト系（暗灰色）で、層厚は最も厚い箇所でおよそ45㎝であった。同層には自然木や炭が含まれていたほか、10地点では土器片、12地点では石器（砥石）が出土した。検出状況から上面を削平されたと考えられるが、地山にも粗砂など河川堆積土が認められることから、旧地形の落ち込み埋土であった可能性がある。

調査の結果、最も浅い箇所では現地表下約13㎝で遺物包含層が検出されたことから、今後の埋蔵文化財の保護には、慎重な対応が必要である。

図 61　調査区位置図

写真 183　ＣＩ工区 10 地点土層断面（西から）

写真 182　ＣＩ工区南部（西から）

写真 184　ＣＩ工区 11 地点土層断面（西から）